

福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

平成30年3月

福井市 鯖江市 越前市 池田町 南越前町 越前町

目 次

第 1 章 背景と経過	1
第 2 章 福井鉄道交通圏の概況	3
1. 福井鉄道交通圏の概況	3
2. 上位関連計画	17
3. 地球温暖化対策とエネルギー問題	24
第 3 章 福井鉄道交通圏における公共交通の現状	25
1. 公共交通網の現状	25
2. 福武線の現状	28
3. バス交通の現状	46
4. タクシー交通の現状	64
第 4 章 地域公共交通の課題と方向性	66
1. 地域公共交通の課題	66
2. 課題解決に向けた方向性	68
第 5 章 福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画	69
1. 持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針	69
2. 地域公共交通網形成計画の区域	70
3. 地域公共交通網形成計画の期間	70
4. 地域公共交通網形成計画の目標	71
5. 地域公共交通網形成計画の目標を達成するために行う事業 及びその実施主体に関する事項	74
6. 地域公共交通網形成計画の達成状況の評価に関する事項	79

第1章 背景と経過

福井鉄道福武線は、昭和8年の運行開始以来、通勤、通学、通院、買物など沿線住民の生活を支える交通手段として、また、沿線市※1である福井市、鯖江市、越前市のシンボリックな役割を果たしてきた。

モータリゼーションの進展や少子化などの影響により、利用者数が年々減少し、平成19年度には約161万人と、平成元年度の292万人のおよそ4割減となった。この間、福井鉄道は、サービスの改善など経営改善への様々な手段を講じてきたが、平成19年9月、事業者単独での再建は困難と判断し、福井県及び沿線市に対して行政支援を求める旨の要請を行った。

これを受け、「福井鉄道福武線活性化連携協議会」が設置され、今後の支援のあり方等について検討し、平成21年2月には「福井鉄道福武線地域公共交通総合連携計画」を策定、「鉄道事業再構築実施計画」の認定を受け、安全安心に向けた設備更新や、利用促進に向けた取組みが進められた。

さらに、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正により、平成28年2月には「福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画」を策定し、福井鉄道に接続する路線バス、コミュニティバス、タクシー等を含めた福井鉄道交通圏における地域公共交通網の目標を設定し、その達成に向けた施策事業が進められた。

この結果、福井鉄道福武線の利用者数は増加に転じ、平成28年度には年間利用者数200万人を達成するなど、堅調な増加が続いている。

一方、経営状況については、利用者の安全安心の確保の観点から、鉄道施設の維持、更新等に多大な費用を要しており、収支均衡は未達成の状況にある。

将来に向けては、人口減少、超高齢社会に対応した持続可能なまちづくりとして、住民の日常生活に必要な都市機能を公共交通の利便性の高い駅周辺に集約したコンパクトなまちづくりが求められており、公共交通は、集約した都市機能をつなぐ重要な役割を担っている。

今回の「福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画」は、前計画を継承する第2期の計画として、北陸新幹線敦賀開業を見据えて、各交通事業者と沿線市町※2の協働によって、福井鉄道を軸とする広域圏における地域公共交通をネットワーク化し、まちづくりや観光等との連携、車に頼り過ぎない持続可能な住みやすいまちの構築を目指して策定する。

※1：福井市、鯖江市、越前市の3市

※2：福井市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町の6市町

■福井鉄道交通圏の位置

福井鉄道交通圏は、福井鉄道福武線を主軸に路線バス、コミュニティバス、タクシー等のフィーダー交通が運行されている福井市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町を範囲とする。

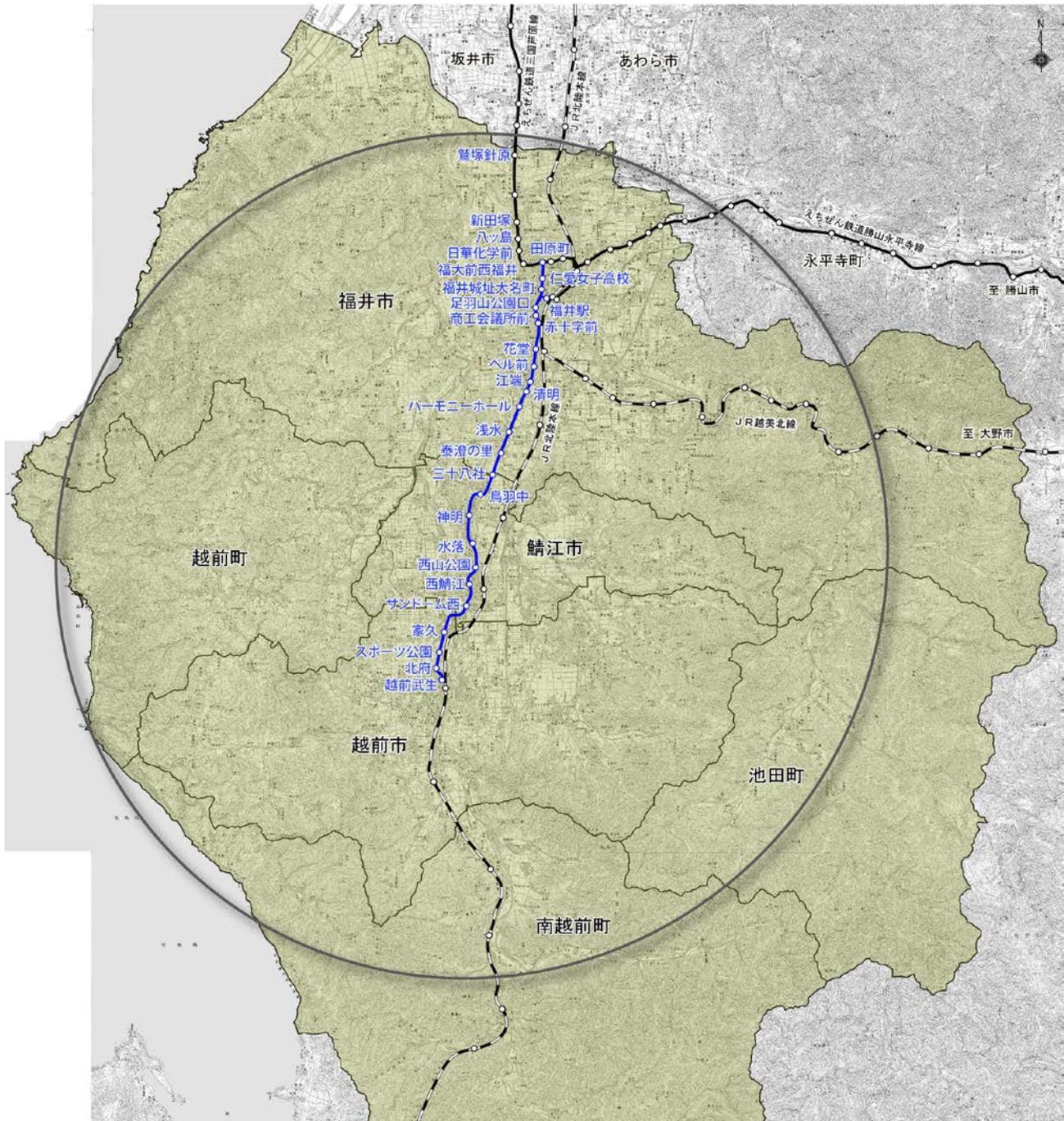


図1-1 福井鉄道交通圏の位置

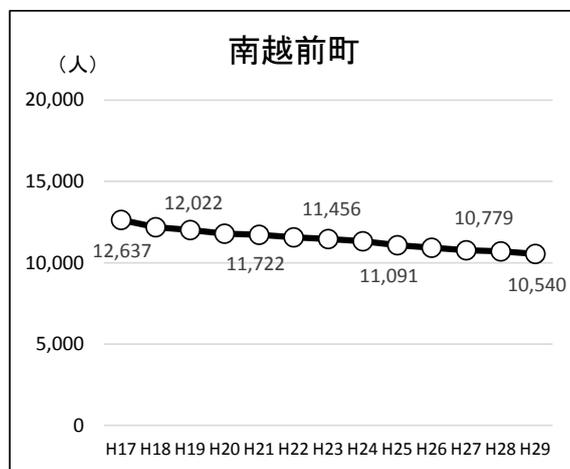
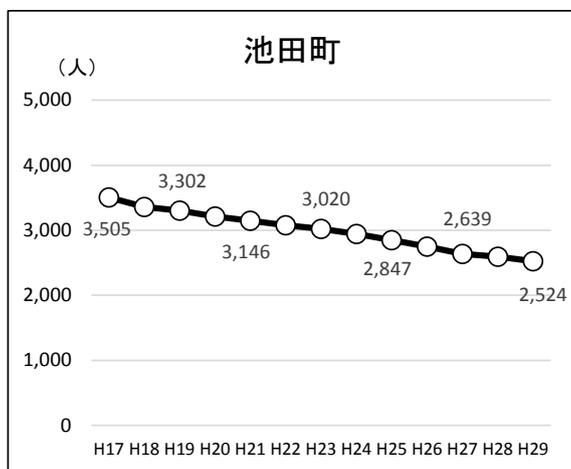
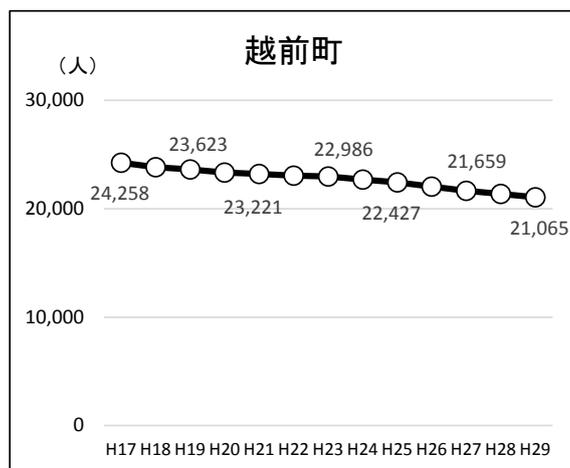
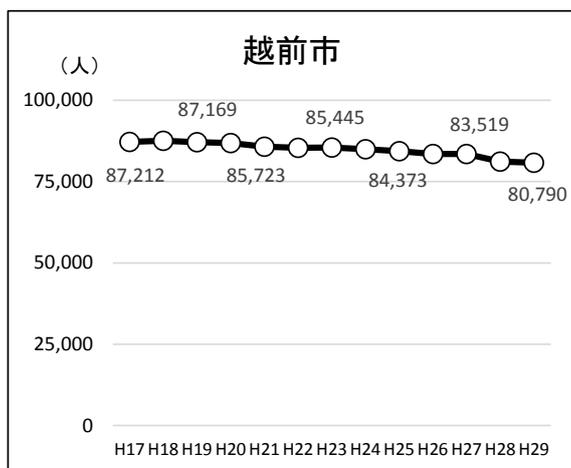
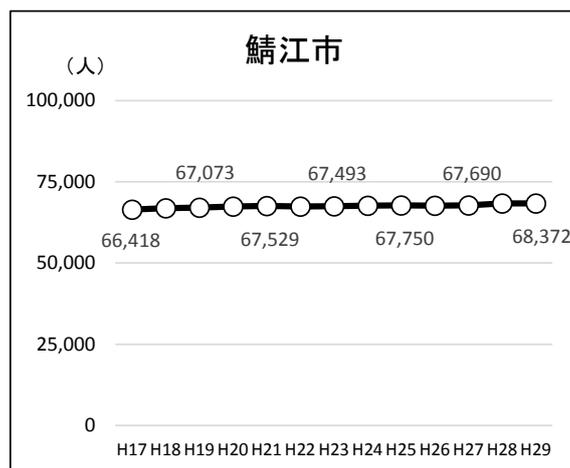
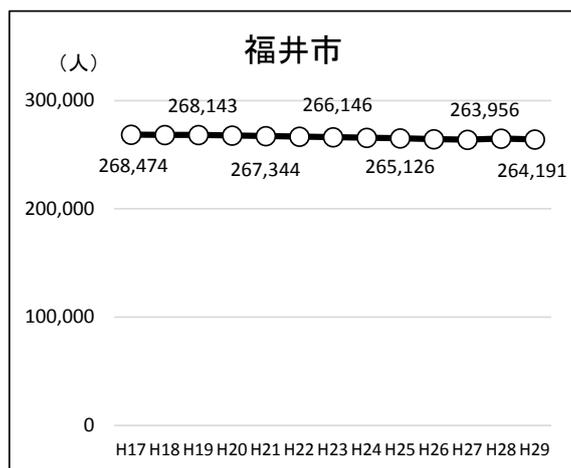
第2章 福井鉄道交通圏の概況

1. 福井鉄道交通圏の概況

(1) 福井鉄道交通圏6市町の概況

① 人口

○各市町の人口は、鯖江市で若干増加傾向にあるものの、福井市は横ばい傾向、その他の市町は減少傾向にあり、圏域全体では減少傾向で推移している。特に、池田町の人口減少率が高くなっている。

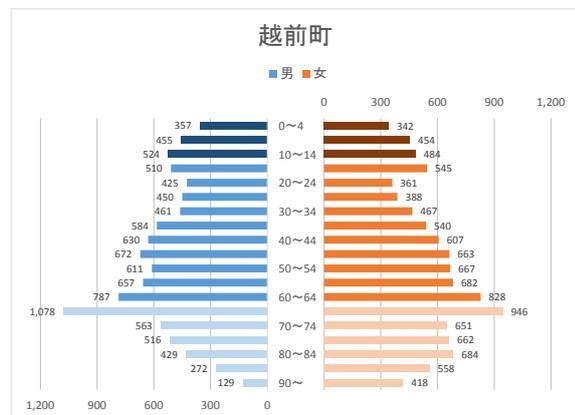
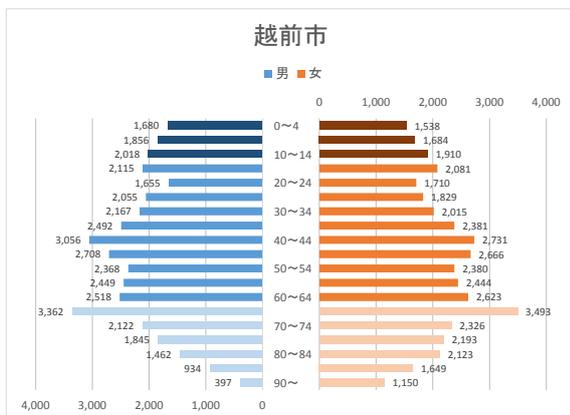
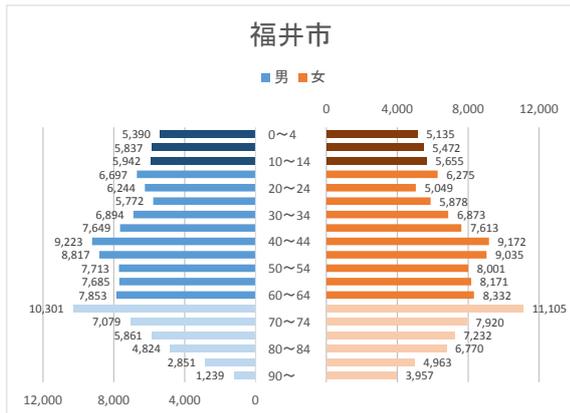
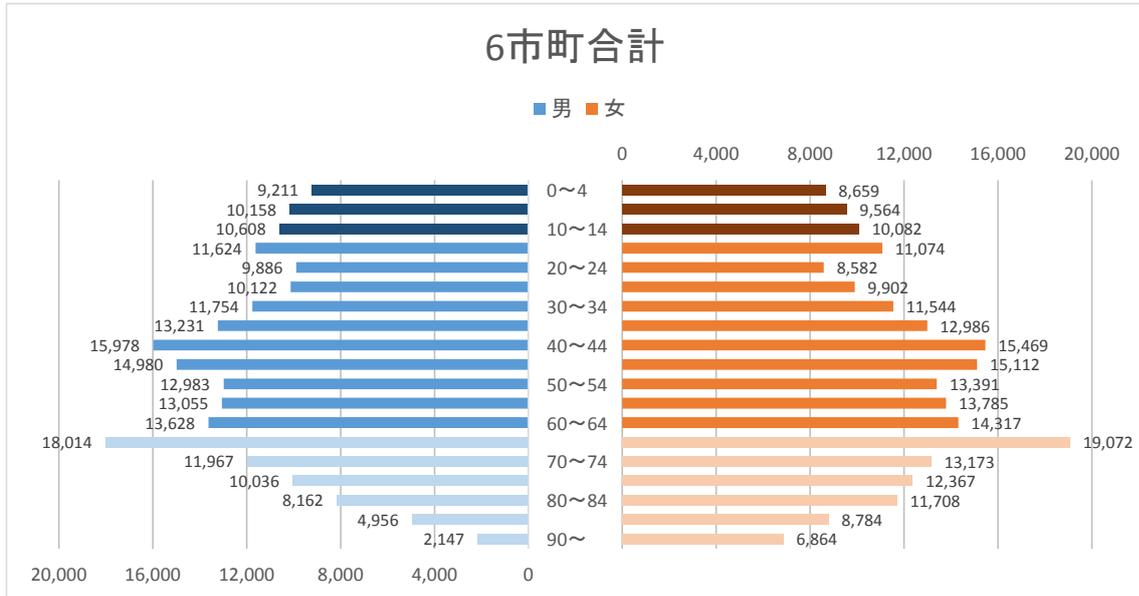


資料：福井県の推計人口各年4月1日現在

図2-1 人口の推移

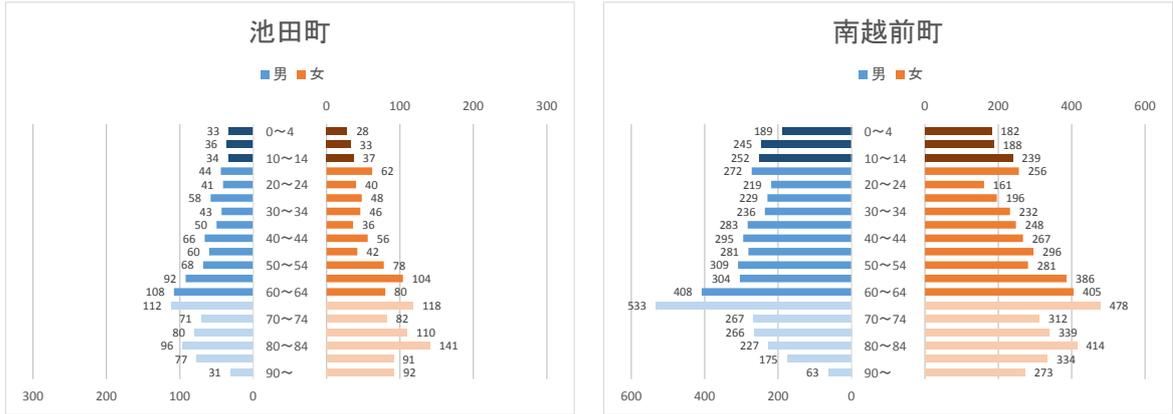
② 年齢構成

○対象地域全体では、「65～69歳」とその子供の世代である「40～44歳」の人口が多く、年少人口は減少傾向にある。65歳以上の割合は地域全体で29%である。



資料：福井県の推計人口（平成29年4月1日現在）

図2-2 人口ピラミッド（1）

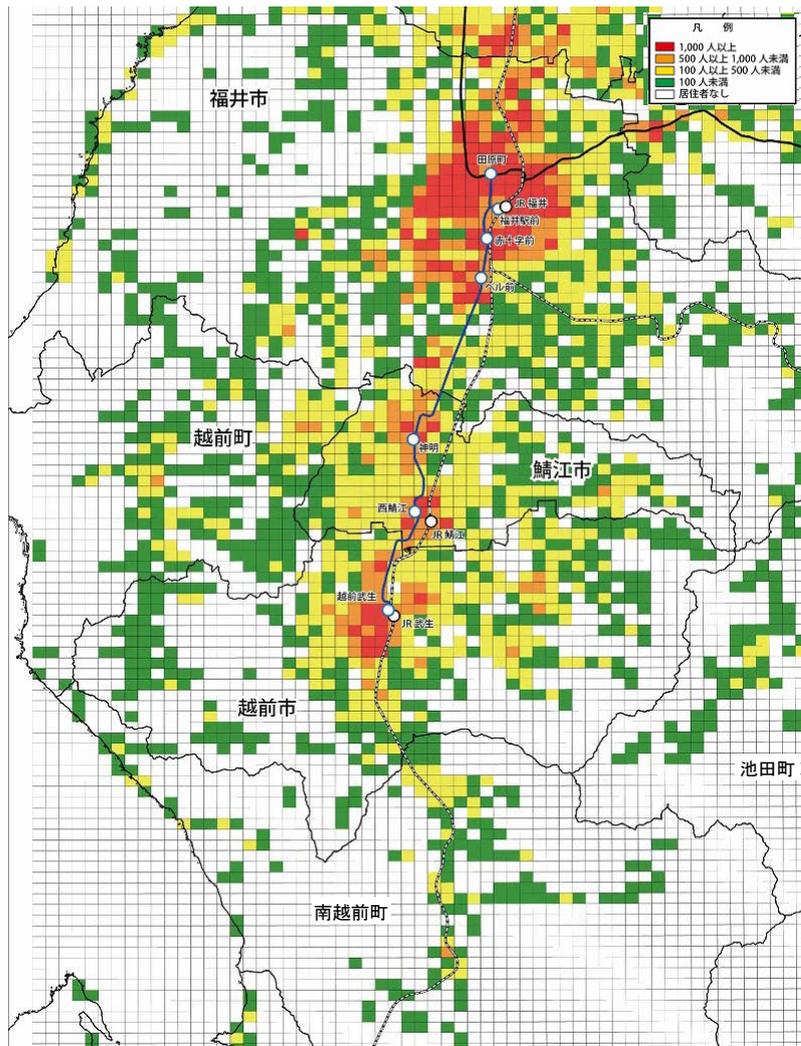


資料：福井県の推計人口（平成29年4月1日現在）

図2-3 人口ピラミッド（2）

③ 人口分布

○福井市ではJR福井駅を中心に半径約5km内に人口が集中している。鯖江市では、神明駅や西鯖江駅・JR鯖江駅、越前市では越前武生駅・JR武生駅を中心に半径2～3km内に人口が集中している。

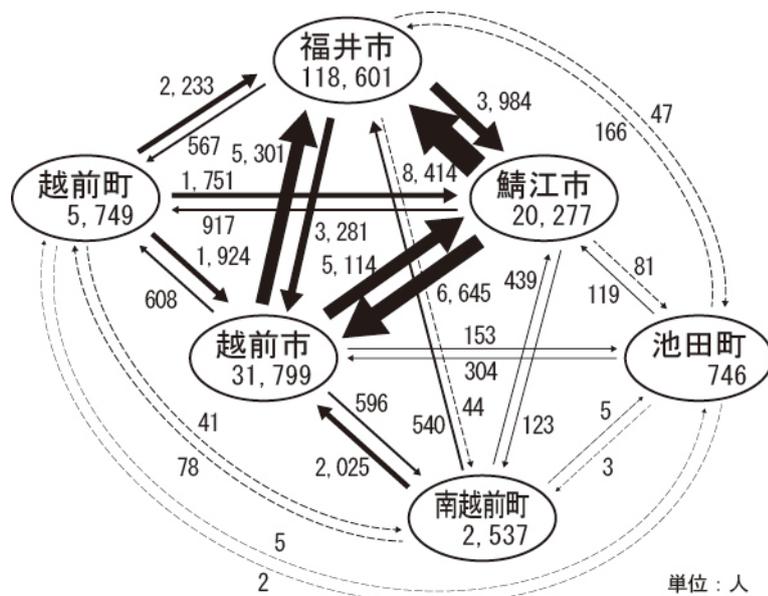


資料：平成22年国勢調査

図2-4 夜間人口の分布（平成22年・500mメッシュ）

(2) 通勤通学流動状況

- 平成27年の通勤通学流動をみると、福井市に常住している通勤通学者は83% (118.6/143.6千人)が福井市内に通勤通学しており、自市以外では交通圏外の坂井市(6.9千人)に次いで鯖江市(4.0千人)、越前市(3.3千人)が多い。
- 鯖江市に常住している通勤通学者は53% (20.3/38.4千人)が鯖江市内に通勤通学しており、自市以外では福井市(8.4千人)が多い。
- 越前市に常住している通勤通学者は70% (31.8/45.6千人)が越前市内に通勤通学しており、自市以外では福井市(5.3千人)、鯖江市(5.1千人)が多い。
- 池田町に常住している通勤通学者は54% (0.7/1.4千人)が池田町内に通勤通学しており、自町以外では越前市(0.3千人)が多い。
- 南越前町に常住している通勤通学者は42% (2.5/6.0千人)が南越前町内に通勤通学しており、自町以外では越前市(2.0千人)が多い。
- 越前町に常住している通勤通学者は47% (5.7/12.2千人)が越前町内に通勤通学しており、自町以外では福井市(2.2千人)、越前市(1.9千人)、鯖江市(1.8千人)が多い。



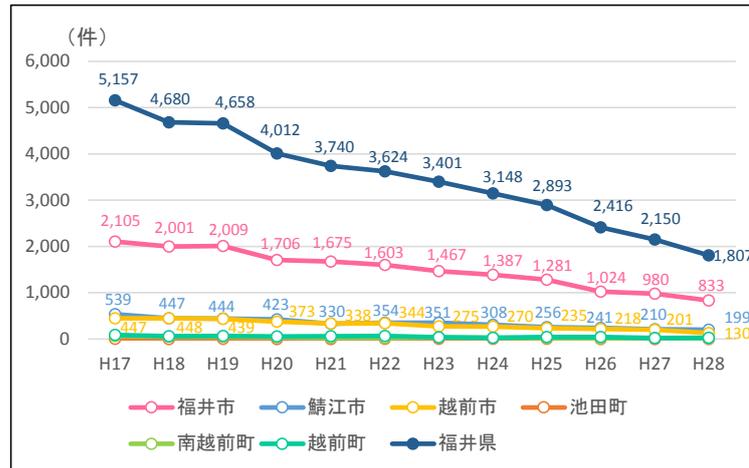
		通勤通学市町									
		総数	福井市	鯖江市	越前市	池田町	南越前町	越前町	その他県内	県外	不詳
常住市町	福井市	143,570	118,601	3,984	3,281	47	44	567	11,733	2,157	3,156
	鯖江市	38,443	8,414	20,277	6,645	81	123	917	982	435	569
	越前市	45,565	5,301	5,114	31,799	153	596	608	894	524	576
	池田町	1,377	166	119	304	746	3	2	20	11	6
	南越前町	5,994	540	439	2,025	5	2,537	78	287	49	34
	越前町	12,178	2,233	1,751	1,924	5	41	5,749	252	104	119
	計	247,127	135,255	31,684	45,978	1,037	3,344	7,921	14,168	3,280	4,460

単位：人 平成27年国勢調査

図2-5 通勤通学流動（平成27年）

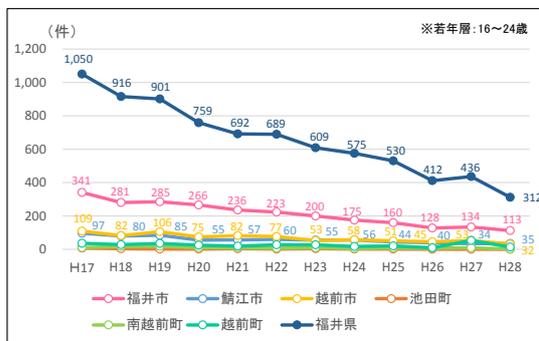
(3) 交通事故発生状況

- 福井県全体の人身事故の発生件数は減少傾向で推移している。
- 若年（16歳～24歳）、高齢者が第1当事者となった人身事故は減少傾向で推移している。
- 若年が第1当事者となった人身事故と高齢者が第1当事者となった人身事故の発生件数を比べると、平成22年までは若年が第1当事者となった人身事故件数の方が上回っていたが、平成23年以降は高齢者が第1当事者となった人身事故件数の方が上回っている。



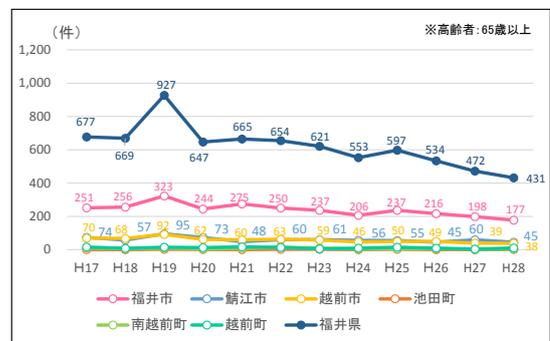
出典：福井県警（市町村別事故発生状況）

図2-6 市町別交通事故発生件数



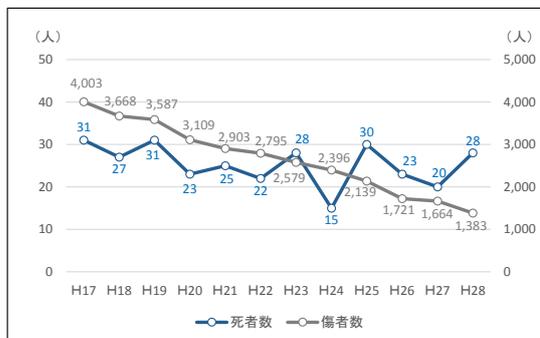
資料：福井県警

図2-7 若年層が第1当事者となった人身事故発生件数



資料：福井県警

図2-8 高齢者が第1当事者となった人身事故発生件数



資料：福井県警

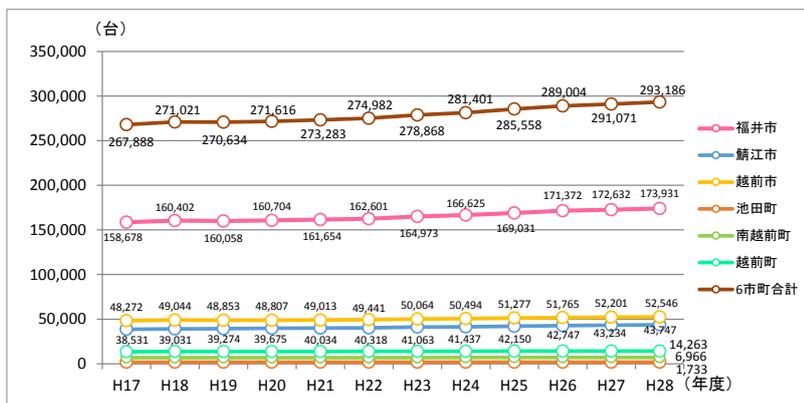
図2-9 6市町の人身事故件数と死傷者数

○人身事故の発生件数の減少に伴い、傷者数は減少傾向にある。

○死者数は20人～30人の間で推移している。

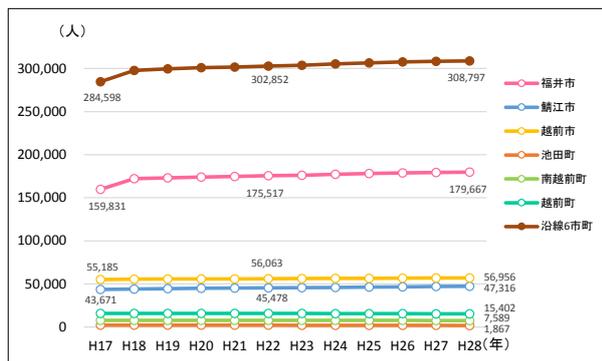
(4) 自動車保有台数及び運転免許の保有状況

- 6市町合計の自動車保有台数は漸増傾向にあり、平成17年度と平成28年度で比べると、平成28年度には1.1倍増加している。
- 6市町合計の運転免許の保有者数は漸増傾向にあるが、越前町においては保有者数が減少している。
- 各市町では免許返納者への対策として、市町が運行するコミュニティバスの無料乗車券の交付等を行っている。



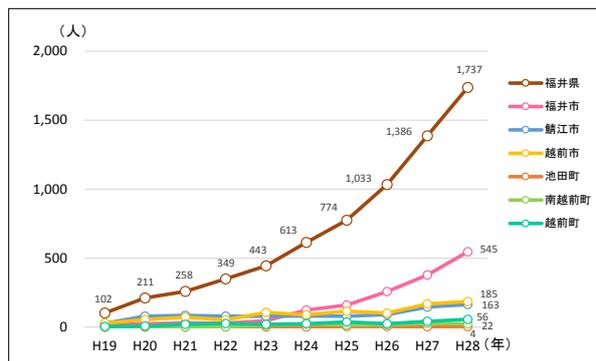
出典：福井運輸支局

図2-10 自動車保有台数の推移



出典：福井県警

図2-11 運転免許保有者数の推移



出典：福井県警

図2-12 運転免許返納者数の推移

《高齢運転免許返納者への支援》

	制度開始	対象者	支援策
福井市	H24. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・バス回数券2,000円分(京福バス、福鉄バス、すまいるバス)の配布 ・運転免許証自主返納証明証の交付 ・反射材の交付
鯖江市	H19. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじバスの利用者無料証の交付
越前市	H19. 10. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民バスのろっさの運賃 無期限 無料 ・運転免許証自主返納証明証の交付
越前町	H20. 4. 1	65歳以上の町民	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンドリー号の無料定期乗車券の交付 (交付期間：10年)
南越前町	H23. 4. 1	65歳以上の町民	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の中から20,000円相当分の交付 <ul style="list-style-type: none"> ○町内バス回数券 (南越前町コミュニティバスまたは福鉄バス) ○町内タクシー利用券 (今庄タクシーまたは武生タクシー) ○町内温泉施設利用券 (花はす温泉そまやま、今庄365温泉やすらぎ、きらめき、今庄サイクリングターミナルまたはシーサイド温泉ゆうばえ)

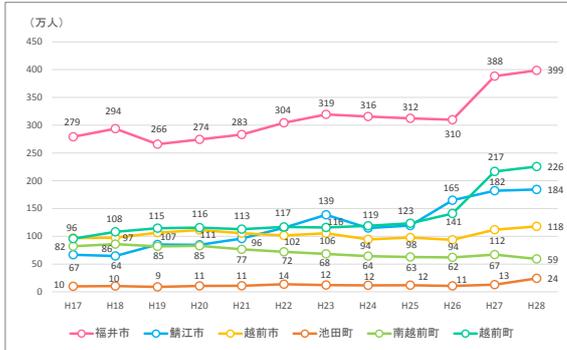
※池田町では、全町民を対象としてバス券助成 (京福バス、福鉄バス) を実施 町民バス「なかま号」は無料

(5) 観光状況

《観光入込客数》

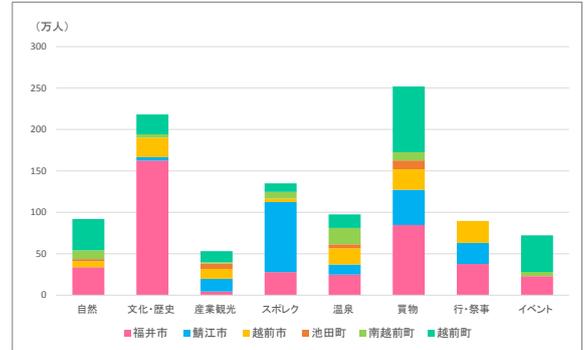
○福井鉄道交通圏における観光入込客数は、近年増加傾向にあり、平成28年は6市町合計で1千万人を超え、南越前町を除く市町で増加している。特に、近年、福井市、越前町、鯖江市の増加数が多い。

○目的別では、「買物」が最も多く、次いで「文化・歴史」となっている。近年の増加数が多い福井市では「文化・歴史」や「買物」、越前町、鯖江市では「買物」が増加している。



出典：福井県観光入込客数（推計）

図2-13 市町別観光入込客数の推移



出典：福井県観光入込客数（推計）

図2-14 平成28年市町別目的別入込状況

《交通移動手段》

○県内客の交通手段は「自家用車」が85%となっている。

○県外客の観光における交通手段として、「自家用車」が75%、「貸切バス」「鉄道」はそれぞれ10%前後である。

○県外客の年代別の交通手段を見ると、40代までは「自家用車」が80%を超えているが、50代以上になると「貸切バス」「鉄道」の割合が高くなる。

表2-1 県内客の交通手段

(単位：%)

項目	鉄道	路線バス・長距離バス	航空機 (小松空港を利用)	自家用車 (二輪含む)	貸切バス	その他
全体	1.3	2.2	0.0	85.2	5.9	5.4

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

表2-2 県内客の交通手段（年代別）

(単位：%)

項目	鉄道	路線バス・長距離バス	航空機 (小松空港を利用)	自家用車 (二輪含む)	貸切バス	その他
全体	10.0	1.0	2.0	75.0	10.8	1.2
10代	4.0	2.1	1.2	81.5	9.1	2.1
20代	7.8	0.7	1.3	83.9	5.0	1.3
30代	7.0	0.7	1.3	85.4	5.0	0.5
40代	7.6	0.6	2.3	80.8	7.3	1.4
50代	9.2	1.1	2.6	72.4	13.7	1.1
60代	14.9	1.1	2.4	63.8	16.8	1.1
70代以上	20.3	2.2	1.6	53.2	20.6	2.1

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

《観光目的》

○全体では、「温泉」が最も多く、次いで「海や山などの自然鑑賞」の順となっている。

○年代別にみると

- ・10代は「海や山などの自然鑑賞」次いで「スポーツ」の順
- ・20代は「スポーツ」次いで「海や山などの自然鑑賞」の順
- ・30代・40代は「海や山などの自然鑑賞」次いで「温泉」の順
- ・50代・60代は「温泉」次いで「海や山などの自然鑑賞」の順
- ・70代以上は「温泉」次いで「歴史や文化施設の見学」の順

表2-3 県外客の観光目的（年代別）

（単位：％）

項目	海や山などの自然鑑賞	歴史や文化施設の見学	温泉	飲食（味覚）	スポーツ	仕事（出張）	祭りやイベント	産業観光（農業体験等）
全体	20.1	14.9	21.1	15.2	9.9	4.5	2.0	2.7
10代	25.9	14.5	15.2	8.0	22.5	0.4	1.5	2.1
20代	20.2	6.0	15.8	9.9	27.1	2.6	3.0	1.9
30代	22.6	11.6	17.9	10.2	17.3	4.5	1.7	1.7
40代	21.4	12.9	20.5	13.5	10.7	6.1	2.4	2.4
50代	17.7	17.4	23.7	18.4	3.0	6.0	1.8	3.4
60代	19.1	18.9	23.6	20.8	1.4	3.6	1.7	3.5
70代以上	18.9	23.9	26.0	18.9	0.7	1.5	2.5	2.8

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

《観光情報源》

○県外客の情報源を居住地域別にみると、関西・中京・北陸では「一度来てよかった」が最も多く、自らの訪問経験を情報源とする傾向があり、関東では「旅行代理店」、「インターネット」が情報源になっている。

○年齢別にみると、10代を除いて「一度来てよかった」が最も多く、次いで「知人などに薦められて」、「雑誌」などが多い。また、若い世代では「インターネット」、中高年の世代では「旅行代理店」が多くなっている。

表2-4 県外客の情報源（居住地域別）（単位：％）

項目	ラジオ・テレビ	新聞	雑誌	パンフレット	旅行代理店	インターネット	一度来てよかった	知人などに薦められて
全体	2.5	1.7	13.1	6.0	13.1	11.8	20.5	12.3
関西	2.2	1.8	12.1	6.8	10.9	12.0	24.2	12.6
中京	2.1	2.3	15.4	6.1	12.0	12.9	22.3	10.9
関東	3.2	0.8	12.0	5.7	18.3	15.0	10.0	11.9
北陸	3.9	1.2	11.6	3.6	8.0	7.2	22.5	14.5
その他	2.3	1.0	15.6	5.2	26.3	10.4	7.2	12.1

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

表2-5 県外客の情報源（年齢別）（単位：％）

項目	ラジオ・テレビ	新聞	雑誌	パンフレット	旅行代理店	インターネット	一度来てよかった	知人などに薦められて
全体	2.5	1.7	13.1	6.0	13.1	11.8	20.5	12.3
10代	1.3	2.3	16.1	7.7	5.2	11.9	11.3	24.4
20代	2.2	0.7	12.7	5.2	7.7	13.4	22.0	17.9
30代	2.0	1.5	13.4	5.0	7.8	17.5	20.9	12.6
40代	2.7	1.0	13.8	6.5	9.5	17.1	20.2	8.9
50代	2.3	1.9	12.8	5.8	17.4	8.6	21.9	11.2
60代	2.5	2.8	13.1	6.0	18.8	6.9	19.3	11.4
70代以上	4.5	2.0	11.5	9.0	18.7	4.2	19.3	12.0

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

《交通機関に関する観光客の感想や苦情》

○タクシーの運転手に当地のことを尋ねたがほとんど知らなかった。

○観光地間の移動が大変なので、バスで観光できる地域を増やして欲しい。

出典：観光客動向調査結果（平成16年 福井県）

《6市町の主要観光イベント》

○6市町の主要な観光イベントと、イベント開催時の交通対策について下記に整理する。

	イベント名	開催場所	最寄りの交通機関	交通機関の乗り継ぎ状況等
福井市	ふくい春まつり (毎年3月下旬～4月下旬)	JR福井駅周辺～ 足羽河原～足羽 山他	・福鉄福井駅 ・福鉄福井城址大名町電停 ・福鉄足羽山公園口電停	・中心部周辺を周る観光 周遊バスを運行 ・レンタサイクル「ふく チャリ」の臨時貸出コ ーナー
	越前時代行列 (毎年4月中旬)	JR福井駅前	・福鉄福井城址大名町電停(0km)	
	福井フェニックスまつり (毎年8月初旬)	JR福井駅周辺	・福鉄福井城址大名町電停(0km)	・福鉄電車臨時便運行 ・路線バス臨時便運行
鯖江市	つつじまつり (ゴールデンウィーク)	西山公園	・福鉄西山公園駅(約0.5km) ・福鉄西鯖江駅(約0.3km) ・つつじバス(0km)	・JR鯖江駅からシャトル バスを運行
越前市	たけふ菊人形 (毎年10月初旬～11月初旬)	武生中央公園	・福鉄越前武生駅(約2km) ・JR武生駅(約1.5km) ・のろっさ(0km)	・JR武生駅からシャトル バスを運行
	サマーフェスティバル (毎年8月中旬)	JR武生駅前周辺	・福鉄越前武生駅(約0.4km) ・JR武生駅(約0.1km) ・のろっさ(0km)	—
池田町	水海の田楽能舞 (毎年2月中旬)	鵜甘神社	・なかま号(0km)	・JR福井駅からシャトル バスを運行
南越前町	はすまつり (毎年6月下旬)	花はす公園	・JR南条駅(約5km) ・南条住民利用バス(0km) ・花はす温泉そまやま送迎バス(0km)	—
越前町	越前陶芸まつり (毎年5月下旬)	越前陶芸村	・福鉄陶芸村口バス停(0.5km)	・JR武生駅からシャトル バスを運行
	越前夏まつり (毎年7月中旬)	越前漁港広場	・福鉄道口バス停(0km)	—
	越前かにまつり (毎年11月中旬)	道の駅「越前」	・福鉄道の駅「越前」バス停(0km)	—



■越前時代行列



■福井フェニックスまつり



■つつじまつり(西山公園)



■たけふ菊人形



■サマーフェスティバル



■かずら橋



■はすまつり



■越前かにまつり



■越前陶芸まつり

(6) 主要施設の分布状況

① 公共施設

○公共施設は、福武線沿線に多く立地しており、特に福井市、鯖江市、越前市の中心部に集積している。

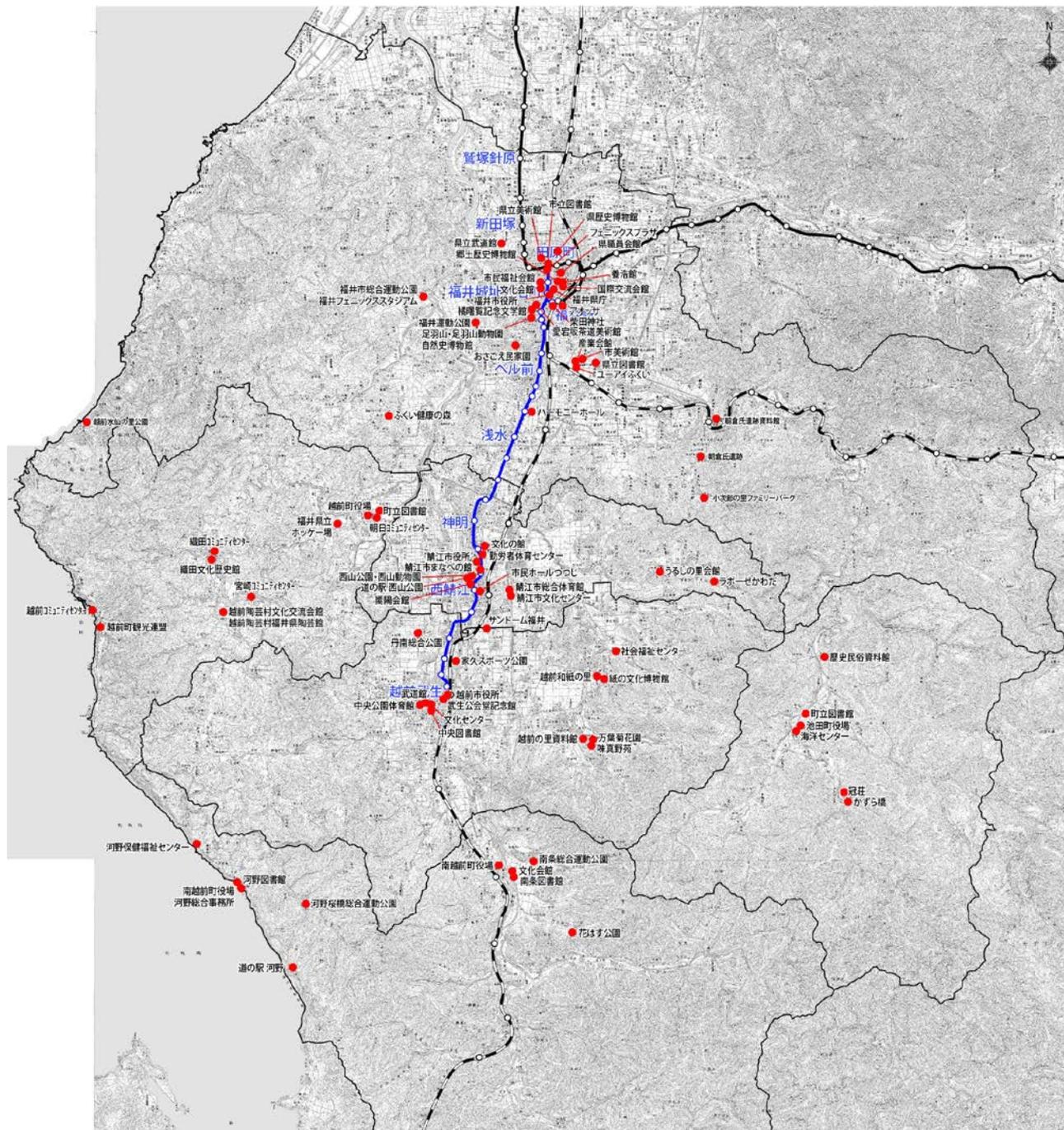


図2-15 公共施設の立地状況

② 病院

○病院は、福井市、鯖江市、越前市の中心部及び福武線沿線に立地している。

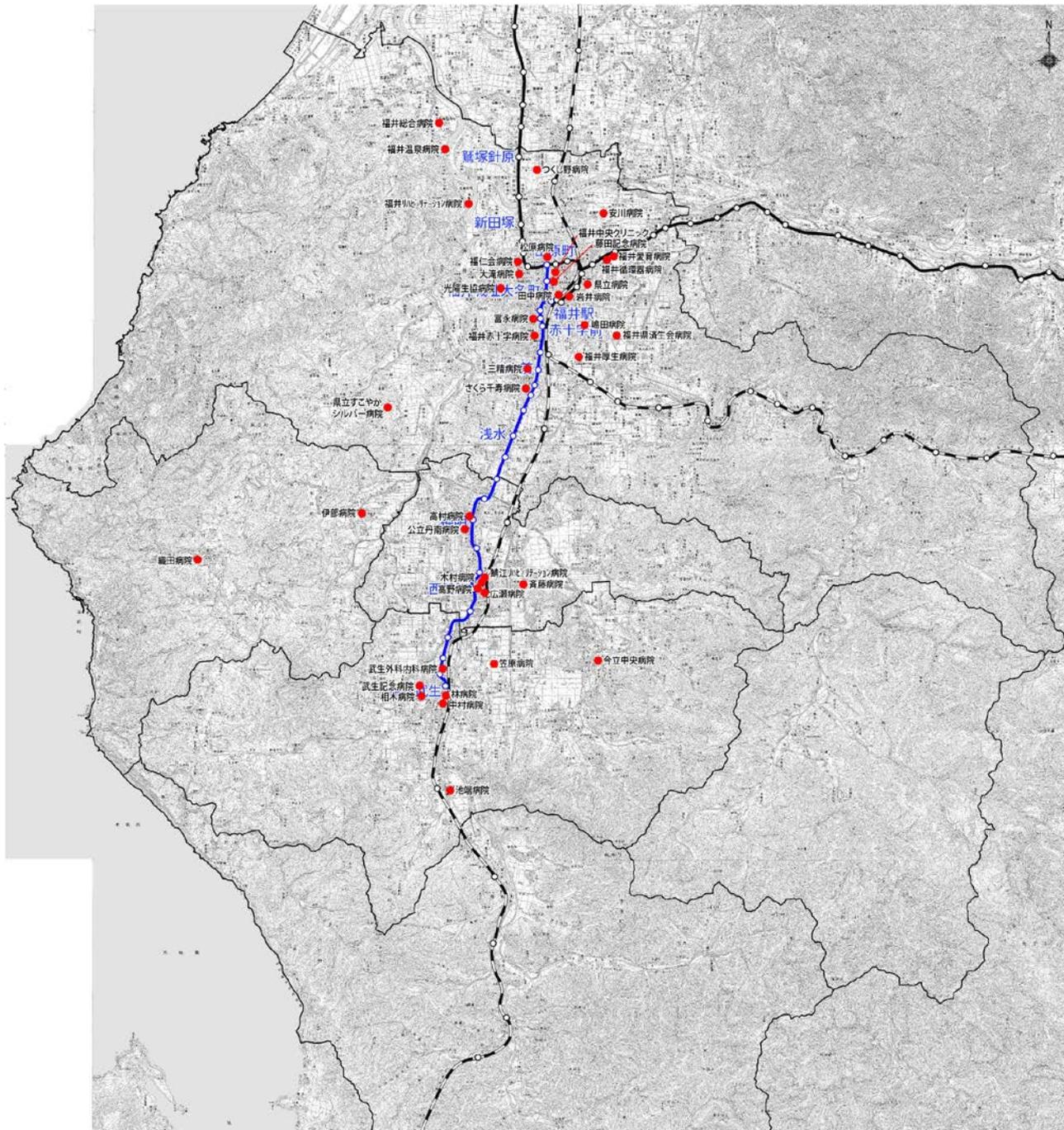


図2-16 病院の立地状況

③ 大学・高等学校

- 大学、高等学校は、田原町駅、福大前西福井駅周辺に学校が集積している。
- その他、福武線の駅から徒歩圏内にある高等学校には、仁愛女子高校(仁愛女子高校駅)、足羽高校(浅水駅)、鯖江高校(サンドーム西駅)、武生商業高校(家久駅)がある。

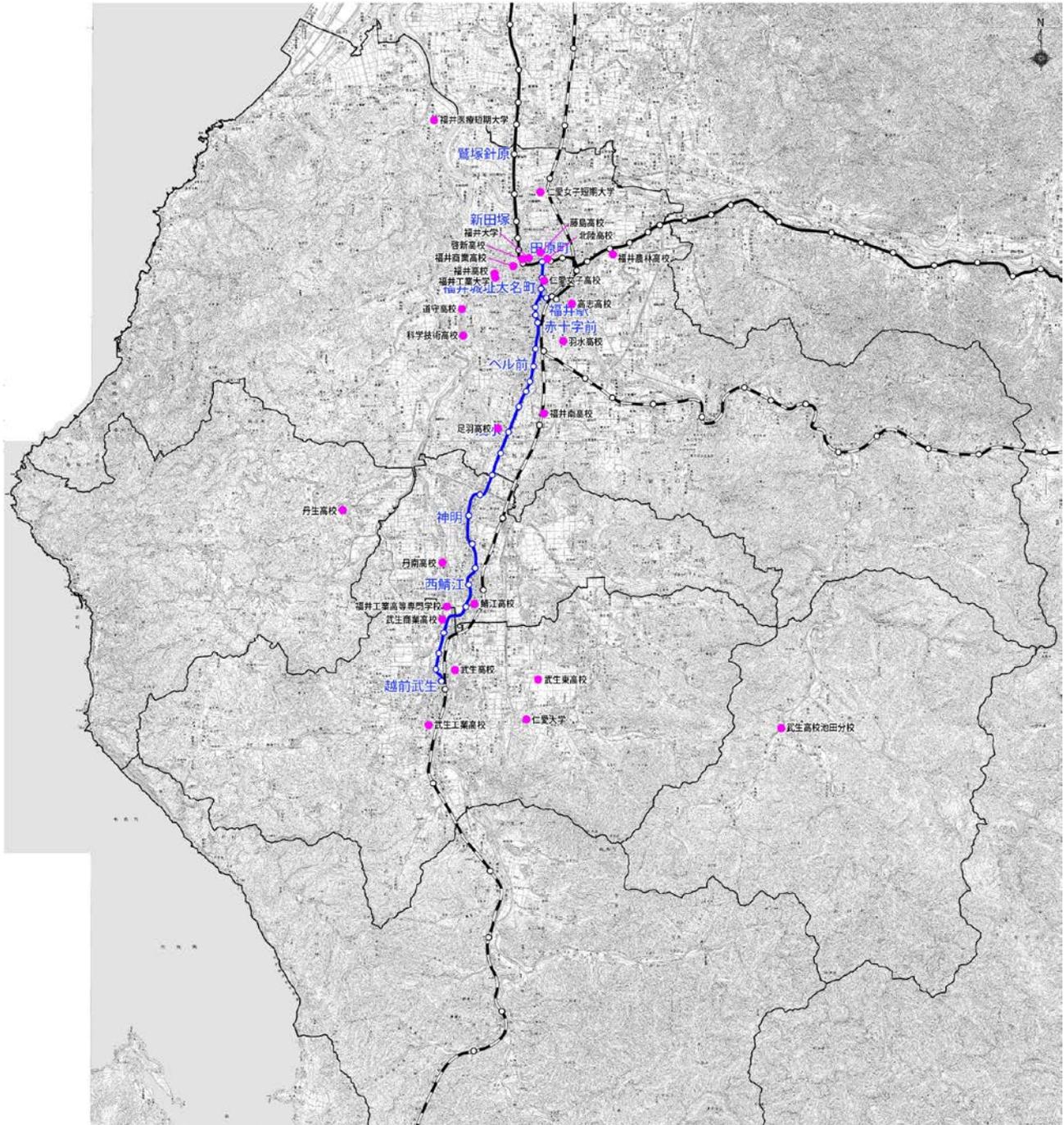


図2-17 大学・高等学校の立地状況

④ 商業施設

○商業施設は、鉄道沿線だけでなく広く分布している。店舗面積が5,000㎡を超える商業施設についても、自動車交通の利便性のよい郊外に立地している。

○平成28年には福井駅前にハピリンが開業した。

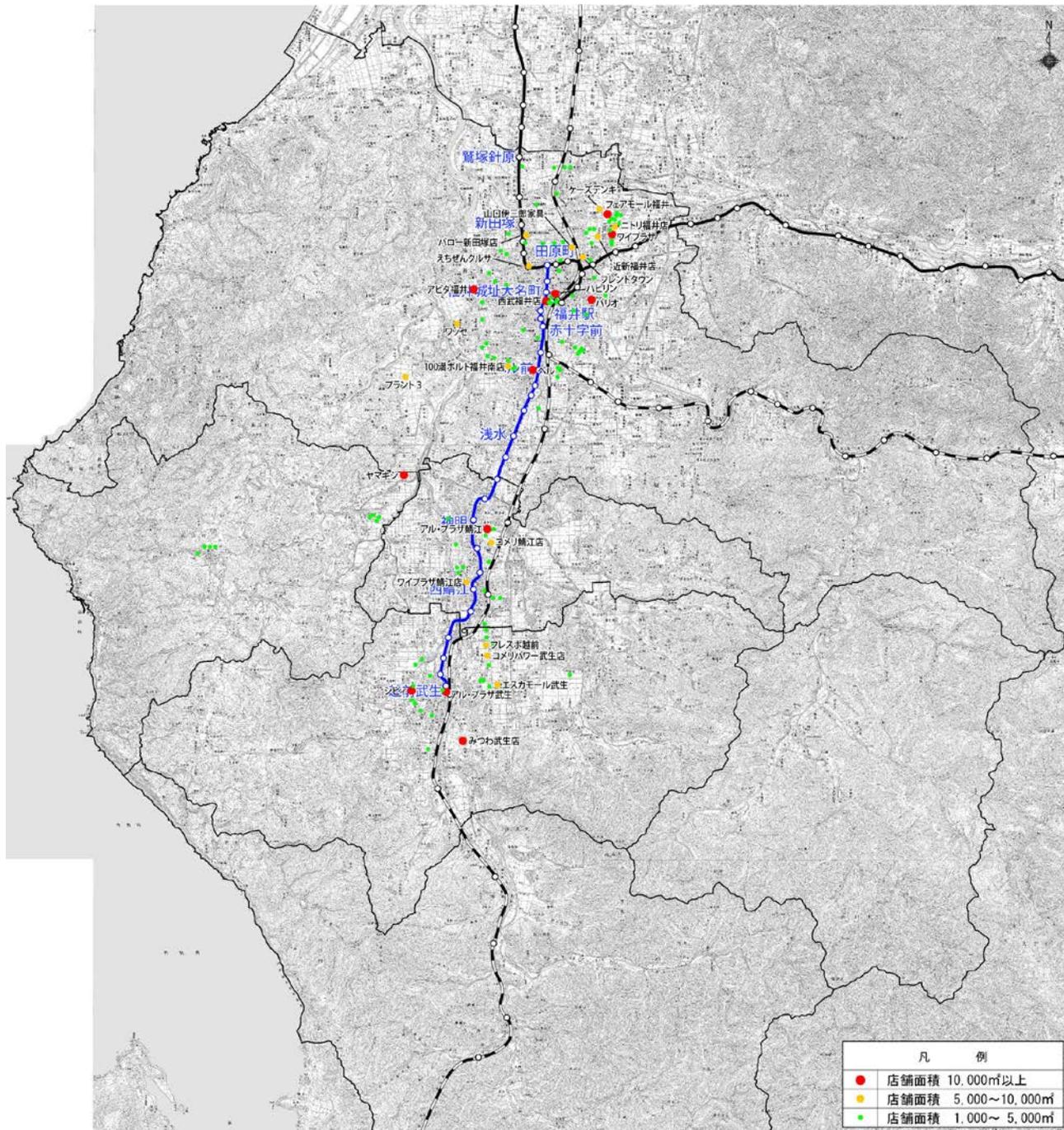


図2-18 商業施設の立地状況

⑤ 観光施設等

○福武線沿線には、多くの文化・レジャー施設、観光施設が立地している。

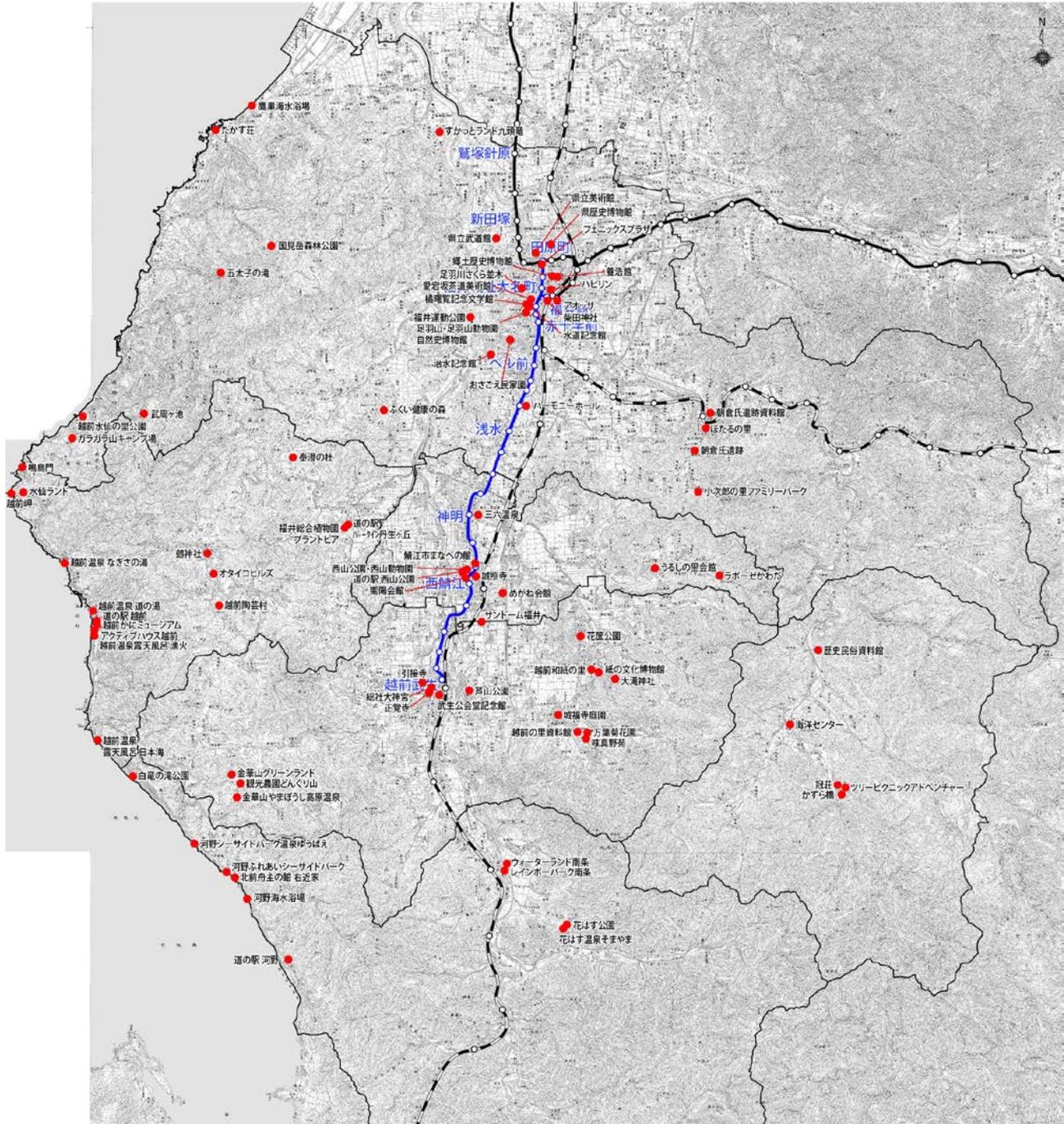
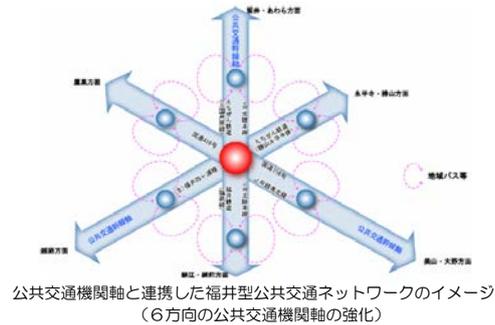


図2-19 観光施設等の立地状況

2. 上位関連計画

都市名	公共交通の考え方
福井市	<p>【改訂福井市都市計画マスタープラン 平成22年3月策定】</p> <p>◇目標年次：平成42年</p> <p>◇都市づくりの理念：暮らしの豊かさを実感できる「歩きたくなる」まち</p> <p>◇将来都市像：中心市街地と地域拠点が</p> <p style="text-align: center;">公共交通ネットワークにより有機的に結ばれた都市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい・観光・交流の拠点となる中心市街地の形成 ・日常生活に必要な機能を集約した地域拠点の形成 ・公共交通幹線軸の強化と幹線軸沿いへの都市機能の集積 <p><全体構想></p> <p>○「移動の骨格づくり」に向けた推進方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自由に行動でき、人々の生き生きとした生活や交流を支え、様々な交流や連携に対応できるよう「歩く」視点から交通の骨格づくりの推進 ・全域交通ネットワークのための公共交通の骨格づくり <p><分野別構想：公共交通機関の機能強化の方針></p> <p>○基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の到来や地球環境に負荷を与えないライフスタイルの確立に向けて、過度な自動車利用からの脱却を目指した公共交通機関の機能充実 ・子どもからお年寄りまで、市民誰もが気軽に利用できる、人にやさしく便利な市内全域の交通ネットワークの形成 <p>○既存ストックを活用した福井型公共交通ネットワークの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ●6方向の公共交通幹線軸の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・JR福井駅を中心として、南北2方向（JR北陸本線やえちぜん鉄道三国芦原線、福井鉄道福武線など）、東西4方向（JR越美北線やえちぜん鉄道勝山永平寺線、国道158号、416号、(主)福井四ヶ浦線など）の公共交通幹線軸を基本として鉄道やバスなどの利便性の向上、拠点となる駅やバス停などへのアクセス向上 ●地域特性にふさわしい交通サービスの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のサービス水準が低い地域では、地域住民や企業、交通事業者との協働により、地域住民の主体的な取り組みによる地域バス等の運行を検討 ・幹線軸沿線の利便性の向上、地域との連携強化のため、主要な鉄道駅やバス停において地域拠点や乗り継ぎ拠点を形成 <p>○既存の鉄軌道ストックを活かした施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や病院、行政サービス施設、商業・業務施設などが集積している区間におけるえちぜん鉄道、福井鉄道の相互乗り入れによる移動利便性の向上 ・既存の鉄軌道の積極的な活用に向けて、LRTの導入、路面軌道の再整備・延伸、新駅の設置の推進 ・JRと他の公共交通機関の乗継利便性を高めるため、JR福井駅の総合交通ターミナル機能の強化 ・住宅、病院、学校、公共施設、商業業務施設、企業等が集積する市街地の南北幹線軸の利便性を先導的に高め、沿線のまちづくりに関する取り組みとの連携による潜在需要の掘り起こし、沿線地域の活性化 <p>○連携施策の推進：過度な自動車利用からの転換促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意向把握や公共交通に関する情報提供、意識啓発などによるモビリティ・マネジメントの推進 ・企業へのカーセーブ運動やカーシェアリングなどへの参加・協力の呼び掛け、関係団体との協力・連携体制の確立



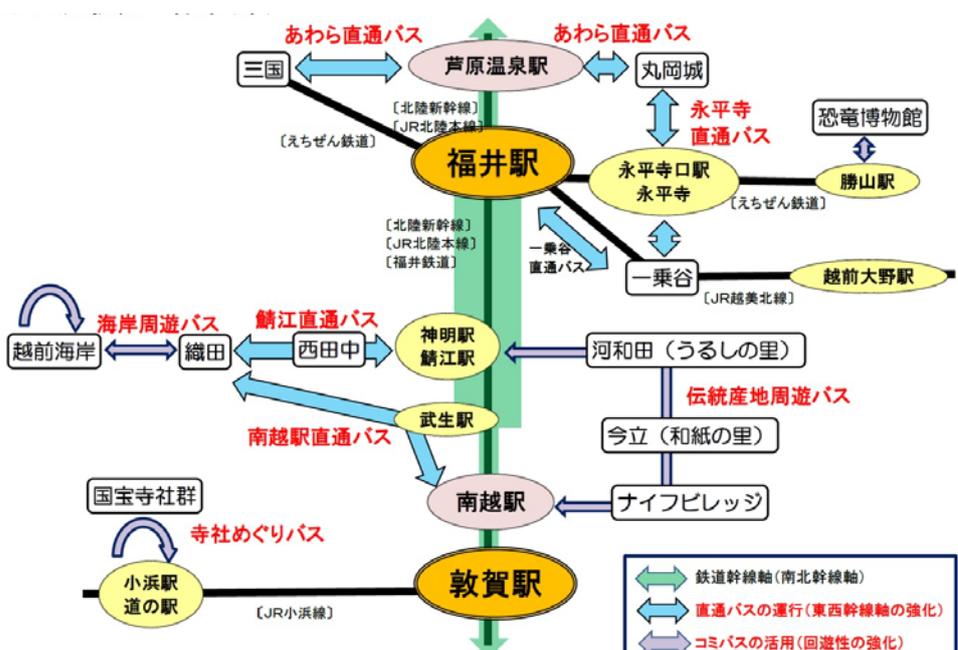
都市名	公共交通の考え方
福井市	<p>【福井市立地適正化計画 平成29年3月策定】</p> <p>◇立地の適正化に関する基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市街地における都市基盤ストックを活かした生活利便の維持 ②にぎわい交流拠点を中心とした魅力あるまちなか地区の形成 ③日常生活に必要な機能を集約した地域拠点の形成と公共交通ネットワークの確保 <p>【福井市観光振興計画（平成28～平成32年度） 平成28年3月策定】</p> <p>◇将来像：また来たくなるまち ふくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成と組織づくり ・観光基盤の整備と活用 ・五感に響く観光メニューの提供 ・効果的な情報発信 ・広域観光とインバウンド観光の推進 <p>◇基本施策と行動計画</p> <p>○交通利便性の向上 — 観光周遊バスの運行など交通アクセスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR福井駅と観光地を結ぶ観光周遊バスルートの整備 ・一乗谷朝倉特急バスの増便 ・公共交通機関のダイヤ調整や回遊性を高めるルート設定 ・観光タクシー、レンタカーの利用推進 ・観光地名を盛り込んだバス停、駅名の設定 <p>○周辺地域との連携強化 — 交通接結点としてのハブ的機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRや民間鉄道、路線バス等でつながる周辺自治体や、交通事業者との連携を強め、ワンストップによる交通情報の提供や周遊性を高めた交通手段の整備 ・周辺観光地と連携した広域観光ルートの開発 <p>【第2期福井市中心市街地活性化基本計画(第4回変更) 平成25年4月策定（平成29年3月変更）】</p> <p>◇計画期間：平成25年4月～平成30年3月（5年間）</p> <p>◇テーマ：官民協働のまちなかにぎわいステージづくり ～時めきときらめきに満ちた 持続性のあるまちをともにつくり育てる～</p> <p>◇基本方針</p> <p>《方針1 出会う「観光客・来街者の行き交い、おもてなしなどいろどりを整える」》</p> <p>○行き交いのいろどりを整える事業の展開</p> <p>誰もが移動・行動しやすい中心市街地の交通環境を確保し、行き交いのいろどりを整えるため、以下の事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西市街地の一体化や骨格道路のネットワークの強化など都市構造の再編・強化 ・鉄道やバスなど相互乗換の利便性向上に向けた交通結節機能の強化 ・利用促進に向けた公共交通サービスの向上 ・まちなかで気軽に移動できる自転車利用環境の向上 <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井駅付近連続立体交差事業（継続） ・低床車両（LRV）への更新（新規） ・コミュニティバス事業（継続） ・まちなかフリーきっぷ導入事業（新規）

都市名	公共交通の考え方
鯖江市	<p>【改定鯖江市都市計画マスタープラン 平成24年4月策定】</p> <p>◇目標年次：平成30年度</p> <p>◇将来都市像：豊かな生活を支える安心して住み続ける ふるさと鯖江</p> <p>◇土地利用の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通利便エリアへの居住推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車に過度に依存することなく安心して生活できる居住環境には、公共交通の利便性が高いことが重要 ・公共交通の利便性が高い地区を公共交通利便エリアとして位置づけ、対象範囲を明確にし、エリア内での住宅の建設や転居をはじめ、店舗の新設や企業の立地などを推進 <p>◇公共交通ネットワークの整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道を中心とする南北方向の公共交通サービスの維持・向上 <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な鉄道網を形成するJR北陸線を広域交流幹線軸、隣接する福井市、越前市を連絡する福井鉄道福武線を都市連携幹線軸と位置づけ ・これらの鉄道による公共交通の高い利便性をまちづくりの基本とし、積極的に公共交通の利用を促進による現在のサービス水準の維持、今後の利用動向を踏まえサービス水準の向上 ○バスによる東西方向の公共交通サービスの維持・向上（生活交通フィーダー線） <ul style="list-style-type: none"> ・本市における東西方向の公共交通サービスは、東西に広い市域の市民生活を支える公共交通として、バスを中心としたサービスを提供 ・バスネットワークを構成する「つつじバス」及び福鉄バスを、市街地への連絡や鉄道による広域交流観戦軸、都市連携幹線軸に接続する生活交通フィーダー線として位置づけ、積極的な利用促進により、現在のサービス水準の維持、今後の利用動向を踏まえサービス水準を向上 <p>【鯖江市地域公共交通網形成計画 平成29年2月策定】</p> <p>◇持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンパクトで魅力あるまちづくりと連携した公共交通 ②人々の生活を支える公共交通 ③協働により地域に存続する市民主役の公共交通 <p>◇計画の区域：鯖江市全域</p> <p>◇計画の期間：7年間（平成28年度～平成34年度）</p> <p>◇計画の目標</p> <p><地域公共交通網の将来像></p> <p style="text-align: center;">どこにでも歩いて行ける 豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境</p> <p><地域公共交通網の計画目標></p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現 ②まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現 ③観光ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現 ④市民との共同により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現 <div style="text-align: right;">  <p>■ 将来公共交通ネットワーク方針</p> </div> <p>【鯖江市立地適正化計画 平成29年3月策定】</p> <p>◇まちづくりの方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①安心して住み続ける歩いて暮らすまちづくり ②地域の宝を活かした交流・連携によるにぎわいのあるまちづくり ③市民がともに支え合い、行政と一体となった市民主役のまちづくり

都市名	公共交通の考え方
越前市	<p>【越前市都市計画マスタープラン 平成29年3月改定】</p> <p>◇目標年次：平成38年度</p> <p>◇基本理念：持続可能な定住都市の形成</p> <p>◇全体構想：交通ネットワークの方針</p> <p>○人とまちにやさしい多様性のある公共交通体系の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網の充実により、移動制約者に対する移動性の確保、CO2等の環境負荷の軽減、歩いて暮らせるコンパクトなまちを形成 ・鉄道（JR北陸本線、福井鉄道）を基幹的な公共交通軸として路線バスや市民バス等によって公共交通ネットワークを形成し、これらを利用しやすい環境を整備及び充実することで、車に過度に依存しない多様な移動手段の選択ができる交通体系を確立 ・JR北陸本線、福井鉄道福武線の利便性の向上 ・路線バスは、主に拠点間を連絡する持続的な基幹交通手段として、公共交通ネットワークの維持、サービス水準の向上 ・その他のバスは、日常生活を支える交通手段として、公共交通ネットワークの維持 ・市民に対しては、自動車依存型の生活スタイルから公共交通や自転車・徒歩を利用した生活スタイルへの転換を促進 ・南越駅(仮称)と、中心拠点や地域拠点を連絡する二次交通の確保 <p>【越前市立地適正化計画 平成29年3月策定】</p> <p>◇まちづくりの方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様かつ高次な都市機能を提供する中心拠点の形成 ②生活の利便性を高める持続可能な公共交通ネットワークの維持、サービス水準の向上 ③将来人口に見合った市街地規模の実現、市民による居住地選択の誘導 ④現在の居住地での暮らしやすさの維持 <p>【越前市観光振興プラン 平成29年3月改定】</p> <p>◇計画期間：平成29年度～平成34年度</p> <p>◇コンセプト：手仕事のまち ニッポンの越前市</p> <p>◇観光振興の推進に向け具体的な取り組み</p> <p>○二次交通の利便性向上</p> <p>路線バス、市民バスの運行本数が少なく、さらに土日は減便になっており、観光利用に対応した二次交通の充実が求められている。</p> <p><具体的な取り組み事例、案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに整備される北陸新幹線南越駅(仮称)は交通の結節点となることから、南越駅(仮称)へのバスやタクシーの停留所の設置、誰もが分かりやすい二次交通の情報発信 ・外国人旅行者が交通手段ごとに目的地までの移動時間や経費などが簡単に分かるようなシステムの導入 ・市内外の観光地を直結する観光客向け急行バスの運行をの検討 ・南越駅(仮称)と武生駅間の路線バス運行 ・観光地周辺のバス停について、観光客に分かりやすい表記法の検討 <p>○北府駅鉄道ミュージアム事業</p> <p>北陸新幹線開業に向けて鉄道への関心が高まっており、福井鉄道北府駅では200形車両の保存、活用が望まれている。</p> <p><具体的な取り組み事例、案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道ファンなどの観光客を呼び込むため、レトロな雰囲気の中北府駅の特徴を活かし、200形車両を保存、展示する鉄道ミュージアム等の整備 ・北府駅の周辺に広場を整備し、各種イベントを企画、開催 ・車掌体験や制服試着、運転体験等の企画

都市名	公共交通の考え方
池田町	<p>【池田町地方創成総合戦略 平成28年3月策定】</p> <p>◇基本目標：「豊国の農村」まち育て戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「すみか」：安心で心地よい暮らしの生活空間を守り生み出す ●「しごと」：「顔が見える地産地消地商の経済」を推進し、半農多業化など多様な生業を育む ●「なかま」：小さな強み、小さな不安を「つながる関係」が支える幸福を創造する <p>○交通手段の多様化</p> <p>①デマンドバスの導入（担当課：総務政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般路線バスの本数に限りがあるため、回数券補助や通学費支援の代わりに、ジャンボタクシーかコンピューター（ミニバス）車両の町営バスを隣町まで延伸し、一般路線バスへの接続乗り継ぎを促進する。町内はデマンドバス形態で、高校卒業まで無料などで運行する。隣町では町営駐輪場などを用意し、自転車も利用できるようにすることで、登下校時間などにも幅広い選択肢で対応できるようになる。さらに、一般路線バスをはじめとした公共交通機関においての通学定期券補助や過疎地域における有償運送特例制度を生かした自治活動の一環での取り組みも併せて検討する。 <p>②「ふくタク」運行事業の拡充（担当課：保健福祉課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上の高齢者や、運転が制限される障がい者、怪我や病気などで一時的に運転できない者への、町内の一般タクシーや介護タクシーの利用補助（「お出かけ支援ふくタク利用カード」提示で乗車毎に運賃半額（上限5千円））の「ふくタク」運行事業を拡充し、中学校卒業までの子どもと同乗する場合も対象とする。 <p>【池田町過疎地域自立促進計画 平成28年3月策定】</p> <p>◇公共交通対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの通行時間帯及び回数の是正により、通勤、通学、高齢者等の利用者の利便を図るよう関係機関に要望するとともに、路線バス利用者に対する助成制度の見直しにより乗車率の向上を図り、路線バスの存続に努める。 ・「なかま号」の運行回数や経路の変更についても検討するとともに、デマンドバスの導入や、自治会等による輸送活動についても検討する。
南越前町	<p>【第2次南越前町総合計画 平成27年3月策定】</p> <p>◇計画期間：平成27年度～平成36年度</p> <p>◇将来像：海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町</p> <p>◇基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や障害者にやさしい公共交通サービスが運行されるまち <公共交通手段の充実> <ul style="list-style-type: none"> ①地域公共交通会議の開催 ②地域実情に配慮した運行 ③広報などによる利用促進啓発 ④小型バスの導入 <p>【南越前町地域公共交通計画 平成29年3月策定】</p> <p>◇計画期間：平成29年度～平成32年度</p> <p>◇将来像：活力ある地域公共交通をみんなで作り、守り、育てる町</p> <p>◇基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続的な運行の改善による効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない路線や便の統廃合や減便を視野に入れた継続的な改善 ・利用者および事業者の意見を広く集約するための機会の創出 ○生活に密着した利用者にやさしい運行 <ul style="list-style-type: none"> ・住民生活に密着した路線、子どもや高齢者にやさしい路線の運行 ○地域住民との連携による地域公共交通の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進に向けた啓発と地域公共交通を自らの力で維持する意識の醸成 ・住民、事業者、行政による意見交換会の開催、利用者や地域住民主体の運行方法を検討する協議会等の設置を目指す <p>◇目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民利用バス各路線利用者数の対前年度からの増加

都市名	公共交通の考え方
越前町	<p>【第二次越前町総合振興計画 平成28年3月策定】</p> <p>◇計画期間：平成28年度～平成37年度</p> <p>◇将来像：人と技 海土里織りなす 快適なまち</p> <p>◇第1章 快適で安全に住み続けられるまちづくり</p> <p>○住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実 ー公共交通の充実</p> <p>①町内外を移動できる交通手段のネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前町の基幹公共交通である路線バスについて、路線の維持・確保、町民ニーズに応じた運行経路の見直しや便数の充実 ・路線バスとコミュニティバスとの乗継ダイヤの調整、運行時間が重複している便の見直し、乗継拠点の見直しなど、路線バス・コミュニティバスの連携・共存による合理化 ・コミュニティバスの低迷している経路及びダイヤについて、利用率向上のための効率化 ・隣接市と連携による、鉄道・路線バス・コミュニティバスの効率的な運行体系の検討 <p>②誰もが利用しやすいバス利用環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離の移動に公共交通が不可欠である高齢者ならびに小中学生・高校生に対して、金銭的負担を低減する助成制度の維持・充実 ・バス待ち抵抗を緩和するため、集落が自ら行うバス待合所の整備に対する支援 <p>③住民と行政の協働により公共交通の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした意識啓発による、町民自ら利用したくなるような環境づくり・意識づくり <p>○町内活動における公共交通利用のPRと商業・観光との連携を通じた、路線バス、コミュニティバスなどの利用促進</p> <p>○地域に必要な交通は地域自らが守り育てるという観点に基づき、地域主体の自主運行型公共交通など、新たな地域公共交通の仕組みづくりに向けた官民連携による検討</p> <p>【越前町都市計画マスタープラン 平成29年5月策定】</p> <p>◇目標年次：平成47年</p> <p>◇都市づくりの理念：越前の豊かな暮らし、地域の風土に育まれた暮らしの継承</p> <p>◇交通体系の方針：安全で快適な日常生活を支える公共交通ネットワークの維持・確保</p> <p>◇公共交通ネットワークの配置方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①南北交流軸を形成する北陸新幹線等の鉄道駅へのアクセスの確保 ②日常生活を支える町内の移動の確保 <p>【第三次越前町地域交通計画 平成28年3月策定】</p> <p>◇計画期間：平成28年度～平成32年度</p> <p>◇将来像：みんなが主役！ネットワークで地域をつなぐ公共交通</p> <p>◇基本方針</p> <p>①町内外を移動できる交通手段のネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの維持・確保と運行経路・便数の充実（継続） ・路線バス・コミュニティバスの連携・共存による合理化（一部見直し） ・コミュニティバスの利用率向上のための効率化（見直し） ・隣接市との連携のための鉄道線へのアクセスの向上（新規） <p>②誰もが利用しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに対する助成制度の維持・充実（継続） ・バス待合所の整備推進（継続） <p>③行政と住民との協働による公共交通の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした意識啓発（継続） ・町内活動における公共交通利用のPRと商業・観光との連携（見直し） ・地域主体の新たな地域公共交通の仕組みづくりに向けた検討（新規） <p>【越前町立地適正化計画 平成29年3月策定】</p> <p>◇都市づくりの方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①安全で安心のある日常生活を支える生活基盤の確立 ②コンパクトな居住集積による「まち」の持続性の確保 ③地域特性を活かした新たな都市機能の誘導、人口定着

都市名	公共交通の考え方
福井県	<p>【福井県高速交通開通アクション・プログラム 平成28年3月策定】</p> <p>1. 高速交通開通に向けた「基本戦略」</p> <p>(1) 「交通の革新」と地域交通ネットワークの強化</p> <p>○新幹線駅の拠点機能強化と地域公共交通の革新 【主要プロジェクト】(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅舎デザインのコンセプトを、駅機能とあわせて検討し、鉄道・運輸機構に提案 (市、H28) ・新幹線駅の駅前広場やアクセス道路を整備 (県・市) ・並行在来線、地域鉄道、バスを一体的に組み合わせ経営とサービスを強化 (民間) ・北陸本線の第3セクター化を機に、新駅設置など地域主導で利便性を向上 (民間) ・新幹線駅等を拠点に市町を超える広域バスを生活圏の広域化にあわせ運行 (市町、H29～) ・コミュニティバスを休日の観光地循環バスとして有効活用 (市町・民間) ・福井駅から一乗谷、永平寺など主要観光地への特急バスを運行 (県・市町・民間) ・福井市のまちなか観光エリアに低料金の移動手段を確保 (民間、H28～) ・福井市中心部における歩行者と鉄道が共存できる空間や市内循環鉄道の整備を検討 (県、H28～) ・ICカード乗車券を全県域で利用できるよう順次導入 (民間) <p>(2) 「都市の改造」と「ふるさと資産」の価値創造</p> <p>○「官民共働」による都市のリ・デザイン 【主要プロジェクト】(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の再配置や民間再開発事業の拡大により、福井市中心部への都市機能の再集約を促進 (県・福井市・民間) ・各市町の中心市街地において、空き家や空き店舗などを活用したまちなか居住、商業エリアの活性化を推進 (県・市町・民間) ・中心市街地における「緑のシンボル軸」の形成、空き地等を活用したまちの緑化を推進 (県・市町・民間) ・各市町の景観計画やガイドラインに基づき、美しい住風景やまちなみ景観の形成を推進 (県・市町・民間)  <p>■二次交通拡充の体系 (案)</p>

3. 地球温暖化対策とエネルギー問題

二酸化炭素（以下CO₂）を始めとする温室効果ガスの排出量が急増し、1906年から2005年の100年間で地球の平均気温は0.7℃（本県では1.4℃）上昇している。また、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第5次評価報告によると、21世紀末には地球の気温は最大4.8℃、海面水位は最大82cm上昇すると予測されている。

温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化を防止することは国際的な緊急課題であり、平成27年（2015年）11月にパリで開催された「気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」では、2020年以降の先進国の温暖化対策の国際的な枠組み『パリ協定』が正式に採択された。

わが国のCO₂排出量は、運輸部門が17.4%を占め、このうち86.1%が自動車に起因するものとなっている。

また、福井県の1世帯あたり自家用乗用車保有台数^{※1}は、平成28年3月末時点で1.75台となっており、全国1位である。このことから、CO₂排出量を抑制し、低炭素社会の実現を目指すため、自家用乗用車への過度な依存を是正し、環境負荷の小さい公共交通機関への利用転換を進める必要がある。

※1 一般財団法人 自動車検査登録情報協会 公表資料

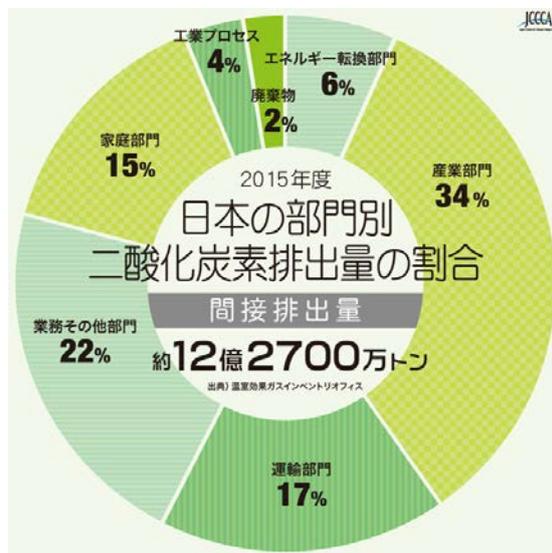


図2-20 二酸化炭素の部門別排出量の割合(2015年度)
資料：JCCA「日本の部門別二酸化炭素排出量」

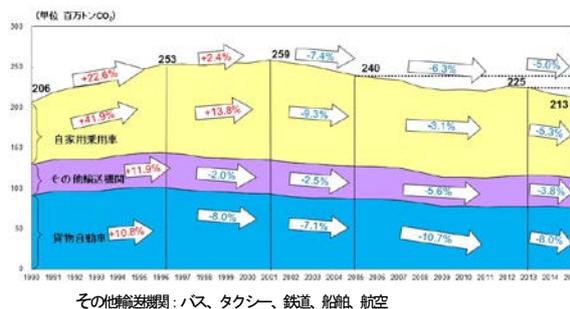


図2-21 運輸部門における二酸化炭素排出量の推移(2015年度)
資料：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」

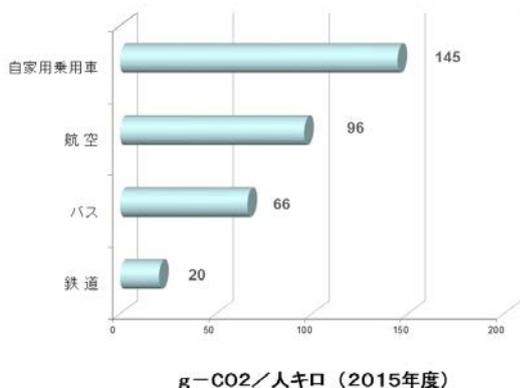


図2-22 旅客輸送機関別の二酸化炭素排出量
資料：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」

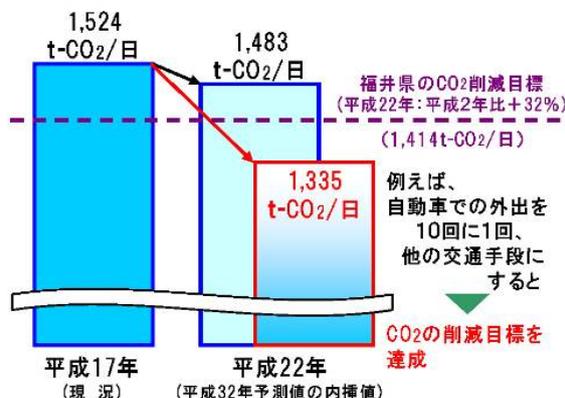


図2-23 二酸化炭素排出削減に向けた活動イメージ
資料：福井市都市交通戦略

第3章 福井鉄道交通圏における公共交通の現状

1. 公共交通網の現状

- 福井鉄道交通圏に関連する鉄道は、当該地域と他都市圏を結ぶJR北陸本線、福井市と坂井市・あわら市方面を結ぶえちぜん鉄道三国芦原線、福井市と勝山市・永平寺町方面を結ぶえちぜん鉄道勝山永平寺線、福井市と大野市方面を結ぶJR越美北線がある。
- 当該地区に関連するバス交通は、京福バス、福井鉄道が運行する路線バスと、各市町が運行するコミュニティバスがある。

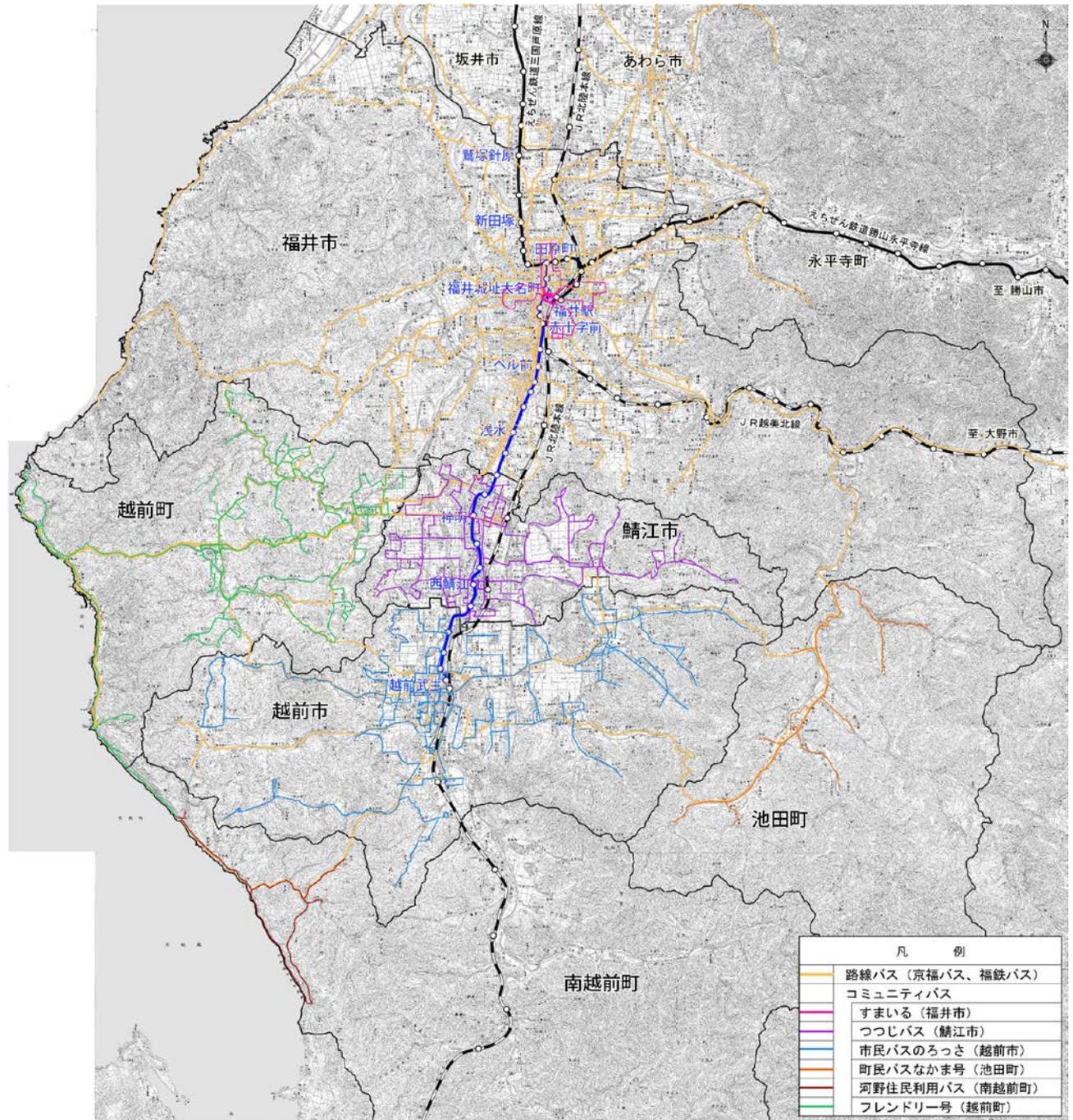


図3-1 公共交通網図 (平成29年10月1日現在)

表3-1 公共交通網の接続状況（平成29年10月1日現在）

駅名	都市名	路線バスとの接続状況	コミュニティバスとの接続状況
越前武生	南越前町	王子保河野線（0m）	河野住民利用バス （王子保河野線との乗継）（0m）
	池田町	池田線（福鉄バス）（0m）	町民バスなかま号 （池田線との乗継）（0m）
	越前市	武生越前海岸線、 南越線、 池田線（福鉄バス）、 王子保河野線、 白山線、入谷線（0m）	
北府		—	市民バスのろっさ （市街地循環北ルート、 吉野・大虫ルート（吉野編））（0m）
スポーツ公園		—	市民バスのろっさ （吉野・大虫ルート（吉野編））（0m）
家久		—	市民バスのろっさ （吉野・大虫ルート（吉野編））（50m）
サンドーム西	鯖江市	—	鯖江市コミュニティバス つつじバス （鯖江南・新横江線）（200m）
西鯖江		—	鯖江市コミュニティバス つつじバス （循環線、幹線、鯖江南・新横江線、豊線、 中河・北中山線、河和田線、 通学便 市内高校ルート、通学便 豊ルート） （各100m）
西山公園		—	—
水落		—	—
神明		鯖浦線（0m）	鯖江市コミュニティバス つつじバス （循環線、幹線、神明線、片上・北中山線、 立待線、吉川線、通学便 片上・北中山ル ート、 通学便 立待ルート、通学便 吉川ルート）（0 m）
鳥羽中		—	—
三十八社		—	—
泰澄の里	福井市	福浦線（300m） 麻生津循環線（0m）	—
浅水		福浦線（100m） 麻生津循環線（0m）	—
ハーモニーホール		福浦線（150m）	—
清明		福浦線（100m）	—
江端		福浦線（150m） 清明循環線（100m）	—
ベル前		福浦線（150m） 清明循環線（150m） 生部線、運動公園線、清水山線 （300m） 赤十字みのり線（250m）	—

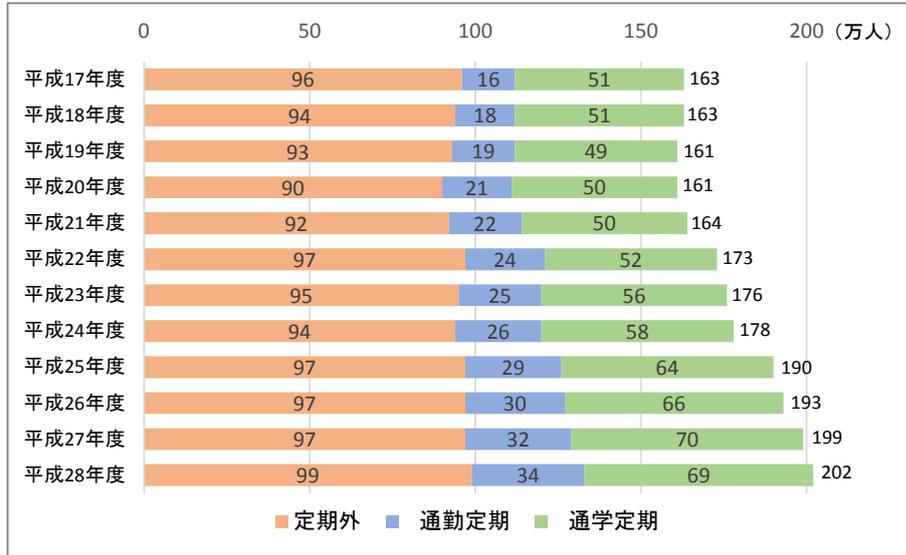
駅名	都市名	路線バスとの接続状況	コミュニティバスとの接続状況
花堂	福井市	福浦線（150m） 生部線、運動公園線、清水山線 （150m）	—
赤十字前		赤十字病院線（0m） 福浦線（150m） 生部線、運動公園線、清水山線 （150m） 赤十字みのり線、清水グリーンライン、 西田中宿堂線（300m）	—
商工会議所前		福浦線（50m） 生部線、運動公園線、清水山線、 西田中宿堂線（50m）	—
足羽山公園口		福浦線（50m） 生部線、運動公園線、清水山線、 西田中宿堂線（50m）	—
福井城址大名町		福浦線（50m） 二の宮春江線、福井総合クリニック線、 福井総合病院線、大学病院新田塚線、 高木線、丸岡線、県立病院丸岡線、 大和田エコライン、円山・重立線、 心臓センター町屋線（50m）	コミュニティバスすまいる （田原・足羽方面、照手・足羽方面）（0m）
福井駅		福井駅バスターミナル（0m）	コミュニティバスすまいる （田原・足羽方面、照手・足羽方面、 木田・板垣方面、城東・日之出方面）（0m）
仁愛女子高		福浦線（50m） 二の宮春江線、福井総合クリニック線、 福井総合病院線、大学病院新田塚線、 高木線、丸岡線、大学病院線、 大和田エコライン（50m）	コミュニティバスすまいる （田原・足羽方面）（250m）
田原町		福浦線（50m） 二の宮春江線、福井総合クリニック線、 福井総合病院線、大学病院新田塚線、 高木線、丸岡線、大学病院線、 大和田エコライン（50m）	コミュニティバスすまいる （田原・足羽方面）（100m） 日新さんさんバス（150m）
福大前西福井		幾久新田塚線、 福井総合クリニック線、 運転者教育センター線、（150m）	日新さんさんバス（50m）
日華化学前		幾久新田塚線、 福井総合クリニック線、 運転者教育センター線（300m）	日新さんさんバス（200m）
ハツ島		—	日新さんさんバス（50m）
新田塚		—	—
鷺塚針原		—	—

※（カッコ）内はバス停から福井鉄道駅までの距離（ただし300m圏内）

2. 福武線の現状

(1) 輸送人員の状況

- 福武線の輸送人員は年々増加しており、平成28年度には年間200万人を超えている。
- 輸送人員の推移を券種別にみると、定期外は概ね横ばいで推移しているが、通勤定期、通学定期が増加している。

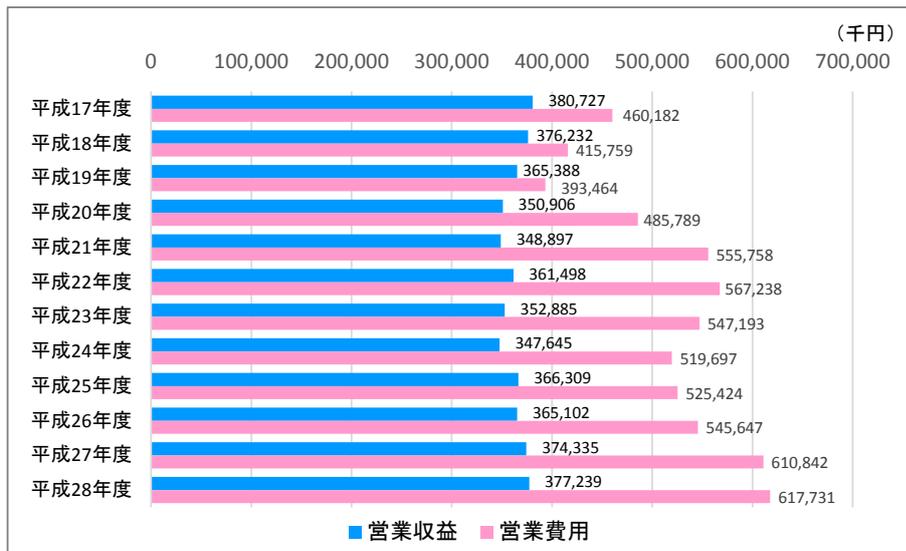


資料：福井鉄道

図3-2 輸送人員の推移

(2) 経営の状況

- 営業収益は、近年輸送人員の増加に応じて増加傾向にある。
- 営業費用については、平成20年度以降大幅に増加している。これは、「鉄道事業再構築実施計画（平成20年度～29年度）」に基づく施設整備を進めているためで、補助金を含めた経常損益は、年度によりばらつきはあるが赤字となっている。



資料：福井鉄道

図3-3 営業収益・営業費用輸送人員の推移

(3) 施設・設備の状況

① 平成17年度以降の整備状況

福武線の平成17年度以降の整備状況は以下のとおりである。

表3-2 福武線の整備状況（平成17年度～平成28年度）

年度	整備実績	整備内容
H17	車両更新	低床車両 2両
	停留場整備	ホームの切り下げ 17駅
	変電所	田原町 新設（福井新 廃止）
	車両更新	小型車両 8両
	軌道道床硬質化	道床交換
	保安度向上	終端駅・曲線部にATS設置 10箇所
	分岐器交換	福井新 2箇所（重軌条化）
	橋梁改修	元三大師 合成マクラギ・重軌条化
H18	車両更新	小型車両 10両
	交差点部軌道改良	裁判所前
H19	軌道道床硬質化	道床交換
	橋梁改修	福武線全般の橋梁 橋桁・橋台・橋脚の補修 幸橋の改修
	交差点部軌道改良	セーレン前、田原町
	変電所更新	江端変電所 1箇所
H20	橋梁改修	日野川橋梁上部工・下部工の改良175m、レール交換およびマクラギ交換（合成マクラギ化）220m、架線柱の交換8箇所
	軌道道床硬質化	北府(西武生)、三十八社～浅水、浅水～ハーモニーホール、赤十字前(福井新)～商工会議所前(木田四ッ辻) 240m
	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)	西山公園～水落間 195m
H21	軌道道床硬質化	北府(西武生)、赤十字前(福井新)、赤十字前(福井新)～商工会議所前(木田四ッ辻) 550m
	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)	家久～西鯖江、西山公園～水落 705m
	分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)	神明2S、神明4W
	列車集中制御装置改良	通信線のケーブル化：福武線運転指令所～本社および赤十字前(福井新)までの各駅間
	連動装置更新	制御機器更新：江端駅、赤十字前
	新駅設置	スポーツ公園
	駅情報案内装置	越前武生～田原町までの19駅構内
H22	軌道道床硬質化	北府、西鯖江、浅水 590m
	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)	水落、三十八社、江端 348m
	分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)	神明2S、神明4W
	列車集中制御装置改良	CTC光回線対応化：越前武生～神明
	連動装置更新	制御機器更新：越前武生、水落、三十八社
	駅舎改良	西山公園（駅舎改良、ベンチ・案内板設置） ベル前（駅舎改良、ベンチ・案内板設置） 水落（待合室改良、トイレ・ベンチ・案内板設置）
	新駅設置	泰澄の里、清明

年度	整備実績	整備内容
H23	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)	西鯖江 298m
	分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)	西鯖江 1S 2S
	橋梁の合成マクラギ化	神明架道橋、鳥羽中架道橋、麻生津水路橋 66本
	橋桁交換	鳥羽中架道橋、麻生津水路橋
	列車集中制御装置改良	CTC光回線対応化：北府、家久、サンドーム西、西鯖江、水落、神明、三十八社、浅水、江端、花堂、赤十字前
	連動装置更新	制御機器更新：北府、西鯖江、神明
	駅舎改良	待合室の整備：三十八社、江端、北府、神明、赤十字前
	軌道補修	三十八社～浅水間：軌道整正1.7km間、PCマクラギ交換300本
	車輪修繕	車輪はめ替え：202号車、774-5号車、776-7号車 32枚
	保守用車両修繕	バラスト散布車修繕 ホキ車2両
	高所作業車購入	中古車1台
	雨量計	雨量観測システム：水落駅設置→指令所
	H24	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)
分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)		越前武生12イW・12ロW、北府2W
分岐器部分交換		福井城址大名町1S発条ポイント、3C発条ポイント
PCマクラギ交換		越前武生2番線、3番線、北府～家久、水落～神明 600本
レール交換		北府～スポーツ公園、水落～神明 462m
列車集中制御装置改良		CTC光回線対応化：越前武生
連動装置更新		制御機器更新：家久、浅水
閉塞用通信ケーブル更新		水落～神明、神明～三十八社
駅舎改良		家久、サンドーム西、鳥羽中、花堂
橋桁塗装		びわ架道橋(9K068m) 旧浅水川橋梁
車輪修繕		車両はめかえ 884-5号車 12枚
低床車両購入		低床車両導入 1編成
H25		レール重軌条化 (37kg→50kgレール)
	分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)	越前武生11W、北府3W、赤十字前2W 3組
	合成マクラギ化	12K556m水道橋4本
	PCマクラギ交換	越前武生1番線、北府下り線 245本
	橋桁交換	12K556m水道橋
	踏切制御送受信機器更新	今市踏切道
	閉塞用通信ケーブル更新	西鯖江～水落
	トロリー線更新	越前武生、赤十字、福井城址大名町～裁判所前交差点(下り線)
	上屋整備	仁愛女子高校下り・上りホーム
	ホーム設備新設	仁愛女子高校下り・上りホーム
	橋桁塗装	3K274m橋梁、3K301m架道橋、3K600m架道橋、神明架道橋(県道)、びわ架道橋
	橋台修繕	3K301m架道橋、6K600m架道橋
	車輪修繕	車輪はめ替え602号車 8枚
	車両基地改良	北府車両基地

年度	整備実績	整備内容
H 26	路面軌道改良	商工会議所前交差点～辻万前交差点付近
	P Cマクラギ更新	北府～スポーツ公園、ベル前～花堂 600本
	踏切制御送受信器更新	小黒町踏切道
	風速監視装置更新	日野川橋梁越前武生駅指令所
	閉塞用通信ケーブル更新	浅水～江端、北府～家久
	駅舎更新	田原町
	レール重軌条化 (37kg→50kgレール)	赤十字前下り線(2番線)、上り線(3番線) 386m
	分岐器重軌条化 (37kg→50kg分岐器)	赤十字前3W 1組
	路面軌道改良	新木田交差点～幸橋区間、市営体育館前交差点～田原町 駅区間 L=531m
	踏切道更新	福井新南踏切道17K833m
	レール更新	北府～スポーツ公園 1K300m～1K640m
	低床車両導入	低床車両導入 2編成
	上屋整備	公園口下り、上りホーム
	ホーム設備新設	公園口下り、上りホーム
H 27	レール重軌条化 (37k→50Nレール)	赤十字前(2番線)、上り(3番線) 386m
	分岐器重軌条化 (37k ^ホ イント→50N ^ホ イント)	赤十字前3W
	低床車両導入	低床車両導入 1編成
	踏切道更新	福井新南踏切道
	レール更新 (50Nレール短尺→定尺)	北府～スポーツ公園
	閉塞用通信ケーブル更新	北府～家久
	車輪修繕	車両タイヤのはめ替え 24枚
	運転状況記録装置新設	車両15編成(30組)
	軌道列車動揺の定期検査	越前武生～田原町
	レール更新	北府～スポーツ公園(バリア解消)
	ホーム改修	泰澄の里
	軌道修繕	福井市木田～田原町
	トロリー線修繕	浅水、福井城址大名町、仁愛女子高校付近
	列車無線設備定期点検	基地局他37台
	変電所設備定期点検	全変電所
	閉塞用通信ケーブル更新	北府～家久(バリア解消)
	トロリー線修繕	北府、神明
	CFヒューズ取替	神明～赤十字前
	電車線設備補修	福武線内
	ネットワーク設備点検修繕	本社を含む福武線各駅
	相互直通化のための施設整備	田原前(軌道、信号設備等の整備)
	木田四ツ辻停留所移設	安全柵、照明柱、誘導ブロック設置
	上屋新設	木田四ツ辻(商工会議所前)
	路面軌道改良	フェニックス通り(溝付レール及びPCマクラギに更新)
	レール更新	摩耗しているレール更新
	マクラギ更新	木田曲線区間
	軌道道床更新	道床バラスト更新
駅前線延伸	福井駅前線(軌道、信号設備等の整備)	

年度	整備実績	整備内容
H28	レール重軌条化 (37k→50Nレール)	赤十字前から鉄軌道分岐点付近間
	分岐器重軌条化 (37kボイント→50Nボイント)	赤十字前 5号分岐器
	低床車両導入	低床車両導入 1編成
	相互乗入用車両改造	ATS移設
	踏切道更新	昭和町南踏切
	柱上変圧器更新	29、42、67、76、119、190、240、245、250号柱(9箇所)
	閉塞用通信ケーブル更新	越前武生～北府、三十八社～浅水、花堂～赤十字前
	踏切制御送受信器更新	森行踏切道
	電車線柱更新	老朽化した電車線柱の更新
	踏切補修	片町踏切道
	脱線事故対応	福井市木田～田原町
	レール及びガードレール亀裂補修	大名町交差点
	事故復旧工事	公園口
	列車無線設備定期点検	基地局他39台
	変電所設備定期点検	全変電所
	閉塞用通信ケーブル更新	越前武生～北府(地域公共子関確保維持改善事業)
	スパン線補修	軌道線
	ネットワークカメラ修理、復旧	越前武生
	列車無線操作器点検	
	路面軌道改良	フェニックス通り(溝付レール及びPCマクラギに更新)
駅舎改良	サンドーム西(トイレ)	

② 安全安心な運行に必要となる対策

○福井鉄道ではこれまで、老朽化した施設設備の更新や重軌条化、PCマクラギ化等の整備を実施した。

○今後は鉄道のネットワーク利便性を高めるための整備に取り組む必要がある。



▲築50年以上が経過し、老朽化の著しい軌道敷



▲乗り降りがやや不便な大型車両

(4) パークアンドライドの状況

過度に自動車に依存した交通環境を是正し、鉄道利用への転換を図るため、福武線各駅でのパークアンドライド駐車場の整備を進めている。

整備状況は、下表に示すとおりで、軌道区間の電停を除く19駅のうち12駅に合計357台の駐車場があり、浅水駅を除いて無料で提供している。これらのうち、浅水駅、水落駅、北府駅には他駅と比べて大きな駐車容量が確保されている。また、公共施設（県立音楽堂）や商業施設の駐車場の一部を活用した駐車場も提供されている。

表3-3 福武線のパークアンドライド駐車場の整備状況

	駅名	駐車容量	料金	利用条件	備考
1	花堂	12台	無料	福武線利用者	申込：不要、未舗装
2	ベル前	50台	無料	福武線の定期券または回数券を提示して、ベルお買物券3,000円購入者 <利用時間> 6時から22時まで (降雪時は午前10時から)	商業施設の駐車場の一部を使用 申込： ジョビソクシティベル (1階総合カウンター)
3	江端	18台	無料	福武線利用者	申込：不要、未舗装
4	ハーモニーホール	38台	無料	福武線の定期券または回数券利用者	県立音楽堂ハーモニーホールふくいの駐車場の一部を使用 申込：福井県交通まちづくり課
5	浅水	42台	3,090円/月 310円/日	福武線利用者	県営駐車場 (申込先：浅水駅)
6	三十八社	11台	無料	福武線利用者	申込：不要、未舗装
7	鳥羽中	5台	無料	福武線利用者	申込：不要、未舗装
8	神明	15台	無料	福武線の定期券利用者	申込：神明駅
9	水落	80台	無料	福武線利用者	市営駐車場（申込：不要）
10	サンドーム西	10台	無料	福武線利用者	申込：不要、未舗装
11	スポーツ公園	13台	無料	福武線利用者	申込：不要
12	北府	63台	無料	福武線利用者	県営駐車場（申込：不要）
	計	357台			

出典：福井鉄道HP



■ 県営浅水駅駐車場



■ スポーツ公園駅駐車場

<利用状況>

パークアンドライド駐車場の利用状況は、下表に示すとおりであり、12駅平均の利用率は64%となっている。

利用率が低い駅の要因としては、利用者意向を踏まえると、駐車場から駅までの距離、アクセス道路の整備状況、駐車場の舗装、利用料金の有無等が考えられる。

また、駐車場の利用特性として、福武線の浅水駅、北府駅では、鉄道利用者の送迎車両が多く、駐車場が乗降場として活用されている。

表3-4 福武線のパークアンドライド駐車場の利用状況

	駅名	駐車容量	最大駐車台数	利用率	備考
5	花堂	12台	12台	100%	
2	ベル前	50台	19台	38%	駅までの距離が長い(300m)
3	江端	18台	11台	61%	駐車場通路が狭い
4	ハーモニーホール	38台	6台	16%	駅までの距離が長い(100m)
5	浅水	42台	9台	21%	有料
6	三十八社	11台	4台	36%	駅アクセス道路が狭い
7	鳥羽中	5台	6台	120%	
8	神明	15台	13台	87%	
9	水落	80台	79台	99%	
10	サンドーム西	10台	5台	50%	駅アクセス道路が狭い
11	スポーツ公園	13台	11台	85%	
12	北府	63台	54台	86%	
	計	357台	229台	64%	

※最大駐車台数：平成29年9月20日(水)実態調査結果(ただし、ベル前、ハーモニーホール、神明は、別途資料による)
利用率＝最大駐車台数/駐車容量

福武線と併走するJR北陸線の越前花堂駅、大土呂駅、北鯖江駅、鯖江駅、武生駅についても、駅隣接駐車場の利用状況を調査したところ、越前花堂駅を除く4駅の利用率は94%となっている。

越前花堂駅については、駐車場はないが駅前広場がパークアンドライド駐車場として利用されている。広場内には駐車車両が多く、周辺道路にも路上駐車が発生している。

表3-5 JR北陸線の駅隣接駐車場の利用状況

	駅名	対象駐車場	駐車容量	料金	最大駐車台数	利用率
1	越前花堂	駐車場なし (駅前広場内、周辺路上)	—	—	49台	100%以上
2	大土呂	契約駐車場	47台	—	47台	100%
3	北鯖江	JR北鯖江駅第1～3 駐車場(鯖江市営)	159台	300円(24時間以内) 24時間毎600円加算 3,000円/月(一部)	147台	92%
4	鯖江	JR鯖江駅第1～3 駐車場(鯖江市営)	212台	300円(24時間以内) 24時間毎600円加算	201台	95%
5	武生	武生駅東駐車場 (越前市営)	98台	300円(8時間以内) 8時間毎100円追加	92台	97%
計			516台		487台	94%

※利用台数：平成29年9月20日（水）実態調査結果（ただし、大土呂は、別途資料による）

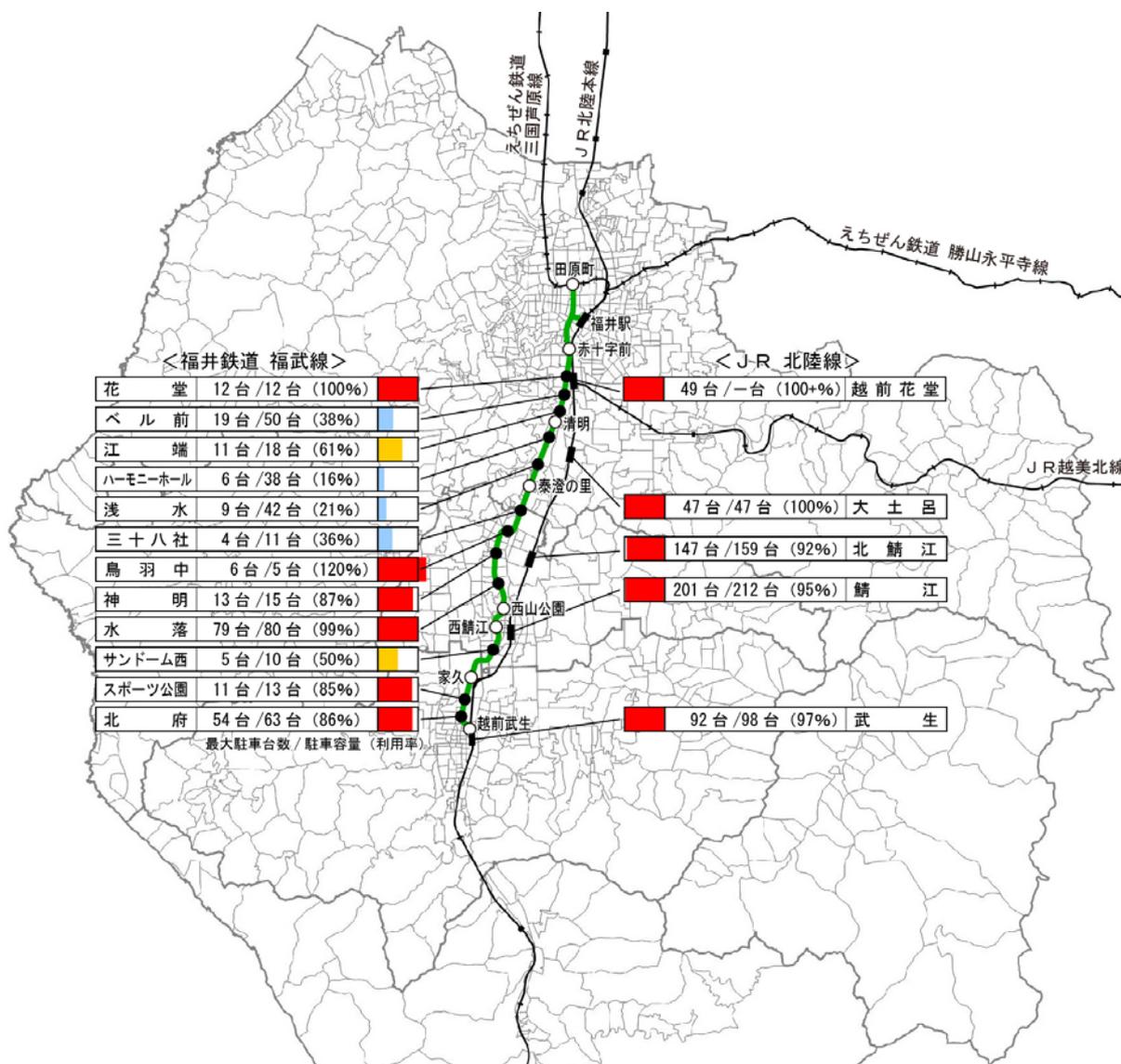


図3-4 パークアンドライド駐車場の利用状況

<利用圏域>

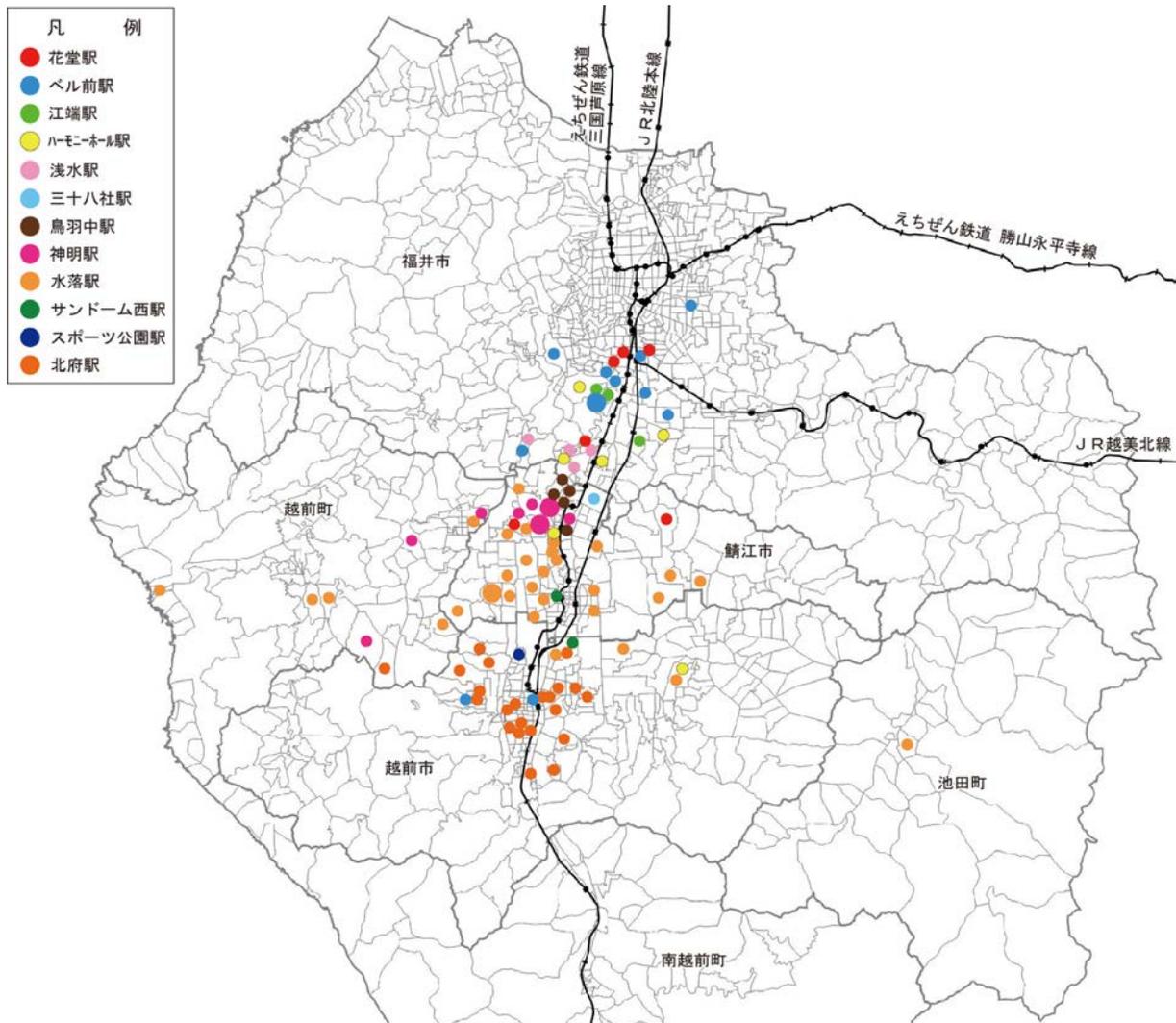


図3-5 パークアンドライド利用者の分布状況（福武線）

パークアンドライドの利用圏域を利用者の居住地の分布状況でみると、福武線の各駅では、居住地の最寄駅を中心として東西方向に長く形成されており、比較的鉄道西側に多く分布している。

また、駐車場規模が大きい水落駅、北府駅では、東西方向の広がりが大きく、越前町、池田町からの利用もみられる。

JRのパークアンドライドの利用圏域と比較すると、福武線の利用圏域よりも広く分布している。これらは、JR各駅の駐車場施設規模が福武線各駅よりも大きく、利用環境も整備されていることが要因と考えられる。

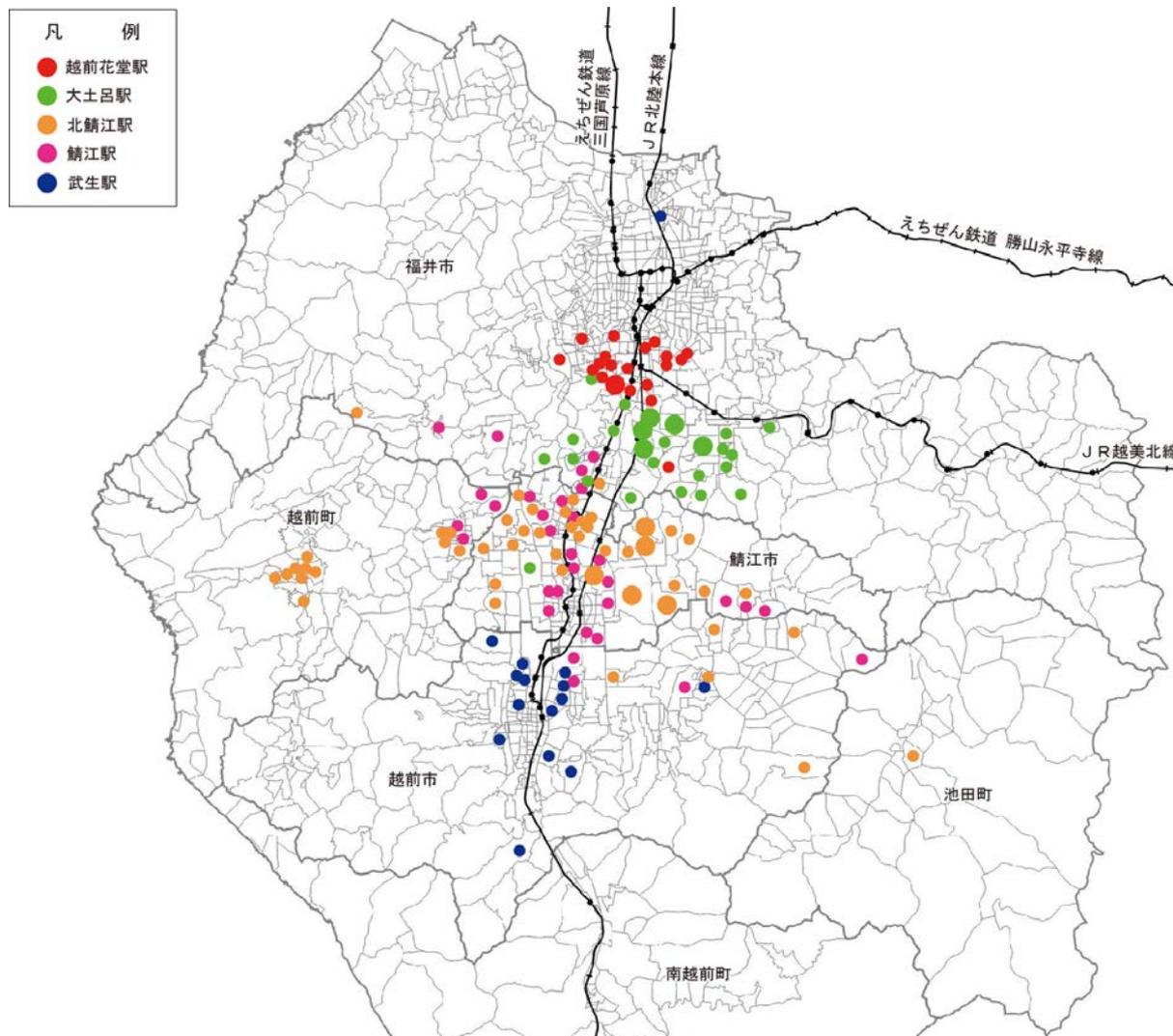


図3-6 パークアンドライド利用者の分布状況（JR）

<パークアンドライド駐車場の今後の整備について>

JR各駅に隣接する駐車場は、ほぼ満車状態が慢性化しており、需要増に対応できない状況になっている。

福武線のパークアンドライド駐車場については、十分に活用されていない駐車場があることから、利用料金の有無や駐車場の舗装などの利用環境を改善することにより利用率の向上、新規の福武線利用需要が期待される。

また、利用者には十分な駐車容量があることで安心して利用できるとの意向があり、積雪期における駐車容量の減少を踏まえ、駐車容量を拡充することにより福武線の利用需要の拡大につながると考えられる。

パークアンドライド利用者アンケート調査結果の概要

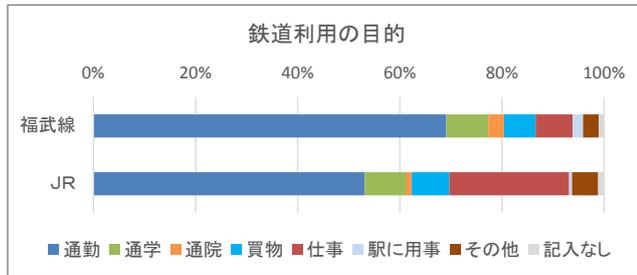
調査実施：平成29年9月20日（水）

調査内容：パークアンドライド利用者の分布状況（居住地）、乗車区間、駐車時間等

調査対象：福武線パークアンドライド駐車場のある駅（ベル前、ハーモニーホール、神明、除く）、JR 越前花堂駅、北鯖江駅、鯖江駅、武生駅の駐車場利用者

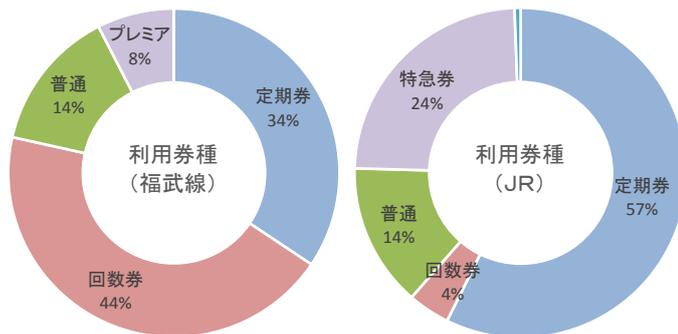
■鉄道の利用目的

- 福武線の利用目的は、「通勤」、「通学」で8割弱を占めているものの、「買物」、「仕事」での利用もある。JRは「通勤」、「通学」で6割程度を占め、「仕事」や「その他」（旅行等）が多い。



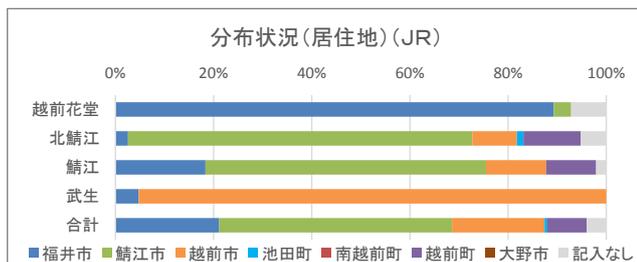
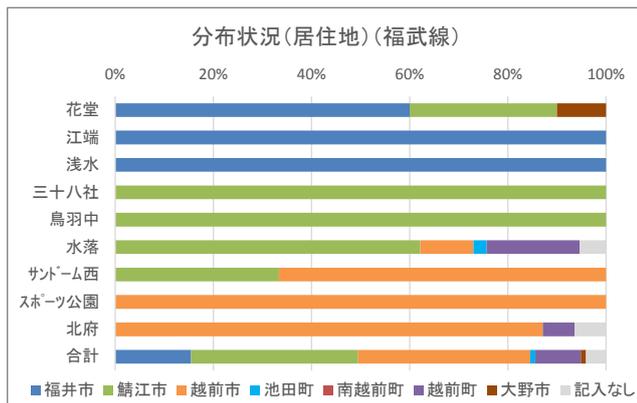
■利用券種

- 福武線のパークアンドライド利用者の券種は、「定期券」が34%、「回数券」が44%となっている。「定期券」の割合は、「回数券」を下回っており、JRの約半数となっている。



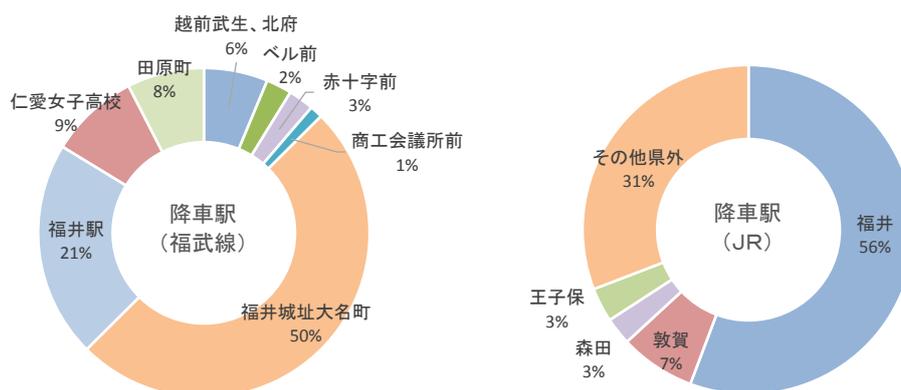
■利用者の分布状況（居住地）

- 福武線利用者の分布状況を市町別にみると、駅が位置する市の利用が多い。
- 駐車場規模が大きい水落駅、北府駅では他の市町の割合が大きい。
- 花堂駅は、駐車場規模が小さいが、鯖江市の割合が多い。
- JR利用者の分布状況は、福武線と同様に駅が位置する市の利用が多いものの、福武線と比較すると他の市町の割合が大きく、利用者の分布状況が広い。



■ 利用区間（降車駅）

- ・パークアンドライド利用者の鉄道利用区間として降車駅をみると、福武線では「福井城址大名町」が最も多く半数を占め、次いで「福井駅」が21%を占めている。
- ・越前市内、鯖江市内での降車は少ない。
- ・JRでは出張、旅行等による県外（東京、大阪、名古屋、京都等）への移動が31%を占めているものの、「福井」が最も多く56%を占め、次いで「敦賀」が7%となっている。



■ 利用環境の要望、改善点

< 福武線 >

- ・ 駐車スペースの拡大（水落、北府）
- ・ 駐車スペースの新設（家久）
- ・ 積雪期の駐車スペースの減少への対応（除雪、融雪）
- ・ 有料駐車場の無料化（浅水）
- ・ 駐車場の舗装化（花堂、三十八社）
- ・ アクセス道路の改善（サンドーム西） 等

< JR >

- ・ 放置車両の撤去（越前花堂）
- ・ 駐輪場の利用マナーの改善（越前花堂）
- ・ 駐車スペースの拡大（北鯖江、鯖江、武生）
- ・ 駐車枠の拡大（鯖江）
- ・ インターネットを活用した駐車スペースの空き情報の提供（鯖江、武生）

等

(5) えちぜん鉄道との相互乗入の状況

えちぜん鉄道との運行面での連携は、平成24年10月の連絡運賃の取扱いに始まり、平成28年3月27日には福井鉄道越前武生駅とえちぜん鉄道鷺塚針原駅間で相互乗入の運行が開始された。えちぜん鉄道交通圏と福井鉄道交通圏を直通運行することによって、公共交通の利便性を向上するとともに地域間交流の促進に寄与している。

平成28年度の利用者数は13.2万人であり、田原町駅での乗り換えが必要だった平成27年度の約5万人から大幅に増加した。

平成29年度は、昨年同期と比べると利用者数は若干減少しているものの、通学定期の販売数は昨年以上あり、利用が進んでいることが分かる。

相互乗入の効果が見込める沿線の高校（福井商業高校、啓新高校、仁愛女子高校）で利用状況を調査したところ、田原町-福大前西福井間の利用者は、福井鉄道利用者の72%（福井商業高校、啓新高校）に及んでいる。

一方、田原町-仁愛女子高校間の利用者は、えちぜん鉄道（三国芦原線）利用者の14%（仁愛女子高校）となっており、利用状況は低くなっている。利用しない理由としては、「徒歩、自転車でも支障がないため」が過半数を占めているものの、乗継利便性の高い便があれば雨天、冬期間の利用が期待できることから、利用促進に向けて、相互乗入便の利便性の向上が求められている。



図3-7 福井新聞(平成29年7月25日)

表3-6 通学時に福井鉄道を利用する高校生の利用区間

	福井鉄道 利用者数	降 車 駅	
		福大前西福井駅	田原町駅
福井商業高校	45人	28人(62%) [7分]	17人(38%) [15分]
啓新高校	99人	75人(75%) [5分]	24人(24%) [13分]
計	144人	103人(72%)	41人(28%)

資料：高校生通学アンケート調査 () 構成比 [] : 徒歩による学校までの所要時間

表3-7 通学時にえちぜん鉄道(三国芦原線)を利用する高校生の利用区間

	えちぜん鉄道 利用者数	降 車 駅	
		仁愛女子高校	田原町駅
仁愛女子高校	44人	6人(14%) [3分]	38人(86%) [10分]

資料：高校生通学アンケート調査 () 構成比 [] : 徒歩による学校までの所要時間

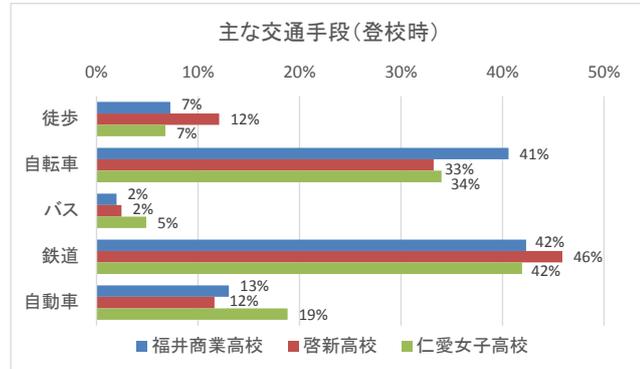
高校生通学アンケート調査結果の概要

調査実施：平成29年7月

調査対象：福井鉄道、えちぜん鉄道の相互乗入の利用が想定される田原町駅周辺の以下の3高校の全校生徒

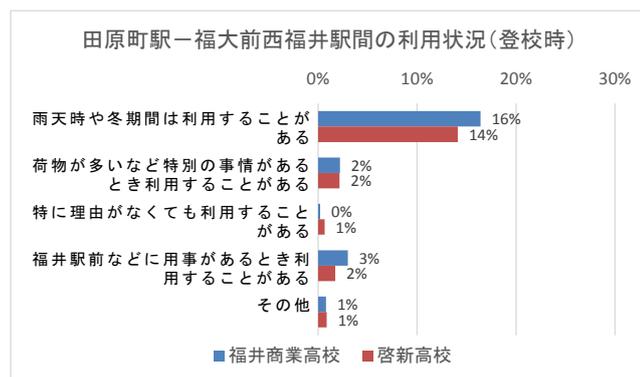
■交通手段（登校時）

- 3高校の交通手段（登校時）は、概ね同様の傾向にあり、鉄道利用者※は全体の4割強を占めている。
- ※JR、えちぜん鉄道利用者を含む



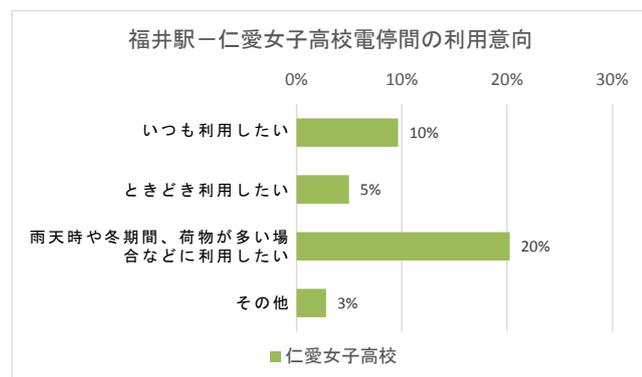
■「田原町駅－福大前西福井駅間」の利用（通常時以外）

- 福井商業高校、啓新高校において、通常、登校時に鉄道を利用しない生徒であっても、雨天時や冬期間は鉄道を利用することがあるとしており、利便性の改善により利用促進が期待できる。



■「福井駅－仁愛女子高校電停間」の利用

- 仁愛女子高校において、登校時にJRやえちぜん鉄道を利用する生徒は、福井駅から学校までの区間を徒歩で移動している。現在、これらの生徒が利用可能な福武線の便が運行されていないため、運行した場合の利用意向を尋ねたところ、定期的な利用も含めて利用意向があることから、利便性の改善により利用促進が期待できる。



(6) 割引乗車券の活用状況

福武線では、割引乗車券として以下の乗車券を発行している。

種 類	概 要
プレミアム 1日フリー乗車券	<ul style="list-style-type: none"> 越前市、鯖江市、福井市在住の65歳以上または自動車運転免許自主返納者（プレミアム会員の登録が必要）を対象に、福武線区間内（越前武生－田原町）が1日乗り放題の乗車券 発売金額：500円
土・日・祝日 1日フリー乗車券	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日、日曜日、祝日及び福井鉄道が指定する日で福武線区間内（越前武生－田原町）が1日乗り放題の乗車券 発売金額：大人 550円、こども 280円
福井鉄道・えちぜん鉄道共通 1日フリーきっぷ	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日、日曜日、祝日及び福井鉄道、えちぜん鉄道が指定する日で福井鉄道、えちぜん鉄道が1日乗り放題の乗車券 発売金額：大人 1,400円、こども 700円
フライデーフリー パス	<ul style="list-style-type: none"> 福武線区間内（越前武生－田原町）で使用できる金曜日専用の月極フリー乗車券 発売金額：1ヵ月 1,500円、3ヵ月 4,000円、6ヵ月 7,500円
乗車区間フリー 回数乗車券	<ul style="list-style-type: none"> 福武線区間内（越前武生－田原町）で乗車区間を限定せずに使用できる回数乗車券 発売金額：3,000円で10枚綴り（1枚あたり300円） 有効期限：購入日より6ヶ月間
普通回数乗車券	<ul style="list-style-type: none"> 回数乗車券 発売金額：利用区間の普通運賃10回分の金額で11枚綴り 有効期限：購入日より6ヶ月間
通勤定期乗車券 通学定期乗車券	<ul style="list-style-type: none"> 定期（1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月）乗車券 通勤定期乗車券、通学定期乗車券 通学定期乗車券では、1年定期、学期定期も選択可
ホテルランチ付き 1日フリー乗車券 (スイーツ券付き)	<ul style="list-style-type: none"> ランチ券、スイーツ券と1日フリー乗車券のセット乗車券 発売金額：ランチ券付1日フリー乗車券 2,000円、スイーツ券付1日フリー乗車券 1,500円 有効期限：（乗車券）発売から3ヶ月以内の使用日当日限り（平日利用可） （ランチ券、スイーツ券）乗車日から2ヶ月以内

上記以外でも、遠足などの野外学習での福井鉄道の利便性を高めるため、「児童・生徒野外学習運賃補助制度」を実施しており、児童、生徒及び引率者の運賃の半額を補助している。対象は、越前市、鯖江市、福井市に所在する保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、児童館、子供会その他5人以上の児童などで構成される団体となっている。

また、県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）に隣接するハーモニーホール駅があり、コンサートチケットの提示により運賃割引を行うなど、各種施設やイベントと連携した運賃割引を行っている。

図3-8 児童・生徒野外学習運賃補助制度

○プレミアム会員の状況

現在、プレミアム1日フリー乗車券を購入できる「プレミアム会員」の会員数は、約7,200人となっている。

この制度は、平成22年4月の沿線3市の70歳以上の住民を対象に1日乗り放題の運賃割引を実施する「ハッピー会員」、平成24年4月の65歳以上70歳未満の住民を対象とする「ラッキー会員」を基本に平成28年4月から運転免許自主返納者を加えて「プレミアム会員」となったものである。

会員数は、福井市1,854人（25.8%）、鯖江市2,573人（35.8%）、越前市2,757人（38.4%）となっている。

駅からの距離別で見ると、鯖江市では500m圏内居住者が約6割を占めており、越前市では1km圏外居住者が約半数となっている。

また、65歳以上の人口に対する会員数の割合をみると、福井市は鯖江市、越前市と比べ低い状況となっている。近距離の利用では1日フリーキップのメリットがなくなるため、福武線を利用する目的地として福井市内（買物、通院等）が多く、鯖江市、越前市に少ないことが要因と考えられる。

駅からの距離が長くなると会員数の割合は低下するものの、500m圏内であっても割合にバラツキがみられることから、プレミアム会員の制度が十分認知されていないものと考えられる。このため、積極的なPRが求められる。

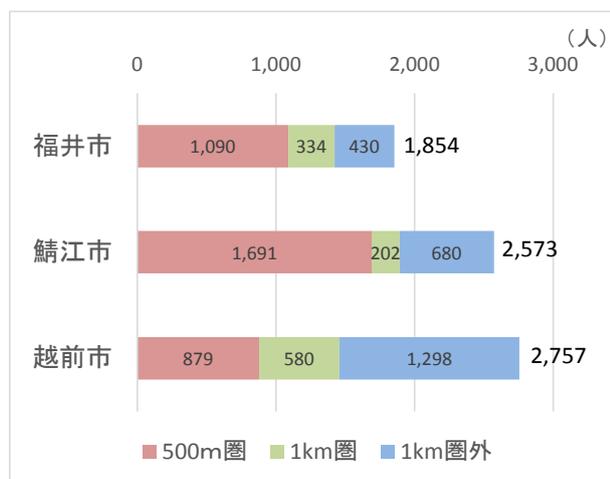


図3-9 沿線3市のプレミアム会員数

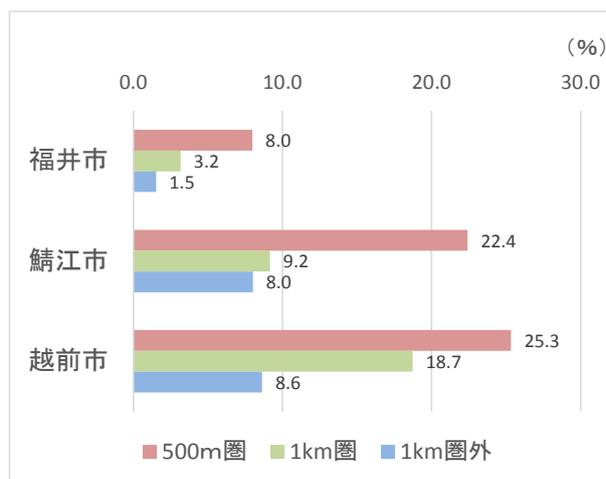


図3-10 沿線3市の65歳以上人口に対するプレミアム会員数の割合

○児童・生徒野外学習運賃補助制度の活用状況

「児童・生徒野外学習運賃補助制度」の活用実績は、平成28年度で246件、利用者数は約15,600人となっている。

近年の動向をみると、利用者数は若干減少しているものの活用件数は堅調に増加している。また、活動主体別にみると、小学校、幼稚園、保育園等で増加している。

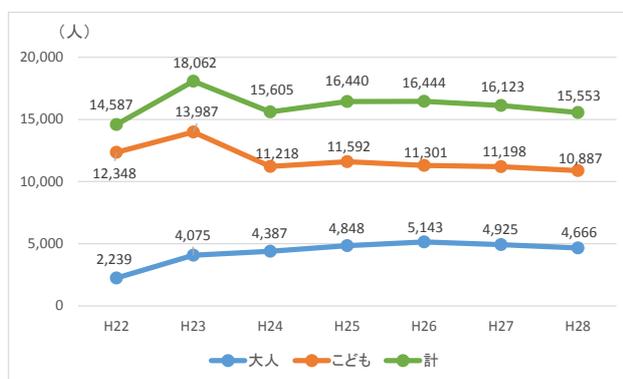


図3-11 利用者数の推移

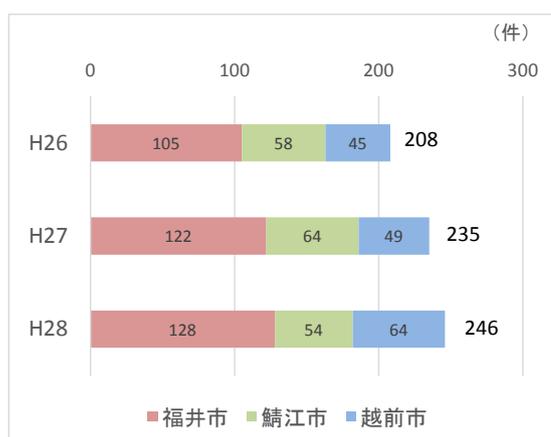


図3-12 沿線3市別の活用件数の推移

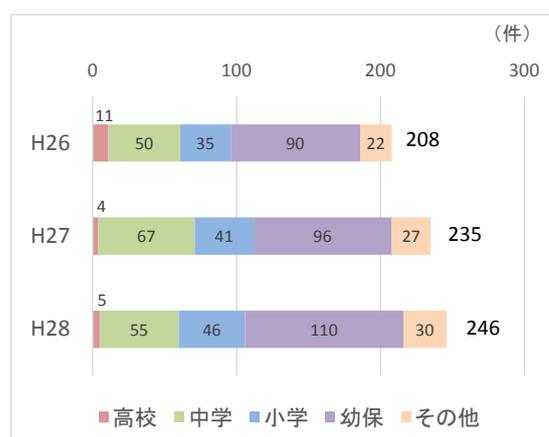


図3-13 活動主体別の活用件数の推移

この制度を活用した活動の目的地は、西山公園、ハーモニーホールが多く、全体の4割以上を占めている。平成28年度は、福井鉄道の駅前電停が福井駅西口広場に移設されるとともに、広場に隣接してプラネタリウムを併設する複合商業施設「ハピリン」が整備されたことで、福井駅前を目的とする利用が増加している。

表3-8 制度を活用した主な目的地

	目的地	件数	構成比
平成26年度	西山公園	55	26%
	ハーモニーホール	46	22%
平成27年度	西山公園	55	23%
	ハーモニーホール	46	20%
平成28年度	西山公園	62	25%
	ハーモニーホール	41	17%
	福井駅前※	33	13%

※福井駅前：ハピリン、セーレンプラネット、桜木図書館等

活動主体別では、浅水駅に近接する「足羽中学校」の利用が最も多く、継続してこの制度が活用されている。

活用数の多い施設の最寄駅までの距離をみると、概ね1km程度までに位置している。駅から1km圏内には多くの小中学校、幼稚園、保育園等が位置していることから、PRが十分に認知されていないものと考えられる。この点についても、積極的なPRが求められる。

表3-9 児童・生徒野外学習運賃補助制度の施設別活用状況(年5回以上)

<平成26年度>

	区分	団体名	利用回数	最寄駅からの距離(m)	最寄駅
福井市	中学	足羽中学校	18	500	浅水
福井市	中学	明道中学校	7	550	田原町
鯖江市	中学	中央中学校	6	450	神明
鯖江市	幼保	草の実保育園	6	500	鳥羽中
福井市	小学	清明小学校	6	1,300	江端
福井市	高校	嶺北特別支援学校	5	9km	田原町

<平成27年度>

	団体	団体名	利用回数	最寄駅からの距離(m)	最寄駅
福井市	中学	足羽中学校	29	500	浅水
鯖江市	中学	中央中学校	12	450	神明
鯖江市	中学	鯖江中学校	11	1,100	西鯖江
鯖江市	幼保	草の実保育園	5	500	鳥羽中
福井市	その他	あさがお児童館	5	100	浅水
福井市	中高	明道中学校	5	550	田原町

<平成28年度>

	団体	団体名	利用回数	最寄駅からの距離(m)	最寄駅
福井市	中学	足羽中学校	21	500	浅水
越前市	幼保	浪花認定こども園	10	200	越前武生
福井市	小学	木田小学校	7	300	赤十字前
福井市	中学	明倫中学校	7	400	赤十字前
鯖江市	幼保	草の実保育園	6	500	鳥羽中
鯖江市	中学	中央中学校	6	450	神明
越前市	中学	武生第一中学校	5	1,000	越前武生
鯖江市	幼保	あすなろ保育園	5	800	鳥羽中
福井市	幼保	さくら認定こども園	5	1,000	田原町

3. バス交通の現状

(1) 路線バスの状況と機能

① 路線一覧

○路線バスは、京福バス、福鉄バスの2つ路線網によって形成され、市街地内の近距離路線、隣接都市を連絡する広域路線によって構成されている。

○京福バスは、福井駅を拠点として、福井市内をはじめ大野市、坂井市、永平寺町、池田町、越前町を連絡している。福鉄バスは、越前武生駅を拠点として越前市内、池田町、南越前町、越前町を連絡するとともに、神明駅、浅水駅、ベル前駅、赤十字前駅に接続するバス路線を運行している。また、越前町と福井市を連絡する路線を運行している。

表3-10 京福バスが運行するバス路線一覧（平成29年10月1日現在）

番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準 所要 時間 (分)	運行 回数	支援区分	乗車 密度 (OD)	輸送 人員 (OD)
1	福井駅	済生会病院 小和清水・朝倉 川上・越前大野駅	ヴィオ	往 39.1	70	3.5	地域間幹線系統	5.7	519
				復 38.9	70				
2	福井駅	済生会病院 小和清水 花山・越前大野駅	ヴィオ	往 38.1	61	14.0	地域間幹線系統	5.7	519
				復 37.9	68				
3	福井駅	済生会病院 小和清水 花山・越前大野駅	ヴィオ	往 38.9	69	3.0	地域間幹線系統	5.7	519
				復 38.7	70				
4	福井駅	荒木新保 小和清水	稲荷	往 37.7	64	2.0	広域生活バス路線	3.1	61
				復 37.7	63				
5	福井駅	木田小学校 羽水高校前	西大味	往 12.5	35	6.0	市町生活交通	1.0	24
				復 12.5	34				
6	福井駅	東郷	浄教寺	往 16.1	34	3.5	市町生活交通	2.9	100
				復 16.1	33				
7	福井駅	東郷	鹿俣	往 16.4	34	1.0	市町生活交通	2.9	100
				復					
8	福井駅	小稲津	東郷	往 8.8	20	1.0	市町生活交通	2.9	100
				復 8.8	24				
9	福井駅	東郷・浄教寺	鹿俣	往		1.5	市町生活交通	2.9	100
				復 19.2	40				
10	福井駅	上北野一丁目	花野谷	往 9.7	25	5.0	市町生活交通	1.4	34
				復 9.2	24				
11	福井駅	町屋町	福井 大学病院	往 13.3	39	4.0	広域生活バス路線	4.8	70
				復 13.2	37				
12	福井駅	赤十字病院 プラント3 西田中	天王	往 21.5	58	3.0	地域間幹線系統	3.4	86
				復 21.6	59				
13	福井駅	茶崎・居倉	水仙 ランド 入口	往 37.0	70	3.0	広域生活バス路線	5.6	134
				復 37.0	70				
14	福井駅	本堂	清水畑	往 16.0	34	3.0	広域生活バス路線	4.2	130
				復 15.8	34				
15	福井駅	桜ヶ丘第2	福井駅	往		4.0	市町生活交通	4.2	130
				復 22.5	53				

番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準 所要 時間 (分)	運行 回数	支援区分	乗車 密度 (OD)	輸送 人員 (OD)
16	福井駅	佐野	波の華	往 35.3 復 35.3	71 72	5.0	地域間幹線系統	7.2	651
17	福井駅	福井病院・佐野	波の華	往 36.4 復 36.4	74 84	10.0	地域間幹線系統		
18	福井駅	西松本・佐野	波の華	往 35.7 復 36.1	64 79	1.0	地域間幹線系統		
19	福井駅	堀の宮・三ツ屋	すかっと ランド 九頭竜	往 10.2	22	0.5	市町生活交通		
20	福井駅	堀の宮・三ツ屋	福井 総合病院	往 11.4 復 11.2	22	2.0			
21	三国駅	米納津	和布	往 15.1 復 15.1	27 27	1.5	広域生活バス路線	1.5	41
22	三国駅	三国西小学校 米納津	和布	復 15.8	31	0.5	広域生活バス路線		
23	福井駅	すかっとランド 九頭竜	三国駅	往 25.5 復 25.5	54 68	1.0	広域生活バス路線	7.6	45
24	福井駅	町屋町	丸岡城	往 13.9 復 13.8	43 42	13.0	地域間幹線系統	4.1	560
25	福井駅	町屋町	丸岡高校	往 13.6 復 14.9	43 45	1.5	地域間幹線系統		
26	福井駅	田原町	丸岡城	往 14.7 復 14.7	42 53	15.0	地域間幹線系統		
27	福井駅	田原町	丸岡高校	往 14.4	42	0.5	地域間幹線系統		
28	福井駅	盲学校前	重立	往 9.9 復 8.8	30 28	6.5	市町生活交通	1.5	44
29	福井駅	県立病院	盲学校前	往 6.3	21	0.5	市町生活交通		
30	福井駅	JR 森田駅	福井大 学病院	往 16.2 復 16.2	40 43	5.0	広域生活バス路線	4.3	115
31	福井駅	藤島高校前	安沢	往 12.3 復 12.3	32 39	4.0	広域生活バス路線	0.8	25
32	福井駅	羽崎	福井大 学病院	往 15.6 復 15.5	45 48	6.0	地域間幹線系統	7.1	493
33	福井駅	県立病院 開発口	福井大 学病院	往 14.4 復 14.4	43 45	7.5	地域間幹線系統		
34	福井駅	松岡駅	福井大 学病院	復 11.1	27	0.5	地域間幹線系統		
35	福井駅	松岡駅 福井大学病院	県立 病院	往 12.6 復 12.5	33 30	3.0	地域間幹線系統		
36	福井総合 病院		三国駅	往 13.7 復 13.7	26 26	4.5	広域生活バス路線		
37	福井総合 病院	仙町 三国西小学校	三国駅	往 17.1	35	0.5	広域生活バス路線		

番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準 所要 時間 (分)	運行 回数	支援区分	乗車 密度 (OD)	輸送 人員 (OD)
38	福井 総合病院		三国駅	往 13.7 復 13.7	26	0.0	広域生活バス路線	2.0	72
39	福井駅	赤十字病院	ベル 食品館	往 9.2 復 9.3	33 37	4.0	市町生活交通	2.6	49
40	福井駅	運転者教育 センター	福井駅	循 20.6	56	14.0	地域間幹線系統	2.7	189
41	福井駅	赤十字病院	生部	往 12.7 復 12.7	40 40	1.0	市町生活交通	1.8	16
42	福井駅	赤十字病院	ベル前	往 4.3	17	0.5	市町生活交通		
43	福井駅	赤十字病院	エフェフ 福井	往 16.9 復 16.9	45 40	2.0	地域間幹線系統	3.3	140
44	福井駅	赤十字病院	シルバー 病院	往 16.7 復 16.7	42 39	4.0	地域間幹線系統		
45	福井駅	福井大学前 新田塚・幾久	福井駅	循 8.4	28	15.0		4.6	454
46	福井駅	幾久・新田塚 福井大学前	福井駅	循 8.5	31	4.0			
47	福井駅		済生会 病院	往 4.3 復 4.3	12 12	9.0		3.3	76
48	福井駅	道守高校前・花堂	福井駅	循 13.8	41	48.0		5.5	1,682
49	福井駅	花堂・道守高校前	福井駅	循 13.8	40	47.0			
50	福井駅	中藤公民館	高柳 神社前	復 6.3	26	0.5		7.6	15
51	福井駅	宮前町・高木中央 出村	アピタ・ エルバ前	往 7.4 復 7.4	24 24	20.5		5.8	356
52	福井駅	菅谷町	福井駅	循 8.9	30	41.0		9.2	1,019
53	福井駅		金井学園 前	往 3.0	8	1.5			
54	福井駅	町屋グラウンド	心臓 センター	往 6.2 復 6.2	23 24	2.0		1.6	65
55	福井駅	フレンドタウン 福井	心臓 センター	往 6.3 復 6.5	25 26	10.0			
56	福井駅	木田校前 羽水高校前	県産業 会館	往 4.6	17	0.5		11.0	14
57	本多医院 前	南四ツ居	福井駅	往 4.6 復 4.5	14 13	1.0	市町生活交通	1.8	51
58	福井駅	本多医院前 南四ツ居	福井駅	循 7.0	28	3.0	市町生活交通		
59	福井駅	南四ツ居 本多医院前	福井駅	循 7.0	28	2.0	市町生活交通		

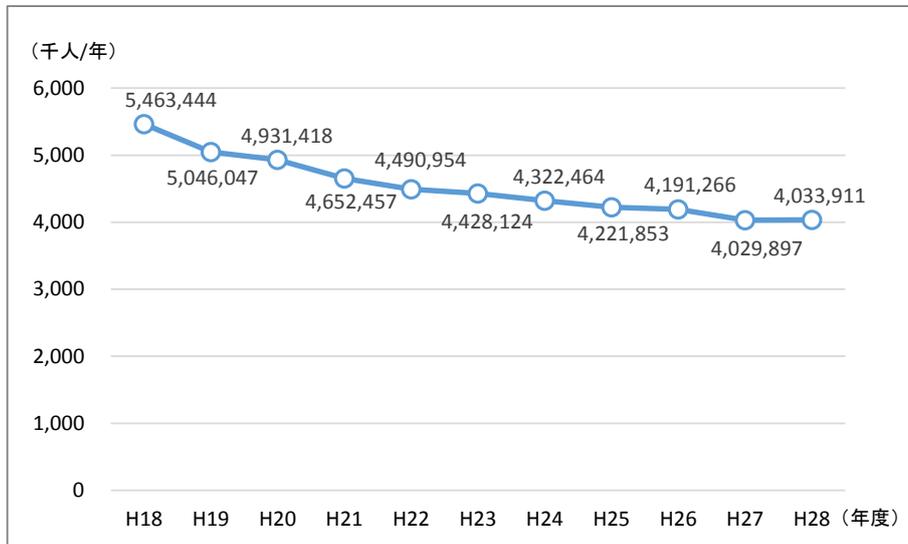
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準 所要 時間 (分)	運行 回数	支援区分	乗車 密度 (OD)	輸送 人員 (OD)
60	福井駅	南四ツ居 問屋町二丁目	福井駅	循 8.2	35	2.0	市町生活交通	1.8	51
61	福井駅	問屋町二丁目 南四ツ居	福井駅	循 8.2	35				
62	福井駅	重藤町・新田塚	福井総合 クリニック	往 4.7 復 4.7	22 21	6.0		6.3	276
63	福井駅	福井大学前 新田塚・幾久	福井総合 クリニック	往 4.7	18				
64	福井駅	重藤町・新田塚 福井総合クリニック	福井 総合病院	往 11.8 復 11.8	33 32	9.5			
65	福井駅	赤十字病院 みどり図書館前	清水 プラント3	往 14.5 復 14.3	43 39				
66	福井駅	赤十字病院	清水 プラント3	復 13.4	45	0.5	地域間幹線系統	3.4	361
67	清水 プラント3	下系生・大森	織田	復 16.8	30	0.5	広域生活バス路線		
68	清水 プラント3	下系生・大森 泰澄の杜	織田	往 18.8 復 18.2	38 35	1.5	広域生活バス路線	0.9	6
69	清水 プラント3	西田中	天王	往 9.9 復 9.2	22 17				
70	福井駅	県立病院	丸岡城	往 17.7 復 16.6	50 54	12.0	地域間幹線系統	3.9	270

表3-11 福鉄バスが運行するバス路線一覧（平成29年10月1日現在）

路線	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)		標準 所要 時間 (分)	運行 回数	支 援 区 分	乗車 密度	輸送 人員	系 統 名
1	かれい崎	織田 西田中	田原町	平均	44.9	119.0	3.4	地域間幹線	4.5	15.3	福浦線
2	かれい崎	神明駅 織田病院	JR北鯖江駅	平均	39.8	101.0	2.0	地域間幹線	1.7	3.4	鯖浦線 (かれい崎)
3	織田	神明駅 新椋津	JR北鯖江駅	平均	20.6	53.0	6.0	地域間幹線	1.2	7.2	鯖浦線 (織田)
4	かれい崎	八田 織田	越前武生駅	平均	33.2	76.0	5.4	地域間幹線	3.9	21.0	武生 越前海岸線
5	シビイ	越前武生駅 武生東高校	和紙の里	平均	13.5	35.0	8.1	地域間幹線	2.2	17.8	南越線
6	越前武生駅	武生東高校 和紙の里	北中山公民館	平均	16.1	38.0	3.0	地域間幹線	0.5	1.5	南越線 (北中山)
7	越前武生駅	越前市役所前 菊人形前	シビイ	往	2.4	9.0	0.5		2.5	0.9	南越線 シビイ線
8	越前武生駅	入谷 稲荷	越前武生駅	平均	52.1	117.0	6.1	地域間幹線	3.0	18.3	池田線
9	越前武生駅	魚見 味真野	池田分校	復	24.3	52.0	0.5		9.6	4.8	池田線 池田分校線
10	越前武生駅	妙法寺口 松森	糠長島	平均	24.5	50.0	3.9	地域間幹線	4.2	16.3	王子保河野線
11	越前武生駅	安養寺 織田	越前岬	平均	31.3	68.0	0.7	広域生活バス路線	5.0	3.5	武生越前海岸線 安養寺線
12	ベル前	大島・下荒井	ベル前	循環	5.3	16.0	7.6	市町生活交通	0.5	3.8	大島・下荒井 ルート
13	ベル前	江端	ベル前	循環	5.7	20.0	4.0	市町生活交通	0.6	2.4	江端ルート
14	ベル前	清明南	ベル前	循環	8.8	23.0	2.6	市町生活交通	0.4	1.0	清明南ルート
15	ベル前	清明南	ベル前	循環	9.8	23.0	1.0	市町生活交通	1.0	1.0	清明南ルート
16	浅水駅前	杉の木台	浅水駅前	循環	6.7	20.0	9.4	市町生活交通	0.5	4.7	杉の木台ルート
17	浅水駅前	青葉台	浅水駅前	循環	9.4	35.0	4.4	市町生活交通	0.5	2.1	青葉台ルート
18	浅水駅前	江尻ヶ丘	浅水駅前	循環	7.0	25.0	3.0	市町生活交通	0.5	1.5	江尻ヶ丘ルート
19	浅水駅前	浅水	足羽高校	循環	1.4	5.0	2.0	市町生活交通	3.5	7.0	足羽ルート
20	浅水駅前	足羽高校	浅水駅前	循環	8.3	25.0	0.7	市町生活交通	3.1	2.1	足羽・杉の木台 ルート
21	浅水駅前	角原	浅水駅前	循環	9.4	30.0	2.7	市町生活交通	0.1	0.2	角原ルート
22	越前武生駅	広瀬町	千合谷	平均	17.9	40.0	1.7	市町生活交通	1.6	2.7	白山線
23	越前武生駅	味真野	入谷	平均	13.6	32.0	2.8	市町生活交通	1.3	3.6	入谷線
24	浅水駅前	花守 三尾野町	浅水駅前	平均	10.7	31.0	1.0		0.2	0.2	杉の木台ルート H29.10.1 運行開始

② 利用者推移

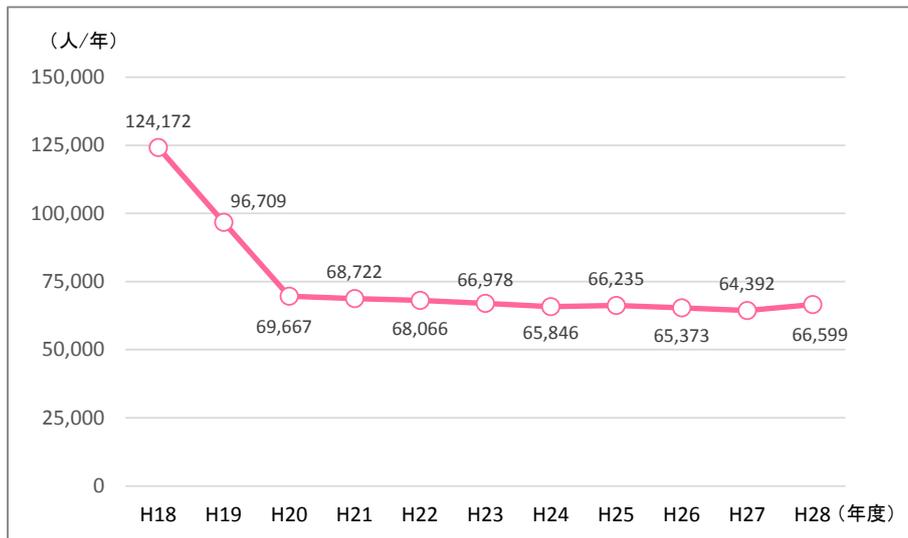
○京福バスの年間利用者数は、約4百万人の横ばいで推移している。



資料：京福バス

図3-14 京福バスの輸送人員の推移

○福鉄バスの年間利用者は約6.5万人の横ばい傾向で推移している。



資料：福井鉄道

図3-15 福鉄バスの輸送人員の推移

③ 住民・行政・交通事業者が連携して運行しているバス

○福井市南部に位置する麻生津地区と清明地区では、路線バスを見直した地域密着型の循環バスを運行している。

★麻生津循環線

・住民の日常生活に必要な都市機能が集積する浅水駅を乗継拠点として、周辺の住宅団地や既存住宅地を循環するルートで運行している。

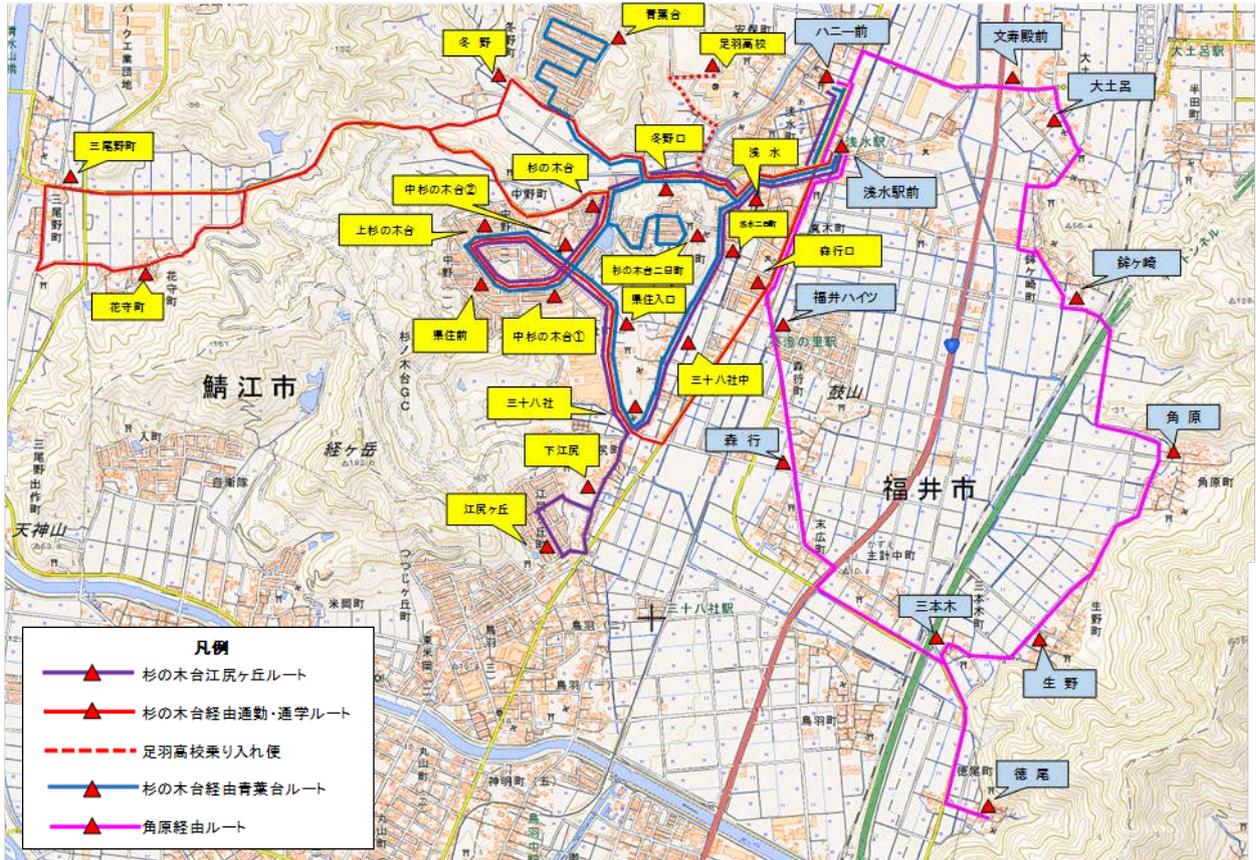


図3-16 麻生津循環線の路線図（平成29年4月1日現在）

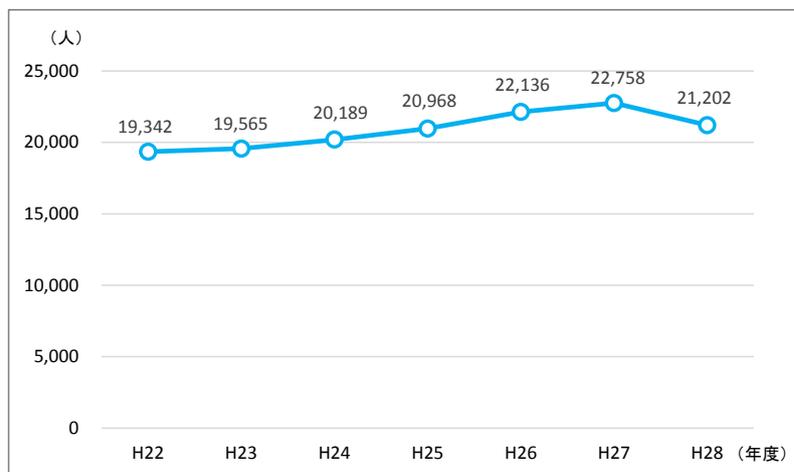


図3-17 麻生津循環線の利用者の推移

★清明循環線

- ・清明循環線は、福武線と並走する路線バスを見直し、地区を循環するルートに変更することで、地区西側の公共交通空白地域を解消するとともに、大型商業施設に接続することで高齢者や自家用車を利用できない人の地域内移動の利便性を確保、向上した。
- ・大型商業施設に接続する路線バスや隣接する福武線ベル前駅を利用することで、福井市中心部への移動利便性が向上した。

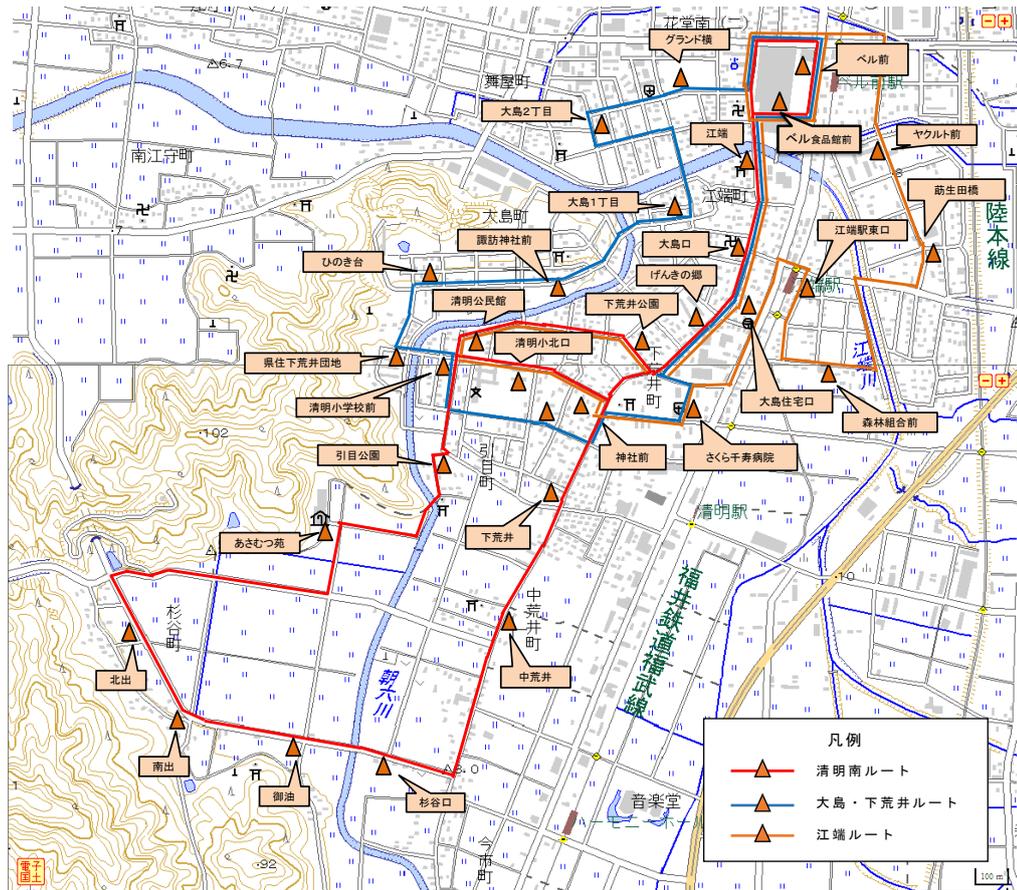


図3-18 清明循環線の路線図（平成29年4月1日現在）

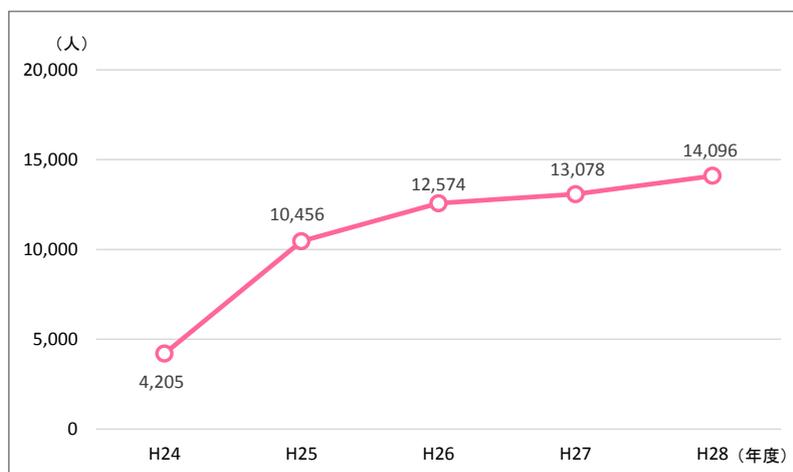


図3-19 清明循環線の利用者の推移

(2) 福井鉄道交通圏4市町が運行するコミュニティバスの状況

① 福井市が運行するコミュニティバスの状況

《路線の状況》

- 福井市が運行する「コミュニティバスすまいる」は4ルートで形成している。
- いずれのルートも1周約30分で市街地を周る循環型のバスで、無休で運行している。

《利用者の状況》

- 利用者は、平成19年度以降減少が続いている。
- 田原・文京方面は平成22年度以降、横ばいで推移していたものの、平成26年以降減少が続いている。
- 城東・日之出方面は増減を繰り返し、平成27年度以降減少している。

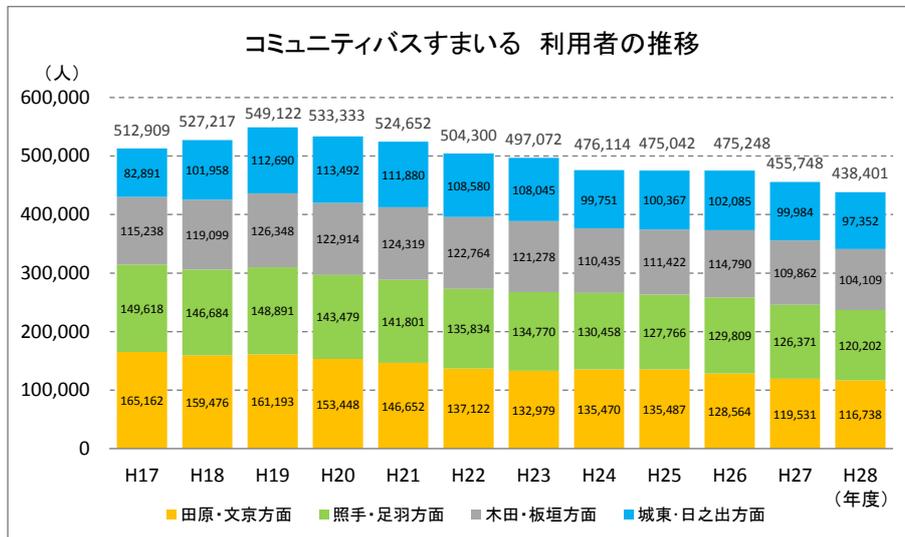


図3-20 コミュニティバスすまいるの利用者数の推移

市民ニーズの総括

●平成28年度 福井市市民意識調査より

市民の約9割は、日常生活で鉄道、バスを利用していない

- ・市民の約3割は、鉄道駅を利用しやすい場所（駅から半径500mの距離、あるいは徒歩で5～10分の距離）に住んでいるものの、公共交通の利用は少ない
- ・鉄道駅を利用しやすい場所に住んだ場合には、約6割が鉄道を利用するとの意向があり、高齢者ほど高い傾向にある



図3-21 コミュニティバスすまいる路線図

《地域住民が運営に関わっているコミュニティバス》

○福井市では地域住民が運営にかかわっている地域コミュニティバスが運行されている。

区分	路線名	地域	鉄道、路線バスとの接続状況
地域 コミュニティバス ※公共交通空白地域等において、地域住民と交通事業者が連携・協力して運行する取組み	酒生いきいきバス	南東	○済生会病院・東部プラザにて、大野線、済生会病院線、池田線、OKABO岡の泉号と接続
	殿下かじかポッポー	南西	○プラント3にて清水グリーンライン、健康の森にて清水山線、清水畑にて西安居線、茱崎線と接続
	日新さんさんバス	北西	○えちぜん鉄道と接続
	福井市地域コミュニティバスOKABO コシヒカリの里号、 岡の泉号	南東	○済生会病院・東部プラザにて大野線、済生会病院線、池田線、酒生いきいきバスと接続 ○円山小学校・病院にて、コミュニティバスすまいるに接続 ○県立病院にて丸岡線、大学病院線、県立病院線、円山重立線と接続
	鷹巣・棗地区ふくふく号	北西	○すかつとランド九頭竜にて鮎川線、川西三国線と接続
	鶉地区鶉山バス		○福井総合病院にて福井総合病院線と接続
地域バス ※市所有のスクールバス等の既存ストックを活用して運行する取組み	美山地域バス	東	○美山駅において大野線、JR越美北線と接続
	越廼・鷹巣地区 海岸地域バス	南西	○小丹生にて鮎川線、鮎川特急と接続 ○和布にて海岸線と接続
	清水地域バス	南西	○プラント3にて、清水グリーンライン、西田中宿堂線、清水織田線と接続

② 鯖江市が運行するコミュニティバスの状況

《路線の状況》

- 「鯖江市地域公共交通再編実施計画」により鯖江市が運行するコミュニティバス「つつじバス」のネットワークを再編し、平成29年4月から従来の路線に加えて市域全体を巡回する幹線や通学便など全17路線を運行している。

運行路線		運行日	備 考
①	循環線	無 休	・ 土日祝の運休便あり
②	幹線		
③	鯖江南・新横江線		
④	神明線		
⑤	片上・北中山線		
⑥	立待線		
⑦	吉川線		
⑧	豊線		
⑨	中河・北中山線		
⑩	河和田線		
⑪	通学便 市内高校ルート	土 日 祝 運 休	・ 夏季、冬季、春季 にも運休期間あり
⑫	通学便 片上・北中山ルート		
⑬	通学便 立待ルート		
⑭	通学便 吉川ルート		
⑮	通学便 豊ルート		
⑯	通学便 中河・北中山ルート		
⑰	通学便 河和田ルート		

※年末年始(12月30日～1月3日)は全路線運休



図3-22 つつじバス路線図

《利用者の状況》

- つつじバスの利用者は平成22年度から横ばいで推移していたが、平成26年度以降は減少に転じている。
- 路線別にみると、河和田線、神明線、吉川線の利用者が大きく減少している。

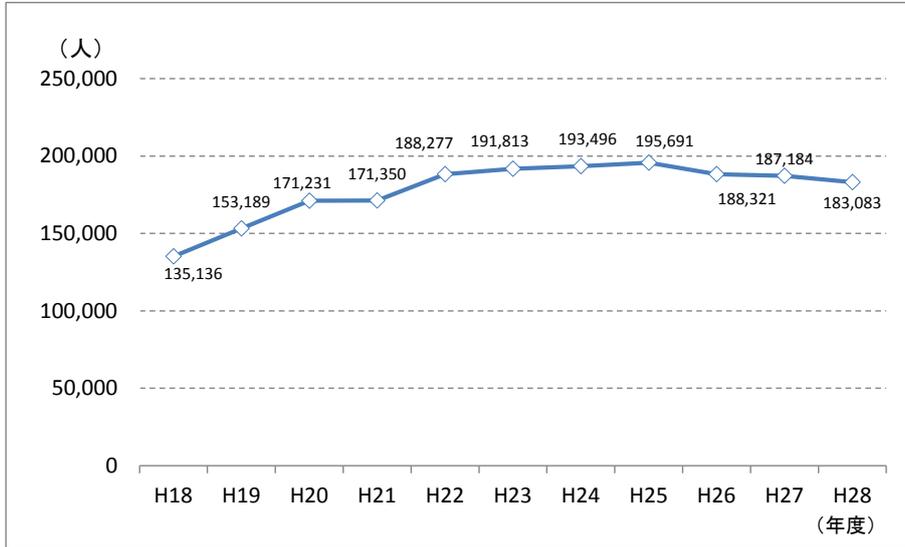


図3-23 つつじバスの利用者数の推移（全路線）

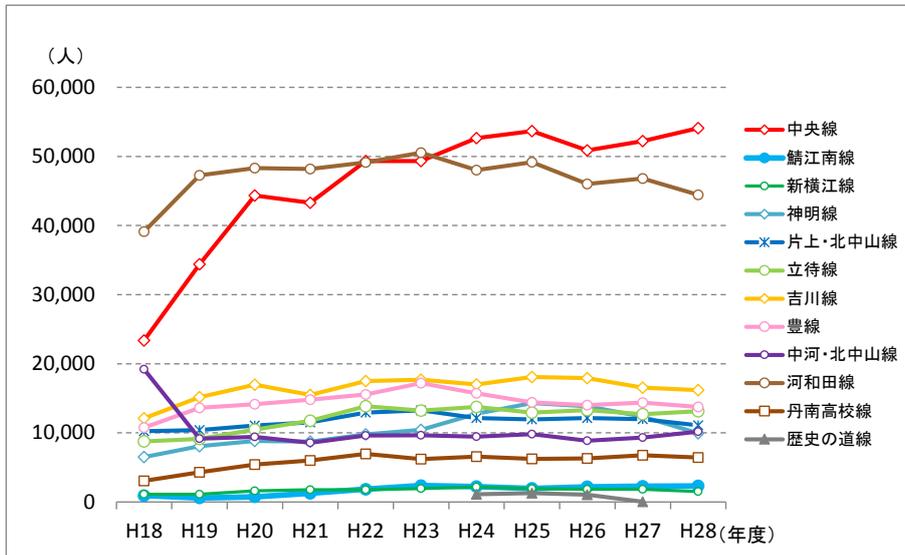


図3-24 つつじバスの利用者数の推移（路線別）

市民ニーズの総括

●平成27年度 鯖江市地域公共交通網形成計画策定調査 市民アンケートより

日常生活の外出行動（通勤、通学、通院等）での公共交通の利用が少ない

- ・公共交通の利用率：通勤、通学(11.6%)、通院(8.9%)
- ・公共交通の満足度：概ね3割程度
- ・公共交通の運行経費については、「高齢者や障がい者の交通手段として重要なので、必要な経費を投入すべき」が全体の約4割を占めている

③ 越前市が運行するコミュニティバスの状況

《路線の状況》

- 越前市が運行する「市民バスのろっさ」は全部で11ルートとなっている。
- 市街地循環北ルート、市街地循環南ルートは月曜日～土曜日、今立エリアを走る月尾ルート、水間ルート、服部ルートは月曜日～金曜日に運行しているが、他のルートでは週2回の運行となっている。

運行路線		運行日	備考
武生エリア	① 市街地循環北ルート	月～土	運行日が祝日の場合は運行
	② 市街地循環南ルート	月～土	運行日が祝日の場合は運行
	③ 吉野・大虫ルート	月・木	吉野編と大虫編がある
	④ 坂口・神山ルート	火・土	
	⑤ 王子保・南ルート	月・木	
	⑥ 国高・北日野ルート	水・金	国高編と北日野編がある
	⑦ 味真野・北新庄ルート	水・金	
	⑧ 白山・大虫ルート	火・土	
今立エリア	⑨ 月尾ルート	月～金	運行日が祝日の場合は運行 便によって五箇方面と月尾方面が分かれている
	⑩ 水間ルート	月～金	運行日が祝日の場合は運行 便によって粟田部方面と水間方面が分かれている
	⑪ 服部ルート	月～金	運行日が祝日の場合は運行

※年末年始（12月31日～1月3日）は全ルート運休



図3-25 のろっさ路線図

《利用者の状況》

- 利用者数は、近年増加傾向にある。
- 市街地循環ルートが堅調な増加傾向を示すほか、近年国高・北日野ルート、味真野・北新庄ルートが増加傾向にある。これら以外のルートは減少にあり、特に月尾ルートと服部ルートとの落ち込みが著しくなっている。

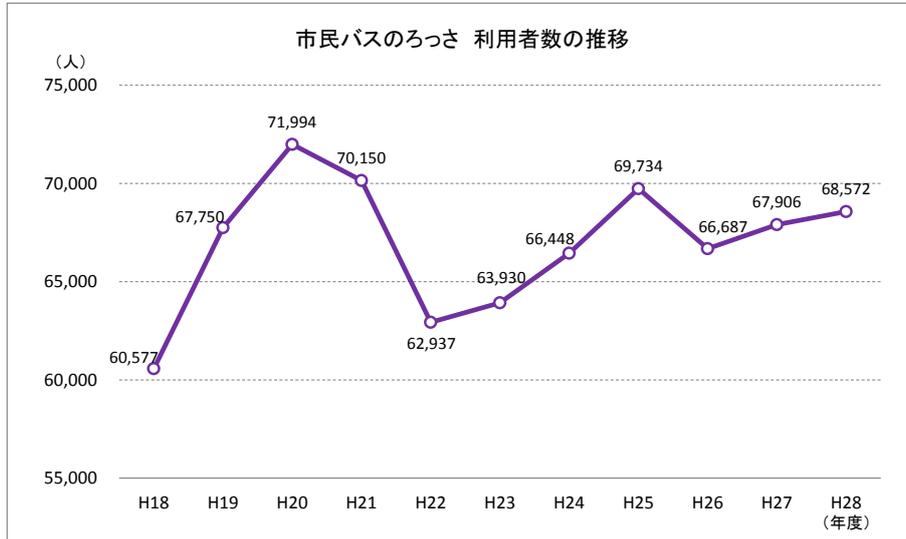


図3-26 市民バスのろっさの利用者数の推移（全ルート）

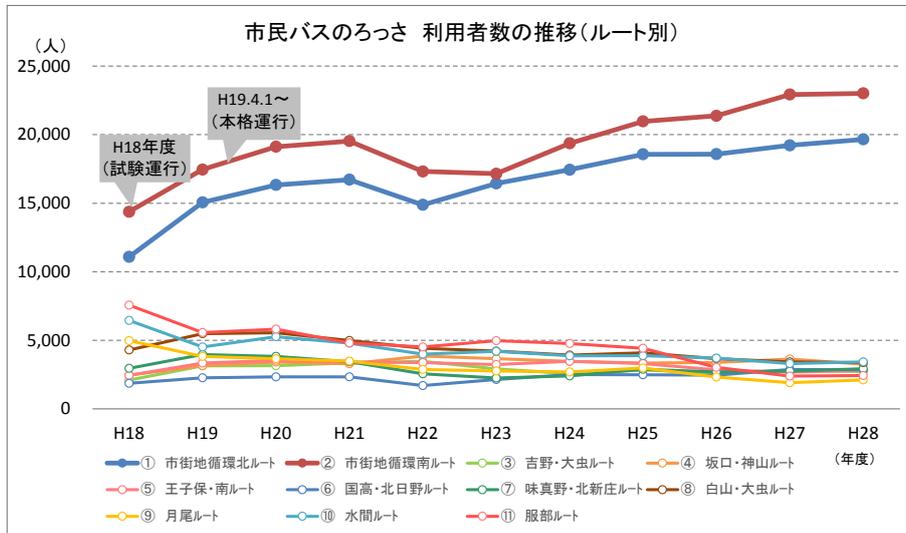


図3-27 市民バスのろっさのルート別利用者数の推移

市民ニーズの総括

○平成27年11月実施のコミュニティバス利用者アンケート調査より

利用者の74%は70代以上、うち3.5割は80代以上が利用している

- ・利用者は70代が39%、80代以上が35%、50代以下は10%
- ・運転免許返納支援の認知度は35%程度
- ・市民バスのろっさの利用者で自動車を保有しているのは約1割程度

④池田町が運行するコミュニティバスの状況

《路線の状況》

- 池田町が運行する「町民バスなかま号」は、町内を循環するルートで運航しており、無料で利用可能となっている。
- 池田町内では、「町民バスなかま号」を含め福井鉄道、京福バスが運行する路線バスとともにフリー乗降制を導入している。
- 福鉄バスの池田線、京福バスの池田線に乗り継ぐことで、越前武生駅、福井駅に接続している。

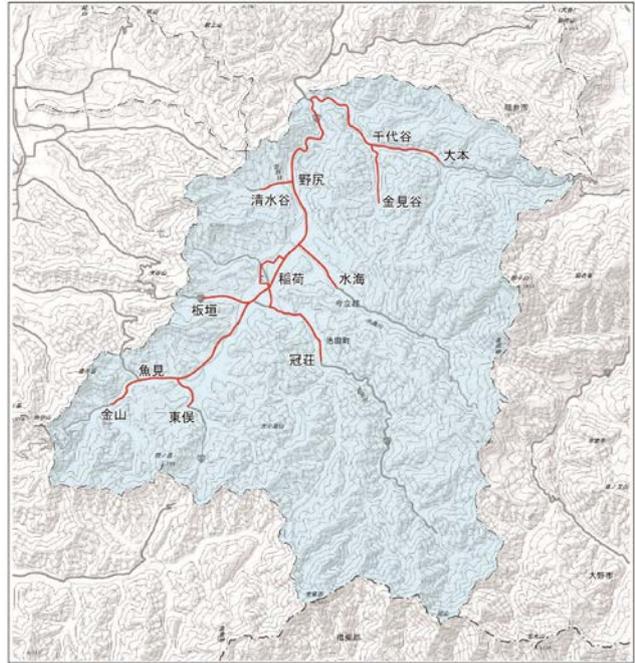


図3-28 町民バス「なかま号」の路線図

《利用者の状況》

- 利用者数は、漸減傾向となっている。

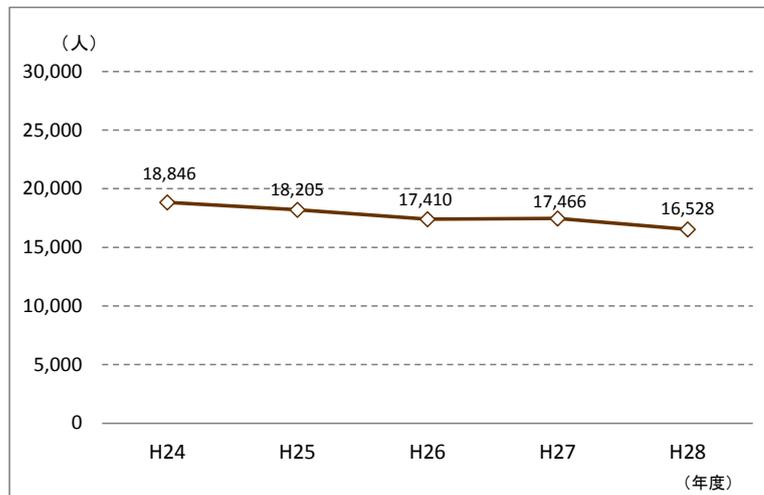


図3-29 町民バス「なかま号」の利用者数の推移

住民ニーズの総括

○池田町公共交通についてのアンケートより

路線バス、なかま号利用者の74%は70代以上が利用している

- ・利用者は70代が36%、80代以上が23%、50代以下は15%
- ・なかま号利用者の2割は年100回以上の利用がある
- ・路線バス、なかま号の利用目的は、通院、買物が主体

⑤南越前町が運行するコミュニティバスの状況

《路線の状況》

- 南越前町が河野地区で運行する「河野住民利用バス」は、河野地区内を巡回ルートとなっている。
- 福鉄バスの王子保河野線に乗り継ぐことで越前武生駅に接続している。



図3-30 河野住民利用バスの路線図

《利用者の状況》

- 利用者数は、少なく減少傾向となっている。

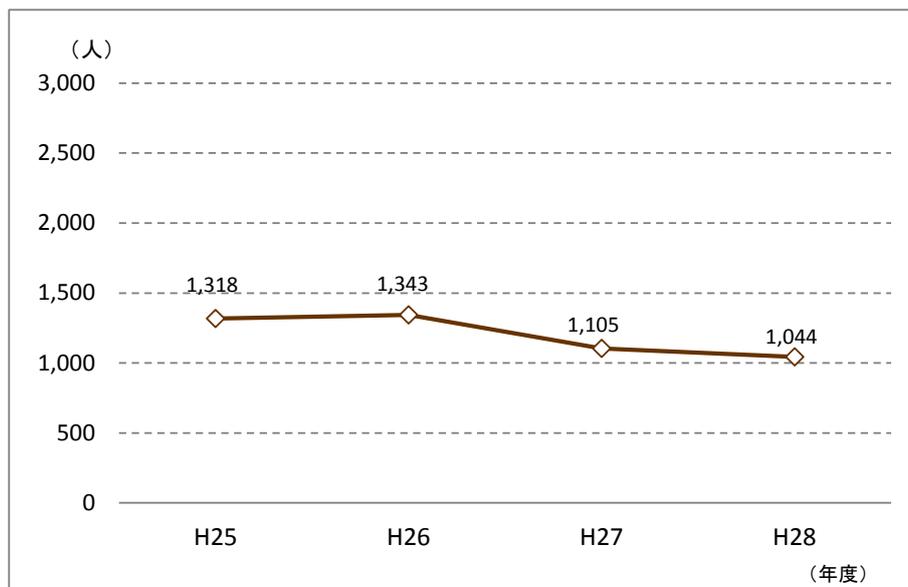


図3-31 河野住民利用バスの利用者数の推移

⑥越前町が運行するコミュニティバスの状況

≪路線の状況≫

- 越前町が運行する「コミュニティバスフレンドリー号」は全部で9ルートとなっている。
- 環状ルートは日曜日以外すべて運行、地区巡回ルートは月曜から金曜の運行、乗り合いルートは曜日限定で運行している。

運行路線	運行日	備考
① 環状ルート（右まわり）	月～土	
② 環状ルート（左まわり）		
③ 朝日地区巡回ルート	月～金	一部デマンド方式
④ 宮崎地区巡回ルート	月～金	一部デマンド方式
⑤ 越前地区巡回ルート	月～金	
⑥ 織田地区巡回ルート	月～金	一部デマンド方式
⑦ 朝日地区乗り合いルート	月水木	一部デマンド方式
⑧ 越前地区乗り合いルート	月水金	一部デマンド方式
⑨ 織田地区乗り合いルート	火木	一部デマンド方式

※年末年始（12月29日～1月3日）は全ルート運休



図3-32 コミュニティバスフレンドリー号路線図

《利用者の状況》

- 利用者数は、減少傾向が続いている。
- 越前地区巡回ルートの利用者が最も多いものの、横ばいで推移している。
- 環状ルートは漸減傾向で推移している。
- 乗合ルートの3路線のうち朝日地区乗り合いルート、宮崎地区乗り合いルートの利用者は、近年千人に満たない状況で推移している。

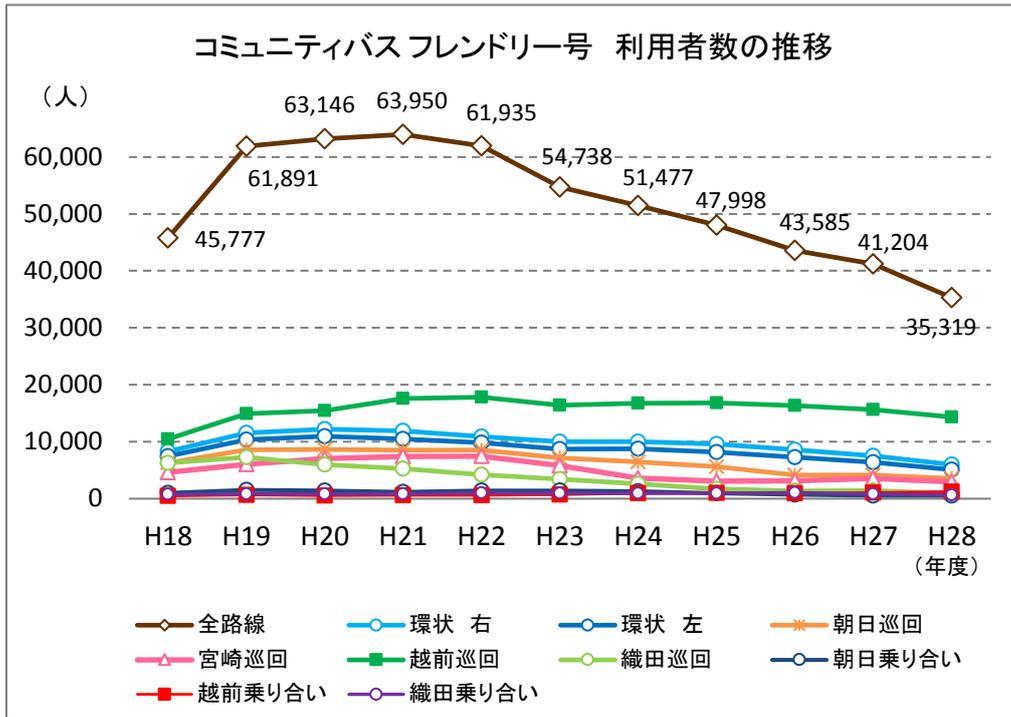


図3-33 コミュニティバスフレンドリー号の利用者の推移

住民ニーズの総括

○平成27年9月実施の平成27年度越前町民意調査より

対象：満20歳以上の町民2,500人を住民基本台帳から無作為抽出

越前町の定住環境として、「公共交通の利便性」に関する町民の評価が低い

- ・公共交通の利便性に関して、満足度が低く、重要度が高い。

町民の約8割は路線バスやコミュニティバスフレンドリー号を利用していない

- ・路線バス、コミュニティバスともに利用状況は低下している。
- ・バスの利用者は、高齢者の通院や福祉施設の利用、高校生の通学が中心である
- ・公共交通の継続的な運営に関して、利用者の少ない便を電話予約制にすることで高利化を図るべきとの意見が多い。

4. タクシー交通の現状

- 交通圏内に営業所を置くタクシー事業者は29社（福祉限定を除く）で、少人数の移動に対し、きめ細かいサービスを提供している。
- また移動ニーズの多様化、人口減少、高齢化等の進展により、鉄道やバス交通を補完する公共交通として重要な役割を担っている。

表3-12 交通圏内におけるタクシー事業者の車両数等

事業者	車両総数	ジャンボタクシー (最大定員10人のワン ボックス車両)	福祉車両 (スロープ・リフト・ 寝台付車両)
福井交通(株)	45	4	—
京福タクシー(株)	46	4	—
福井都タクシー(株)	51	2	1
福井タクシー(株)	23	—	—
(有)福井相互タクシー	36	1	—
(有)共栄タクシー	11	—	—
三栄タクシー(有)	32	2	—
光タクシー(有)	20	2	1
(有)日ノ出タクシー	13	—	—
すいせんタクシー(株)	33	1	—
福井バス(株)	42	2	—
永平寺観光(株)	17	3	—
福鉄商事(株)	26	3	1
(株)丸越タクシー	10	1	—
小松タクシー(有)	19	2	1
白山交通(株)	4	2	—
鯖江タクシー(株)	14	1	—
相互タクシー(株)	13	1	1
(合)相馬タクシー	16	1	1
朝日自動車(株)	5	2	—
山海交通(株)	4	1	—
(有)越前タクシー	3	1	—
ヤマトタクシー(株)	5	1	—
池田観光(株)	2	1	—
(有)今庄タクシー	4	1	—
(有)日の丸タクシー	16	1	—
明里機材運輸(有)	10	—	—
(有)ドリームタクシー	10	—	—
アイネス観光(株)	10	1	1
計	540	41	7

資料：中部運輸局福井運輸支局・福井県（平成29年3月31日現在）

利用者ニーズ（参考）

○国土交通行政インターネットモニター「タクシーに関するアンケート調査結果」より

調査対象：モニター委嘱者1,098名

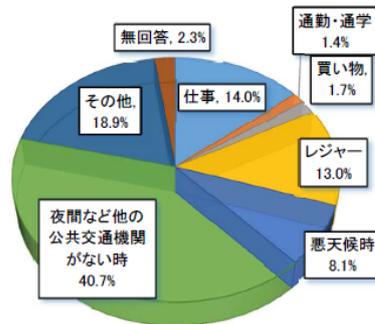
回答者数：948名

実施期間：平成27年2月16日～3月7日

◆タクシーの利用目的

回答対象者656人(うち無回答15人)

選択肢	回答	回答数	割合
1	仕事	92	14.0%
2	通勤・通学	9	1.4%
3	買い物	11	1.7%
4	レジャー	85	13.0%
5	悪天候時	53	8.1%
6	夜間など他の公共交通機関がない時	267	40.7%
7	その他	124	18.9%
8	無回答	15	2.3%
計		656	100.0%

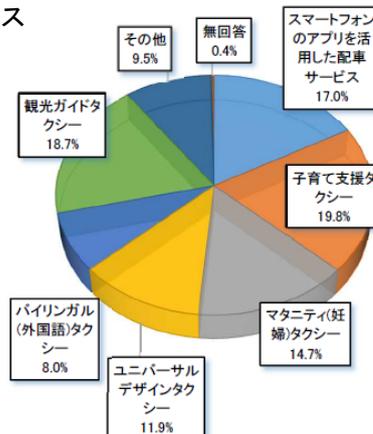


タクシーの主な利用目的は、「夜間など他の公共交通機関がない時」が多い。

その他の主な意見として、「飲酒後に帰宅する時」「出張や旅行などで知らない土地に行った時など、駅から目的地へ向かうとき」等となっている。

◆普及を望むタクシーサービス

選択肢	回答	回答数	割合
1	スマートフォンのアプリを活用した配車サービス	313	17.0%
2	子育て支援タクシー	365	19.8%
3	マタニティ(妊婦)タクシー	272	14.7%
4	ユニバーサルデザインタクシー	220	11.9%
5	バイリンガル(外国語)タクシー	147	8.0%
6	観光ガイドタクシー	346	18.7%
7	その他	176	9.5%
8	無回答	7	0.4%
計		1,846	100.0%

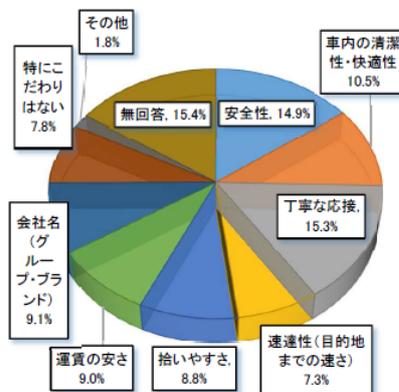


普及を望むタクシーサービスは、「子育て支援タクシー」「観光ガイドタクシー」「スマートフォンのアプリを活用した配車サービス」が多い。

◆タクシー利用の重視する点

回答対象者656人(うち無回答192人)

選択肢	回答	回答数	割合
1	安全性	186	14.9%
2	車内の清潔性・快適性	131	10.5%
3	丁寧な応接	190	15.3%
4	速達性(目的地までの速さ)	91	7.3%
5	拾いやすさ	110	8.8%
6	運賃の安さ	112	9.0%
7	会社名(グループ・ブランド)	113	9.1%
8	特にこだわりはない	97	7.8%
9	その他	23	1.8%
10	無回答	192	15.4%
計		1,245	100.0%



タクシーの利用に当たって重視する点は、「丁寧な応接」「安全性」が多い。

第4章 地域公共交通の課題と方向性

1. 地域公共交通の課題

ここでは交通圏市町の地域状況、福武線の状況、福井鉄道交通圏におけるバス交通等の状況から、本計画において対応すべき課題を整理する。

① 利用環境

鉄道相互の乗り継ぎ利便性の向上

- ・既存の鉄軌道網を活用した地域公共交通の幹線軸を強化し、広域的な移動の利便性の向上を図るため、JRとの接続やえちぜん鉄道との相互乗入を活かした更なる乗り継ぎ利便性の向上が必要
- ・福井駅西口広場への電停移設に伴い、快適性や利便性を検証し、結果に応じた対策が必要

鉄道駅を拠点（ハブ）としたフィーダー交通の充実

- ・福井駅西口広場の総合交通ターミナル機能を活かし、路線バスやコミュニティバス等のフィーダー交通との結節機能の充実が必要
- ・主要駅である越前武生駅、西鯖江駅、神明駅、浅水駅、田原町駅の交通結節機能の強化に向けて、路線バスやコミュニティバス等のフィーダー交通の充実が必要
- ・自動車交通との連携強化に向けて、福井鉄道各駅においてパークアンドライド駐車場の確保が必要

利用者ニーズに対応した乗り継ぎ利便性の向上

- ・乗降の際に切符が不要で、乗継等の割引、1円単位の運賃設定等の多様なサービスが可能になる交通系ICカードの導入検討が必要
- ・利便性向上のため、運行ダイヤや運賃体系など利用者ニーズに対応した見直しが必要

交通情報を手軽に入手できる環境の充実

- ・路線バスの待ち時間の不安感の解消や、乗り継ぎ等の接続情報を入手できる環境整備として、携帯端末への情報提供等の環境整備が必要

② 交通基盤

老朽化した軌道や車両等の改善

- ・安全で快適な運行を確保するため、路面や路盤に損傷のある軌道等の改善、その他設備の更新等が必要
- ・電車やバスの老朽車両の更新に当たっては、エネルギー効率やバリアフリーの視点から、省エネルギー化した乗り降りしやすい車両への更新が必要

安定した経営基盤の構築

- ・安全な運行に向け、安定した経営基盤の構築のため、運行に係る経費の削減、効率化を図るとともに、広告や関連グッズの販売等による収入拡大が必要

③ まちづくりとの連携

高齢化と人口減少、空洞化への対応

- ・人口減少や高齢化への対応として、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりが必要
- ・主要駅周辺における商業・業務機能の集約化に向けて、利便性の高い公共交通サービスの提供と、都市機能、居住機能の立地誘導が必要
- ・にぎわいのあるまちづくりに向けて、公共交通を利用した外出機会の増加を支援する施策の検討が必要

北陸新幹線開業を見据え、県外客にも利便性の高い公共交通網の構築

- ・首都圏をはじめとする県外や海外からの観光客が公共交通を活用して周遊できるよう、鉄道、バス等の乗り継ぎ利便性の向上が必要

公共交通と連携した観光まちづくりの推進

- ・観光施設や交流施設が鉄道、バス沿線に多く立地していることから、公共交通と連携した観光まちづくりの推進が必要
- ・本県観光の魅力向上に向け、イベント時や季節運行等の電車・バスや、タクシーの充実が必要

公共交通と連携した自転車利用環境の充実

- ・公共交通と連携した自転車利用環境の充実が必要
- ・自宅から駅・バス停までや、駅・バス停から目的地までにおいて、自転車の貸出や駐輪場の整備などの公共交通利用環境を補完する整備が必要

④ 住民等との協働

住民等との協働による公共交通の利用促進

- ・駅やバス停周辺を対象として、公共交通の利便性を活かした通勤、通学、通院や買物、余暇活動等における公共交通利用促進の啓発が必要
- ・日常生活に密着した路線バスやコミュニティバス等の確保、維持のため、住民や事業所等との協働による利用促進への取り組みが必要
- ・高齢者による交通事故を防止するため、公共交通の利用促進と連携した、運転免許の自主返納のさらなる推進が必要

住民等との協働による地域貢献の取り組み

- ・車に過度に依存した暮らしを見直し、高齢者でも出歩きやすく健康で快適な生活を確保し、子育て世代などの若年層にも魅力的なまちづくりを進めていくうえで、住民等との協働によって、公共交通を活かしたまちづくりの必要性、重要性を広く周知していくことが必要
- ・沿線地域において、福井鉄道感謝祭等のイベントの実施、鉄道駅や主要なバス停周辺における花植え活動等、身近な公共交通に向けて住民や各種団体等と連携し、継続していくことが必要

2. 課題解決に向けた方向性

前頁で整理した課題について施策の体系ごとに分類すると、下図のとおりである。

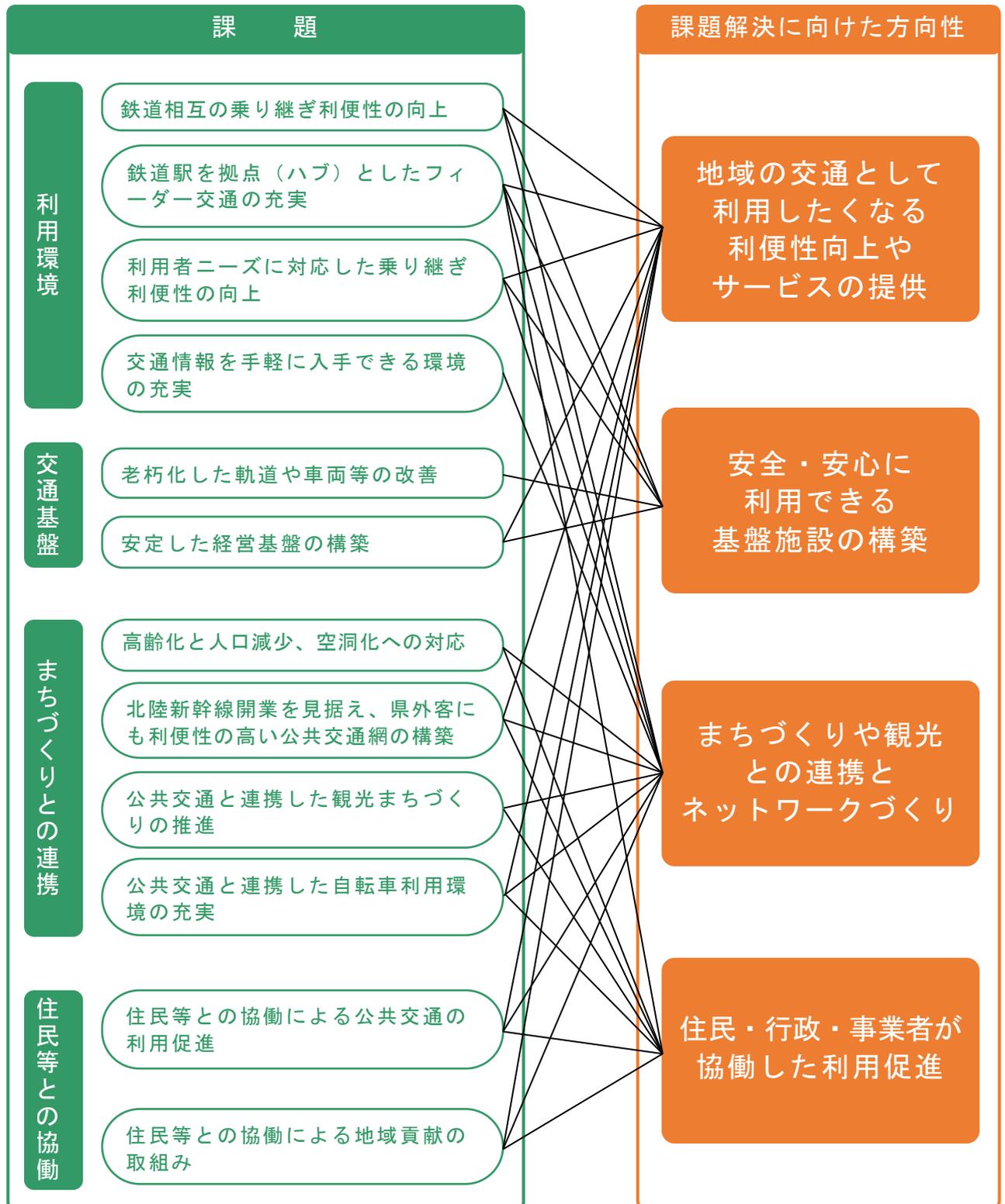


図4-1 公共交通の課題と課題解決に向けた方向性

第5章 福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

1. 持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針

福井鉄道福武線は、嶺北地域における南北方向の骨格を形成する幹線交通として、福井市、鯖江市、越前市の3市を連絡しており、その沿線には、住民の日常生活を支える商業、医療、学校、行政等の生活関連施設をはじめ、イベント・観光施設等が集積している。また、主要駅では、路線バス、コミュニティバス、タクシーと接続するとともに、パークアンドライド駐車場やレンタサイクルが整備されており、鉄道沿線だけでなく、池田町、南越前町、越前町を含む広範囲な地域に公共交通サービスを提供している。これらの生活機能と交通機能により、福井鉄道交通圏を形成している。

将来的には、平成34年度の北陸新幹線敦賀開業に向け、観光・ビジネスに対応した二次交通として、福井都市圏を形成するもうひとつの鉄道を軸とする交通圏である「えちぜん鉄道交通圏」や並行在来線との連携により相乗的効果を発揮し、より利便性の高い地域公共交通の「受け皿」として公共交通ネットワークの維持・強化が求められている。

このため、持続性のあるまちづくりに向けて、交通圏の特性を活かしたコンパクトで魅力ある定住環境の形成を図るとともに、住民や観光・ビジネス客の多様なニーズに対応した利便性の高いサービスの提供により、広域性、速達性、快適性の向上が必要である。

本計画では、各交通事業者と沿線市町の協働によって、福井鉄道を軸とする広域的な交通圏において、圏域の地域特性や既存のコミュニティを踏まえ、主要駅や路線バスとコミュニティバスの乗継バス停周辺を公共交通の利便性の高い拠点地区として位置づけ、各種都市機能の集積を誘導するとともに、パークアンドライド駐車場の整備、自転車利用環境の向上を図り、福井鉄道福武線を主軸に路線バス、コミュニティバス、タクシー等によって公共交通ネットワークを形成するものとする。これにより、移動の利便性が高く、車に頼り過ぎない住みやすいコンパクトなまちづくりを目指すとともに、交通圏を対象とする周遊性のある観光のまちづくりを目指すものとする。

一方、交通圏域の住民は、公共交通の意義を理解し、積極的に公共交通を利用する機会を設けることで、公共交通のサービス水準の維持・向上につなげることを目指すものとする。

2. 地域公共交通網形成計画の区域

本計画の対象区域は、福井鉄道交通圏とする。

福井鉄道交通圏は、福井鉄道福武線を主軸に路線バス、コミュニティバス、タクシー等のフィーダー交通が運行されている福井市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町を範囲とする。

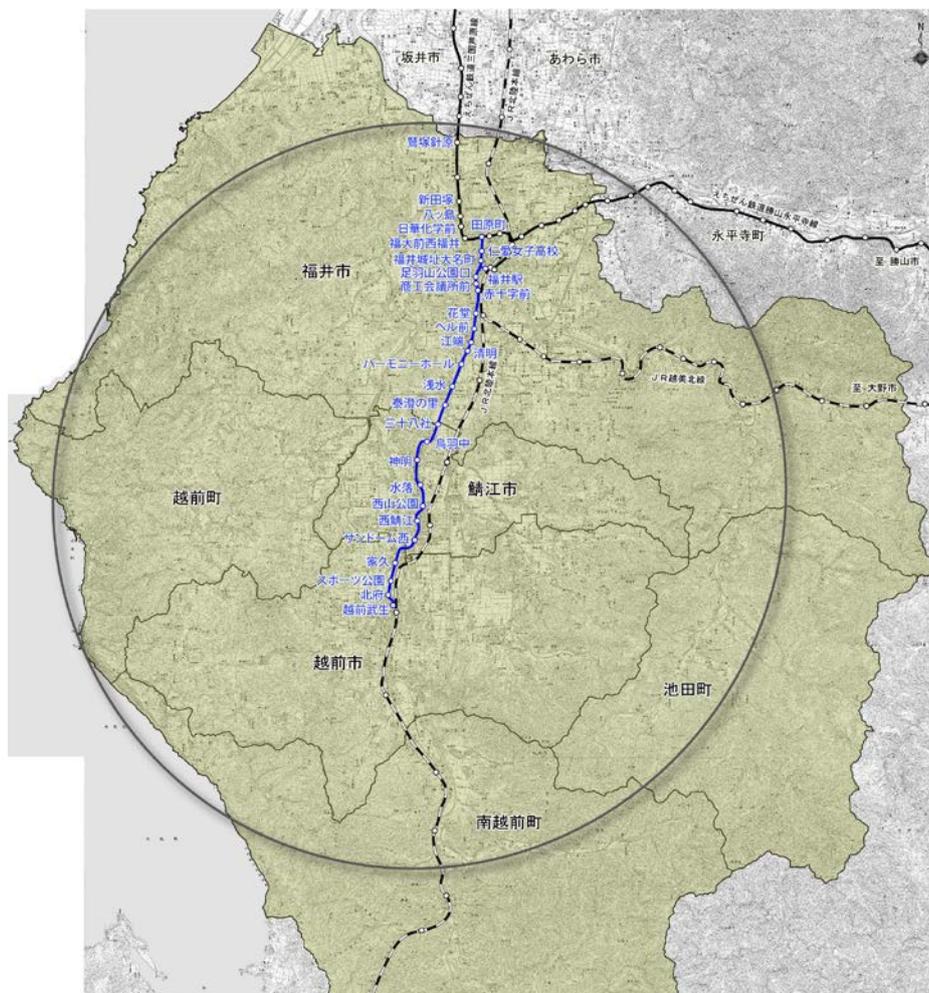


図5-1 計画の区域

3. 地域公共交通網形成計画の期間

「平成30年度から平成34年度の5年間」

本計画の計画期間は、平成34年度末の北陸新幹線敦賀開業を踏まえ、平成30年度から平成34年度までの5年間とする。

ただし、計画期間内において、本計画の達成状況の評価に基づく計画の見直しを行うとともに、社会情勢や法制度等の変化に対応するための見直しを随時行うものとする。

4. 地域公共交通網形成計画の目標

福井鉄道福武線は交通圏を形成する主軸として、路線バスやコミュニティバスは地域密着型のフィーダー交通として、日常生活に不可欠な地域住民の足としての役割を担っており、公共交通が地域のまちづくりに必要不可欠であることを今以上に認識し、多くの住民によって「地域に親しまれ共に育む公共交通」として利活用していかねばならない。

そのため、交通圏内の地域拠点を公共交通でネットワークすることで、移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても住みやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指す。

<目指すべき公共交通の将来像>

「地域に親しまれ共に育む公共交通」

目標 1

地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

- 駅やバス停へのアクセス向上、他交通機関との接続向上を進め「地域の交通として利用したくなる公共交通」を目指す。

目標 2

安全・安心に利用できる公共交通の実現

- 計画的な鉄道施設への設備投資や維持修繕、バス路線への運行支援を行い、「安全・安心に利用できる公共交通」を目指す。

目標 3

車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

- 主要拠点駅を中心としたコンパクトなまちづくりや、沿線の観光施設との連携を進め、「車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通」を目指す。

目標 4

住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

- 住民、行政、事業者の協働により、公共交通への意識を高め、利用促進につなげるための取組みを進め、「住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通」を目指す。

<福井鉄道交通圏における地域公共交通ネットワーク>

■地域公共交通ネットワークを形成する軸と拠点

		機能・役割
公共交通中心軸 (福井鉄道福武線)		<ul style="list-style-type: none"> 交通圏を形成する主軸として、福井市、鯖江市、越前市間を相互に連絡する。 J R北陸本線、えちぜん鉄道と接続することで、嶺北地域における鉄道による幹線公共交通としての役割を担う。
公共交通拠点地区		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性の高い地区に住民の日常生活に必要な商業、医療、行政サービス等の生活関連施設を集積することで、車に頼り過ぎることなく、便利で快適な生活の場を形成する。 (福井駅、田原町駅、浅水駅、神明駅、西鯖江駅、越前武生駅、織田バスターミナル、稲荷、河野の各周辺地区)
主要乗継拠点	福井駅	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線をはじめ、J R北陸本線、福井鉄道福武線、えちぜん鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー等が結節する総合交通ターミナルとして、公共交通ネットワークの中心的な役割を担う。
	田原町駅 浅水駅 神明駅 西鯖江駅 越前武生駅	<ul style="list-style-type: none"> 福井市、鯖江市、越前市における主要乗継拠点として、路線バス、コミュニティバス、タクシー等が結節する主要乗継拠点として、公共交通ネットワークの骨格を形成する。
	稲荷バス停 河野バス停 織田バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> 池田町、南越前町(河野)、越前町における主要乗継拠点として、福井駅、神明駅、越前武生駅等に接続する路線バスと各町内のコミュニティバスの乗継拠点として、公共交通ネットワークを形成する。
乗継拠点 (その他の鉄道各駅)		<ul style="list-style-type: none"> パークアンドライド駐車場の設置により自家用車から鉄道への乗り継ぎ利便性を高めるとともに、コミュニティバス等の接続や自転車駐輪場の設置により利便性を高める。
フィーダー交通		<ul style="list-style-type: none"> 主要乗継拠点において、路線バス、コミュニティバス、タクシー等によって、駅周辺及び郊外地域を連絡する。 幹線バスは、幹線公共交通である福井鉄道福武線に接続するフィーダー交通として、主要乗継拠点間を連絡する

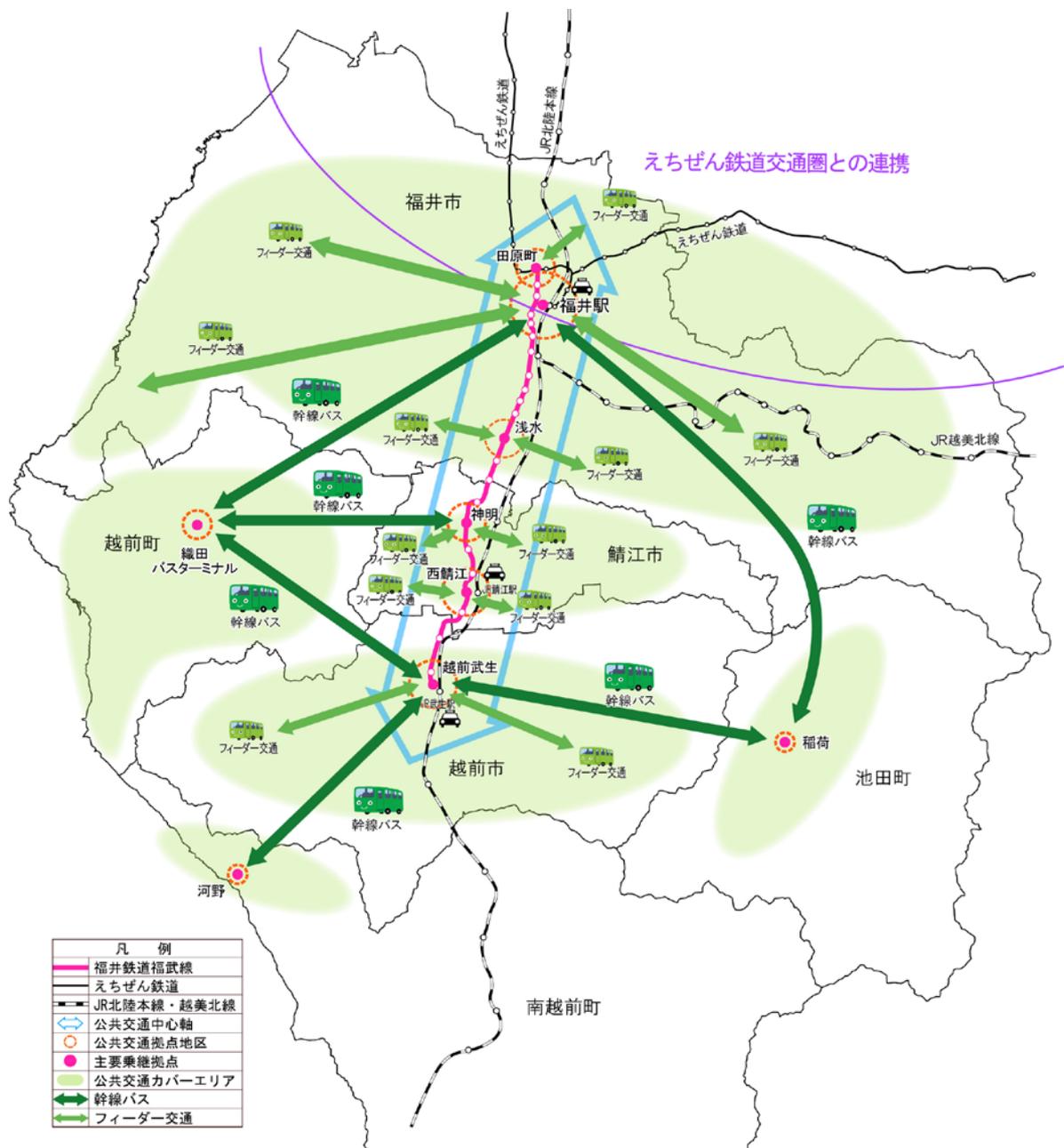


図5-2 公共交通ネットワーク方針図

5. 地域公共交通網形成計画の目標を達成するために行う事業

及びその実施主体に関する事項

(1) 目標達成に向けた主要な施策と実施主体

目指すべき公共交通の将来像である「地域に親しまれ共に育む公共交通」の実現に向けて施策を展開する。

そのうち、主要な施策とその実施主体は、以下のとおりである。

■地域公共交通ネットワーク、乗継利便性の向上

施 策	実施主体
I Cカードの導入の検討	福井鉄道、バス事業者、福井県、沿線市町
運賃体系の総合的再構築	福井鉄道、バス事業者、福井県、沿線市町
利用者ニーズにあった運行ダイヤ等の見直し	福井鉄道、バス事業者
フィーダー交通の充実(路線バス、コミュニティバス)	沿線市町、沿線市町、バス事業者
パークアンドライド駐車場の整備等	福井鉄道、福井県、沿線市

■公共交通を活用した地域のまちづくり、観光との連携

施 策	実施主体
地域のまちづくり活動、教育活動等に対する公共交通利用促進	福井鉄道、バス事業者、沿線市町
公共施設(観光施設含む)との連携による利用促進	福井鉄道、福井県、沿線市町
ショッピングセンター・シティホテル等との連携	福井鉄道、福井県
企画乗車券の充実	福井鉄道

■多様な主体との協働による利用促進

施 策	実施主体
交通マナー啓発活動	福井鉄道、バス事業者、福井県、沿線市町
自動車免許返納者への外出支援	沿線市町
自動車免許返納者への外出支援の拡充の検討	福井鉄道、沿線市町
駅の美化運動	福井鉄道、福井県、沿線市、自治会、市民団体
地域イベントとの連携強化	福井鉄道、沿線市町
沿線サポート団体等との連携強化	福井鉄道、サポート団体

(2) 目標別の個別施策と実施主体

公共交通の将来像の実現のための4つ目標における個別施策とその実施主体は、以下のとおりである。

目標1 地域の交通として利用しなくなる公共交通の実現									
施策	実施内容等	実施主体	実施スケジュール(年度)						
			H30	H31	H32	H33	H34		
■ 駅やバス停へのアクセス環境の向上									
1	鉄道駅の新設	家久駅とサンドーム西駅間	福井鉄道、福井県	●	●	●	●	●	●
2	越前武生駅以南への延伸可能性研究	利便性向上のため、越前武生駅以南への延伸可能性を研究	福井鉄道、福井県、越前市	●	●	●	●	●	●
3	駅前線区間の快適性及び利便性の検証及び対応	駅前線区間の所要時間の緩和策として短絡線整備を検討・計画・整備 駅前線区間における、現状利用者等に対する快適性及び利便性の検証が必要であり、結果に応じて必要な対応を推進	福井鉄道、福井県、福井市	●	●	●	●	●	●
4	パークアンドライド駐車場の整備等	利便性向上のため、駐車需要駅へのパークアンドライド駐車場の新設、増設、舗装及び有料駐車場の無料化	福井鉄道、福井県、沿線市	■	■	■	■	■	■
5	駐輪場の整備改修	利便性向上のための駐輪場整備及び改修	福井鉄道、福井県、沿線市	■	■	■	■	■	■
6	駅待合環境の整備改修	利便性向上のため、駅トイレ等の整備及び改修	福井鉄道	■	■	■	■	■	■
7	フィーダー交通の充実(路線バス、コミュニティバス)	交通圏内を運行する路線バス、コミュニティバスのルート、運行形態等の見直し	福井県、沿線市町、バス事業者	■	■	■	■	■	■
■ 利用者ニーズに対応した乗り継ぎ等の利便性向上									
8	ICカードの導入の検討	乗り継ぎ等の利便性の向上を目指し、ICカード導入を検討	福井鉄道、バス事業者 福井県、沿線市町	●	●	●	●	●	●
9	運賃体系の総合的再構築	バスや電車の乗り継ぎなど、利用者ニーズに応じた運賃体系(企画乗車券等含む)の見直し	福井鉄道、バス事業者 福井県、沿線市町	●	●	●	●	●	●
10	利用者ニーズにあった運行ダイヤ等の見直し	利用者ニーズに即応し、定時性を確保する運行ダイヤや急行停車駅等の見直し、調整	福井鉄道、バス事業者	■	■	■	■	■	■
■ 情報発信の充実									
11	携帯端末への情報提供	GPSを活用した高精度の位置情報の携帯電話を通じた提供	バス事業者	■	■	■	■	■	■
■ 接客サービスの向上									
12	社員のマナー・接客サービスの再度徹底	利用者本位のサービスの向上	福井鉄道、バス事業者	■	■	■	■	■	■

前回計画からの追加施策

実施中の事業 →
(内容変更の場合あり)

検討・調整中の事業 ●●●●

目標 2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

	施策	実施内容等	実施主体	実施スケジュール(年度)				
				H30	H31	H32	H33	H34
■安全で安心な公共交通の基盤づくり								
13	レール・分岐器の更新	レール・分岐器の更新	福井鉄道	■	■	■	■	■
14	変電所設備の更新	変電所の設備更新 (受電設備、変圧設備等の交換)	福井鉄道	■	■	■	■	■
15	電路設備等の更新	電車線・柱等の更新	福井鉄道	■	■	■	■	■
16	線路・電路等維持修繕の実施	レール・マクラギ等の交換、電車線・通信線等の交換	福井鉄道	■	■	■	■	■
17	車両更新	新型低床車両(LRV)の導入	福井鉄道	■	■	■	■	■
18		ノンステップバスの導入	バス事業者	■	■	■	■	■
19	車両設備の更新	低床車両について、電動機、制御装置等の交換	福井鉄道	■	■	■	■	■
■安全で快適な交通環境づくり								
20	交通マナー啓発活動	交通マナーや啓発活動の実施等	福井鉄道、バス事業者、福井県、沿線市町	■	■	■	■	■
■安定した公共交通の経営基盤を支える体制づくり								
21	設備等の更新・維持等にかかる経費の縮減	他鉄道事業者との車両部品等の共有化	福井鉄道、他鉄道事業者	■	■	■	■	■
22		検査業務のIT化等維持管理の省力化、電力スマート化による電力使用量の削減、運行車両数の見直し等	福井鉄道	■	■	■	■	■
23	駅管理業務の効率化	利用客サービス水準に対応した駅管理業務体制の見直し(人員の配置、有人時間帯等)によるコスト削減	福井鉄道	■	■	■	■	■
24	広告収入等の拡大	駅、電停、車両を対象とした広告スペースの提供、電車関連グッズの拡充、販売促進	福井鉄道	■	■	■	■	■
25	設備更新費への支援	軌道整備、車両更新、変電所設備の更新等	福井県	■	■	■	■	■
26	新駅設置にかかる経費の補助	家久駅とサンドーム西駅間	福井県	●	●	●	●	●
27	パークアンドライド駐車場の整備等にかかる支援	パークアンドライド駐車場の整備等に対する支援	福井県	■	■	■	■	■
28	鉄道事業への再生可能エネルギー活用の検討	回生エネルギー、太陽光発電等の活用の検討	福井県	●	●	●	●	●
29	維持修繕費への支援	線路・電路等維持修繕費への支援	沿線市	■	■	■	■	■
30	沿線市による土地無償貸付	沿線3市が鉄道用地を保有し、福井鉄道へ無償貸与	沿線市	■	■	■	■	■
31	バス路線維持への行政支援	欠損補助	福井県、沿線市町	■	■	■	■	■

前回計画からの追加施策

実施中の事業
(内容変更の場合あり) 
検討・調整中の事業 

目標3 車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

	施策	実施内容等	実施主体	実施スケジュール(年度)				
				H30	H31	H32	H33	H34
■駅を中心としたまちづくり								
32	福井駅を中心とした居住誘導	福井駅を中心としたエリアにおいて、住宅建設やリフォーム等への補助	福井市	→				
33	越前武生駅周辺の居住誘導	越前武生駅を含めた中心市街地地区において、新築住宅の取得資金の利子補給、住宅団地整備補助、空き家リフォーム実施後に売買賃貸する場合は改修資金補助、新婚夫婦への家賃補助	越前市	→				
34	福井駅前への店舗誘致	中央1、3丁目でのリノベーションによる店舗等開業への経費補助	福井市	→				
35	田原町駅を拠点としたにぎわいの創出	田原町駅周辺において、交流人口の増加やイベント等によるにぎわいの創出	福井市、鉄道事業者、自治会、地元商店街等	→				
36	西鯖江駅を拠点としたにぎわいの創出	つつじまつり、もみじまつり、誠市など、西鯖江駅周辺で行われるイベントとの連携による交流人口の増加やにぎわいの創出	鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江公共交通振興会等	→				
37	北府駅を拠点としたにぎわいの創出	北府駅周辺において、交流人口の増加やイベント等によるにぎわいを図るため、鉄道ミュージアムや広場を整備	越前市、福井鉄道、サポート協議会	→				
■まちづくりや観光との連携								
38	地域のまちづくり活動、教育活動等に対する公共交通利用促進	地域のまちづくり活動及び遠足等の教育活動等に公共交通機関を利用してもらうため、公民館等を通じ、フリーキップ等の利用セールス等を実施	福井鉄道、バス事業者、沿線市町	→				
39	公共施設(観光施設含む)との連携による利用促進	鉄道利用者に対する沿線公共施設利用料金の割引の検討	福井鉄道、福井県、沿線市町	→				
40	鉄道文化財の保存、活用	北府駅周辺の登録有形文化財(北府駅本屋、バス旧車庫、車両工場)と合わせ、福井鉄道の200形車両を保存、活用し、観光の拠点としての魅力の増進	福井鉄道、福井県、越前市	→				
41	地域資源を活用したイベント・ツアー企画	電車沿線の歴史自然等と連携したイベント・ツアーの開催	福井鉄道、沿線市町	→				
42	ショッピングセンター・シティホテル等との連携	ショッピングセンター、商店街等と連携した企画の拡充、ホテルランチ(スイーツ)付1日フリー乗車券の販売促進や企画拡充	福井鉄道、福井県	→				
43	県外観光利用者の増加を目的とした利用促進	福井鉄道イメージキャラクターの導入の検討	福井鉄道、福井県	→				
44	沿線観光・文化等施設情報の提供	地域のまちづくりや観光施設と連携した情報提供	福井鉄道、沿線市町	→				
45	野外学習等事業に対する運賃一部助成	沿線の高校生までを対象に、電車を利用して体験学習を行う場合に運賃補助	福井鉄道、沿線市	→				
46	企画電車の充実	まちづくり会社等と連携した企画電車の創出	福井鉄道、沿線市	→				
47	レンタサイクルの拡充	観光まちづくりを促進させるために、主要な鉄道駅や施設への自転車の設置や継続的な維持管理	沿線市町	→				
48	企画乗車券の充実	既存の企画乗車券に加え、観光客をターゲットとしたバス、電車乗継乗車券(周遊バス等)等の販売	福井鉄道	→				
49	観光周遊バスの運行	観光スポットを巡回するバスの運行	バス事業者	→				
50	臨時バスの運行	フェニックスまつり(福井市)、つつじまつり(鯖江市)、武生菊人形(越前市)、越前陶芸まつり(越前町)等での臨時バス運行	バス事業者	→				
51	バス観光を中心としたフリーキップ	鉄道とバスを乗継いで観光しやすいように、休日1日フリーキップ、海岸方面への2日間フリーキップの発行	バス事業者	→				
52	一押しバスツアーの運行	福井県内の観光地を巡るバスツアーの運行	バス事業者	→				
53	観光タクシーの運行	福井県内の観光地を巡るタクシーの運行	タクシー事業者	→				

目標 4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

No.	施策	実施内容等	実施主体	実施スケジュール(年度)				
				H30	H31	H32	H33	H34
■ 乗る運動や利用促進								
54	公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	福井鉄道感謝祭、まちフェス、カーフリーデー等の各種イベントに合わせて、公共交通とまちづくり事業を実施	市民団体、企業、福井鉄道、バス事業者、福井市、福井県	—	—	—	—	—
55	モビリティマネジメント	小学校等で公共交通に関する出前講座の実施 イベント時にフリーキップを使ったイベントやバスの乗り方教室を実施 高校入学予定者に公共交通情報を配布	福井鉄道、福井県、沿線市町、サポート協議会	—	—	—	—	—
56	カー・セーブデーの推進	毎週金曜日に公共交通機関による通勤の促進	福井鉄道、福井県、沿線市町	—	—	—	—	—
57	福鉄感謝祭の開催	鉄道の日(10月14日)に合わせたイベントの開催	福井鉄道、各種団体	—	—	—	—	—
58	自動車免許返納者への外出支援	65歳以上の運転免許を自主的に返納した住民を対象に、地域のコミュニティバスの無料乗車券等の交付	沿線市町	—	—	—	—	—
59	自動車免許返納者への外出支援の拡充の検討	65歳以上の運転免許を自主的に返納した住民を対象に、電車利用券配布の検討	福井鉄道、沿線市町	⋯	⋯	⋯	⋯	⋯
60	通学支援補助	通学用の電車・バス定期券の購入補助	越前町、池田町、南越前町	—	—	—	—	—
61	法人利用の促進	沿線事業所への電車利用の働きかけ及び沿線企業へのセールス訪問を通年実施	福井鉄道	—	—	—	—	—
■ 地域住民との連携								
62	駅の美化運動	駅や鉄道敷きへの花植え等による美化運動の継続	福井鉄道、福井県、沿線市、自治会、市民団体	—	—	—	—	—
63	地域イベントとの連携強化	沿線地域で開催されるイベントと公共交通利用との連携	福井鉄道、沿線市町	—	—	—	—	—
64	沿線サポート団体等との連携強化	サポート団体等との連携を強化し、利用促進に向けた取組みを実施	福井鉄道、サポート団体	—	—	—	—	—

■ 前回計画からの追加施策

→ 実施中の事業
 (内容変更の場合あり)
⋯→ 検討・調整中の事業

6. 地域公共交通網形成計画の達成状況の評価に関する事項

(1) 計画目標の指標

目指すべき公共交通の将来像を実現させるための計画目標の4項目について指標を設定する。

■目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

評価指標	数値目標		定義及び内容
	現 状	将来目標	
(指標1) 公共交通の利用者数	6,802 千人/年	6,980 千人/年	定義： ・福井鉄道、京福バス、福鉄バス、コミュニティバスすまいる、つつじバス、のろっさ、なかま号、河野住民利用バス、フレンドリー号の乗客数の合計 内容： ・現状からの約3%増を目指す

利用者数（人/年）	現 状	将来目標	備 考
福井鉄道	2,025,816	2,200,000	年1.4%増
フィーダーバス	4,776,050	4,780,000	現状からの増加を目指す
京福バス	3,966,504		
福鉄バス	66,599		
すまいる	438,401		
つつじバス	183,083		
のろっさ	68,572		
なかま号	16,528		
河野住民利用バス	1,044		
フレンドリー号	35,319		

■目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

評価指標	数値目標		定義及び内容
	現 状	将来目標	
(指標2) 故障等部内原因による鉄道の遅延障害件数	20 件/年	10 件/年	定義： ・故障等の部内原因による福武線の遅延障害件数 （車両故障等により運転を休止または30分以上遅延した件数） 内容： ・現状からの50%減を目指す
(指標3) 交通事故等の部外原因による鉄道の遅延障害件数	6 件/年	6 件/年 以下	定義： ・交通事故等の部外原因による福武線の遅延障害件数 （車両故障等により運転を休止または30分以上遅延した件数） 内容： ・現状からの減少を目指す

■目標3 車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

評価指標	数値目標		定義及び内容
	現 状	将来目標	
(指標4) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径500m圏域)の人口	25,040 人/年	25,500 人/年	定義： ・福井駅、田原町駅、浅水駅、神明駅、西鯖江駅、越前武生駅の半径500m以内の町丁目の合計人口 内容： ・現状からの微増を目指す
(指標5) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径500m圏域)の生活利便施設数	2,600 施設	2,600 施設以上	定義： ・福井駅、田原町駅、浅水駅、神明駅、西鯖江駅、越前武生駅の半径500m以内の立地する医療、福祉、文化、商業の合計施設数 内容： ・現状からの微増を目指す
(指標6) 鉄道の1日フリーキップ利用者数	106,800 人/年	114,800 人/年	定義： ・土日祝限定の1日フリーキップ及びえちぜん鉄道との共通1日フリーキップの利用者数 内容： ・現状からの7%増を目指す
(指標7) 65歳以上が対象の1日フリーキップの利用者数	67,300 人/年	87,100 人/年	定義： ・65歳以上が対象となるプレミアム会員の鉄道利用者数 内容： ・現状からの30%増を目指す
(指標8) 観光周遊バスの利用者数	11,500 人/年	12,700 人/年	定義： ・さくら号、つつじ祭り臨時バス、菊人形臨時バス、陶芸まつり臨時バス、田楽能舞臨時バス、SLバスの合計利用者数 内容： ・現状からの10%増を目指す
(指標9) 野外学習等運賃補助制度利用者数	15,600 人/年	17,100 人/年	定義： ・児童・生徒野外学習運賃補助制度の合計利用者数 内容： ・現状からの10%増を目指す

■目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

評価指標	数値目標		定義及び内容
	現 状	将来目標	
(指標10) サポート会等の市民団体の活動回数	29 回/年	32 回/年	定義： ・サポート会、自治会等の活動回数 内容： ・現状からの10%増を目指す

(2) 計画の推進体制

この計画に掲載した利用促進の各施策をスパイラルアップ的に推進するため、地方自治体と福井鉄道、バス事業者が協働し、社会情勢の変化に応じた評価・改善の仕組みを定める。

① P D C A サイクルの実行

本計画で掲げた目標を達成するために、コンパクトで住みやすいまちづくりに向けた新たな取組みの計画

(Plan) を策定し、計画された取組みを継続的に実施する (Do)、実施した取組みについて検証および評価し

(Check)、問題点があれば見直しを検討する (Action)、このような P D C A サイクルを実行する。連携協議会では、点検・評価の結果を受けて、見直しや修正が必要であれば適時修正を行い、計画期間中の推進を図る。

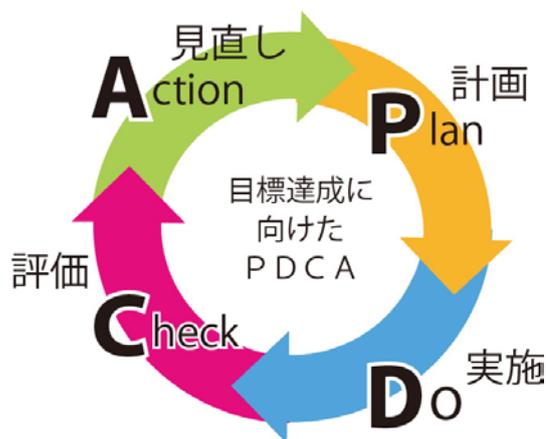


図5-3 P D C A サイクルのイメージ

② P D C A サイクルの実施体制と評価検証方法

P D C A サイクルの実行は、妥当性・有効性・効率性・持続性の視点を踏まえ、福井鉄道福武線活性化連携協議会が、形成計画の進捗管理及び施策の評価・検証を行う。

実施体制としては、福井鉄道福武線活性化連携協議会のもとに「福武線再建スキーム管理部会」「バス等交通推進部会」「福井鉄道・えちぜん鉄道利用転換推進部会」の3つの部会を設置する。

各部会はプロセスの過程だけを評価・検証するのではなく、施策を実施し、どのような効果があったのか、なぜ成果が出なかったのか、何をすれば利用者のニーズに応えられるのか等、施策や指標を具体的に評価・検証し、連携協議会に報告を行う。

連携協議会は各部会から報告を受けた内容を踏まえ、形成計画全体の進捗管理及び施策や指標の評価・検証を行う。



図5-4 P D C A サイクルの実行体制イメージ

③協議会及び部会の役割

福井鉄道福武線活性化連携協議会のもとに設置された各部会の役割は以下のとおりである。また各部会の委員は必要に応じて追加できるものとする。

《福井鉄道福武線活性化連携協議会 委員及び事務局》

福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画の策定、形成計画の進捗管理、施策や指標の評価・検証を行う。

役員	所属	役職	氏名
座長	福井県立大学経済学部	教授	浅沼 美忠
会長	福井市	市長	東村 新一
副会長	鯖江市	市長	牧野 百男
副会長	越前市	市長	奈良 俊幸
監事	福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議	会長	橋本 国宏
監事	越前市・福武線を応援する連絡協議会	会長	福島 宏
	福井県警察本部交通部交通規制課	課長	北道 貞邦
	福井県総合政策部	部長	豊北 欽一
	福井県土木部道路保全課	課長	鰐淵 浩司
	福井鉄道株式会社	代表取締役社長	村田 治夫
	福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会	理事	坂川 清
オブザーバー	国土交通省中部運輸局鉄道部	部長	兵動 宜久
オブザーバー	池田町総務政策課	課長	山崎 政弥
オブザーバー	南越前町観光まちづくり課	課長	大霜 求己
オブザーバー	越前町総務部門	総務理事	梅野 秀一
オブザーバー	公益社団法人 福井県バス協会	会長	天谷 幸弘
事務局	福井市地域交通課		

《福武線再建スキーム管理部会 委員及び事務局》

地域公共交通網形成計画に基づく事業の進捗状況及び維持修繕の使途を含む福武線の経営状況のチェックや、指標に関する具体的な評価・検証を行い、福井鉄道福武線活性化連携協議会に報告する。

	所 属	役 職	氏 名
委 員	福井県立大学経済学部	教 授	浅沼 美忠
	安久公認会計士事務所	公認会計士	安久 彰
	福井県総合政策部交通まちづくり課	課 長	猪嶋 宏記
	福井市都市戦略部	部 長	堀内 正人
	鯖江市総務部	部 長	大滝 清治
	越前市企画部	部 長	谷口 良二
	福井鉄道株式会社	代表取締役社長	村田 治夫
事務局	越前市企画部まちづくり・総合交通課		

《バス等交通推進部会 委員及び事務局》

鉄道とバス交通の連携を推進するための事業計画の策定、交通圏内を運行する路線バスのルート、運行形態等の見直し、計画に位置づけられた事業の進捗管理や指標に関して、具体的に評価・検証を行い、福井鉄道福武線活性化連携協議会に報告する。

	所 属	役 職
委 員	福井県交通まちづくり課	課 長
	福井市地域交通課	課 長
	鯖江市総務課	課 長
	越前市まちづくり・総合交通課	課 長
	越前町企画財政課	課 長
	福井鉄道株式会社	部 長
	京福バス株式会社	部 長
専門委員	国土交通省中部運輸局 福井運輸支局	首席運輸企画専門官
事務局	福井市地域交通課	

《えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会 委員及び事務局》

えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会は、自動車から公共交通機関等への転換を進めるために、事業計画の策定、計画に位置づけられた事業の進捗管理に関して、具体的に評価・検証を行い、福井鉄道福武線活性化連携協議会に報告する。

	所 属	役 職
委 員	福井鉄道株式会社	代表取締役社長
	えちぜん鉄道株式会社	代表取締役社長
	福井県交通まちづくり課	課 長
	福井市都市戦略部	部 長
	勝山市市民・環境部	部 長
	鯖江市総務部	部 長
	あわら市市民福祉部	理 事
	越前市企画部	部 長
	坂井市総務部	部 長
	永平寺町総務課	課 長
事務局	福井県交通まちづくり課	